

特277

518

特277-518

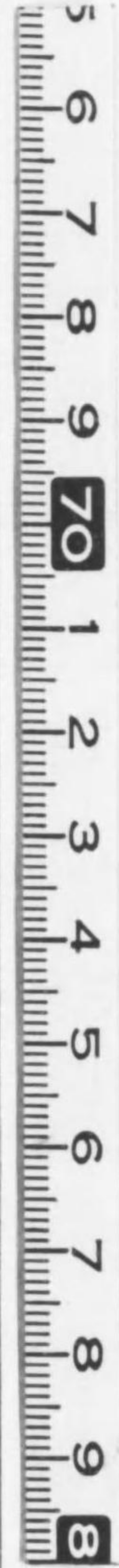


\*76W10457\*

二年七月

# 輓近教育事實

知多郡第一部小學校長會



# 始



本年初春知多郡半田第一尋常高等小學校において開催せられました全郡第一部落主催教育展覽會は其の規模において又其の内容において此の種の試みとしては誠に有意義のものでありました。

仍ち會場は校舎の殆んど全部を充當し内に其の部校長會が過去凡そ十五ヶ年間小學校、幼稚園、家庭、或は社會等の教育萬般に亘り努力せられました施設の實際と業績とを調査して陳列してありました。從て本會は其の部落の輓近に於ける教育事實發展の趨向を明示し併せて斯道の將來に對する一大暗示を與へた感がありました。茲に全部落は右展覽會出品物中特に將來の參考に資せらる可きもの數十種を録し況く世の同志に頒ち斯道研鑽の資に供せんと企てられました誠に慶賀の至りであります。今や印刷成り頒布せらるゝにあたり一言所感を陳べ序に代ふる次第であります。

愛知縣廳教育課

昭和二年九月五日

縣視學 古田 諦

76W10457



## 序言

知多郡第一部落小學校長會は小學校教育の事實を調査して之を一般民衆に展覽せしめ一は以て地方民衆の教育心を喚起せしめ一は以て當事者各自の反省資料たらしめんとして大正十五年一月十一日の校長會にて委員七名を設けて之れが計劃に着手し二月六日委員の作成せる計劃案即ち小學校教育の實際と其効果(内容十六項目)、家庭教育及家庭と學校との關係(内容十項目)、社會施設(内容十五項目)、幼稚園及幼兒保護施設(内容四項目)、の四大項目を是認し之を各學校にて分擔調査することに決し爾後各學校にては分擔事項の調査に取掛り各々熱心に調査を遂げ茲に昭和二年四月廿九日より三日間第一回を半田第一小學校に開くことになり爾後各町村一ヶ所つゝにて巡回展覽して大に好成績を收め得たり

調査の事項中年度に係る者は大正元年を起りとし爾後五ヶ年を隔て、大正五年大正十年大正十五年と四段階に分ち以て比較考察の資に供せり時偶々 大正天皇の御不幸に際し 昭和の新帝を迎ふるに至る我教育の仕事に於ては時代に順應し日に新に日に進むの常道を踏歩するには恰もよし大正の教育事實に顧みて昭和の新教育に

進まんとするには今回の展覧會こそ實に絶好の企てにこそありつるこの見逃し難き事實を一時的の展覧會に了らしむるは甚だ遺憾のことと思ひ校長各位の協賛を経て茲に印刷に附して参考の資に供することとせり

終に一言を附して謝意を表したきは該展覧會を開くに至る迄約一ケ年間各學校職員諸氏は職務の餘暇熱心調査に従事せられこの事業を助成せられしこと分けても委員各位には展覧會を開くに至る迄は勿論この小冊子を産むに至るの間多忙の中に時間を作りて盡瘁せられしことなり之を要するに我部落に於ける大正の教育事實を審にするを得たるは第一部落小學校職員の汗と力との凝結物なりと謂ふも敢て不可なかるへし一言を序して経緯を明にす

昭和二年八月

知多郡第一部落小學校長會長誌ス

## 目次

### 第一、小學校教育之部

(一) 兒童數	一
(二) 學級編制	一
(三) 兒童就學歩合	一
(四) 兒童出席歩合	三
(五) 上級學校入學歩合及中途退學者調	三
(六) 兒童身體發育狀況	五
(七) 兒童道德意識(別冊)	五
(八) 職員資格及男女別表	八
(九) 教育施設(教授、訓練、養護)	一六
(一〇) 校地校舍概要	一六
(一一) 小學校費	一六
(一二) 學校系統表	一七

(三) 中等學校分布圖.....

第二、家庭及幼兒教育之部

- (一) 家庭教育の必要.....二〇
- (二) 家庭の狀況と兒童の性行.....二二
- (三) 兒童の營養.....二三
- (四) 兒童の服裝.....二五
- (五) 兒童の二十四時間.....三三
- (六) 兒童本位の家庭並設備.....三五
- (七) 家庭に於ける兒童の運動娛樂.....三九
- (八) 兒童と活動寫眞.....四一
- (九) 兒童の家庭に於ける讀物.....四四
- (一〇) 學校と家庭との關係.....四七
- (一一) 幼稚園の現状.....四九

第三、社會教育之部

- (一) 實業補習學校.....五四
- (二) 青年訓練所.....五四
- (三) 青年團及處女團.....五五
- (四) 少年團及少女團.....五七
- (五) 成人教育施設.....六〇
- (六) 音樂美術文藝体育及娛樂機關.....六一
- (七) 圖書館.....六一

第四、社會施設之部

- (一) 幼兒保護施設.....六四
  - (二) 兒童保護施設.....六五
  - (三) 感化救濟施設.....七〇
  - (四) 衛生施設.....七六
  - (五) 愛知縣社會事業一覽.....八一
- 小學校設備標準圖.....

### 第一、小學校教育ノ部

#### (一) 兒童數

年度	尋常科	高等科	計
明治四五	七、六五八	五九八	八、一四六
大正五	七、九四〇	六三八	八、五七八
全一〇	九、二〇八	八八二	一〇、〇九〇
全一四	九、〇五〇	一、三五二	一〇、四〇二

#### (二) 學級編制統計表

年度	尋常科之部	高等科之部	計
明治四十四年四月十日現在	一三八	一四一	一八五
大正五年四月三十日現在	二二	二二	四四
大正十年四月三十日現在	二二	二六	四八
大正十五年四月三十日現在	二二	二六	四八
學級總數	一三八	一四一	一八五
一學級兒童平均數	五	五	五
三十人以上未滿ノ學級數	二	三	五
三十人以上ノ學級數	二	三	五
四十人以上ノ學級數	四	六	一〇
五十人以上ノ學級數	四	六	一〇

#### 高等科之部

年度	六十人以上ノ學級數	男女合級學級數	複式學級數
明治四十四年四月十日現在	四	六	一
大正五年四月三十日現在	五	七	一
大正十年四月三十日現在	三	九	一
大正十五年四月三十日現在	六	九	一

#### (三) 就學步合調 (尋常科)

年度	學級總數	一學級兒童平均數	三十人以上未滿ノ學級數	三十人以上ノ學級數	四十人以上ノ學級數	五十人以上ノ學級數	六十人以上ノ學級數	男女合級學級數	複式學級數
明治四十四年四月十日現在	一四	四〇	四	四	三	二	一	二	四
大正五年四月三十日現在	二	四五	一	六	〇	四	三	七	五
大正十年四月三十日現在	四	四七	一	四	七	五	二	五	六
大正十五年四月三十日現在	三	四四	一	八	二	五	五	八	六

町村男女  
 明治四十五年  
 大正五年  
 大正十年  
 大正十四年

師工商農中  
範業業學學  
學學學  
校校校校校

(五) 中等學校入學數調

尋卒高一修高卒	明治四十五年	尋卒高一修高卒	大正五年度	尋卒高一修高卒	大正十年度	尋卒高一修高卒	大正十四年度
0-207	0-105	0-106	0-108	0-107	0-104	0-108	0-108
2-206	2-204	2-206	2-208	2-204	2-201	2-208	2-203

男子ノ部

東浦	成岩	武豊	富貴	平均
女男	女男	女男	女男	女男
19,200	17,300	16,700	15,000	13,700
75,000	29,000	25,000	20,000	16,500
22,100	23,400	22,100	18,200	19,500
22,800	21,000	21,500	20,800	17,300

(四) 兒童出席步合

尋常科	高等科	尋高平均
大正十四年度	大正十年度	大正五年度
96,000	93,000	90,000
96,000	93,000	90,000
96,000	93,000	90,000
96,000	93,000	90,000

尋卒數ニ對スル就學步合 (高等科)

阿久比	半田	町村	平均	富貴	武豊	成岩	東浦	龜崎	阿久比	半田
男	女男	男女	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男
5,900	5,000	6,000	9,500	9,900	9,700	9,600	9,900	9,300	9,900	9,700
3,900	3,600	3,300	9,500	9,900	9,700	9,600	9,900	9,300	9,900	9,700
6,300	6,500	6,800	9,500	9,900	9,700	9,600	9,900	9,300	9,900	9,700
8,100	8,500	8,800	9,500	9,900	9,700	9,600	9,900	9,300	9,900	9,700

高等科中途退學步合調

龜崎	阿久比	半田	町村	平均	富貴	武豊	成岩	東浦	龜崎	阿久比
女男	女男	女男	男女	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男
4,200	6,000	5,300	5,300	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
3,800	4,400	4,500	4,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
3,800	4,400	4,500	4,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
3,800	4,400	4,500	4,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500

實業補習學校其他	五	一〇	三	五	三	六	一七	八七	四〇	三	三
其年度小學校卒業者數	五五	二〇九	一四一	六〇	二五二	二六四	六九一	三三五	二七六	七九一	四〇三

女子ノ部

學 校	明治四十五年度					大正五年度					大正十年度					大正十四年度				
	尋卒	高一	修高	高卒	計	尋卒	高一	修高	高卒	計	尋卒	高一	修高	高卒	計	尋卒	高一	修高	高卒	計
高等女學校	二元	二	一	二	五	二五	三	五	七	二五	六	六	六	六	二四	五	一	一	一	六
技藝學校	八	〇	〇	〇	八	〇	〇	〇	〇	〇	九	一	一	一	五	一	〇	〇	〇	一
師範學校	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
女子商業學校	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
實業補習學校	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
其他ノ學校	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
其年度小學校卒業者數	三六	六	九	四	六	四	六	七	六	二六	八	二	八	四	二〇	七	二	〇	〇	一

中等學校中途退學數調 男子ノ部

事 由	明治四十五年度					大正五年度					大正十年度					大正十四年度					
	年一	年二	年三	年四	年五	年一	年二	年三	年四	年五	年一	年二	年三	年四	年五	年一	年二	年三	年四	年五	
家庭事情	六	八	五	四	三	五	九	八	四	二	九	七	六	四	三	九	一〇	三	二	一	〇
病 氣	四	二	六	五	七	二	六	七	三	七	三	七	五	七	七	三	七	五	七	八	三
計	一〇	一〇	一〇	九	一〇	一〇	一五	一五	七	九	一二	一三	一〇	一〇	一〇	一三	一三	一〇	九	四	三

操行上	一〇	一一	一一	一四	一	一	〇	〇	〇	二	〇	一	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
成績上	七	一〇	一〇	一〇	九	二	一	一	〇	〇	二	七	五	八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
其他	二	三	二	四	五	二	二	三	三	二	一	三	五	八	二	二	二	二	二	二	二
計	九	一七	一八	二八	二九	四	四	六	五	七	一〇	一〇	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五

女子ノ部

事 由	明治四十五年度					大正五年度					大正十年度					大正十四年度					
	年一	年二	年三	年四	年五	年一	年二	年三	年四	年五	年一	年二	年三	年四	年五	年一	年二	年三	年四	年五	
家庭事情	七	二〇	二二	三三	四二	三	三	三	三	四	三	三	三	四	五	三	三	三	三	三	三
病 氣	六	四	五	三	〇	八	三	三	四	〇	七	四	五	〇	三	二	二	二	二	二	二
操行上	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
成績上	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
其他	七	八	二	〇	〇	八	六	〇	〇	〇	八	三	七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
計	二〇	三二	三〇	三六	四二	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五

(六) 兒童身體狀況

(一) 調査ノ目的  
 各學校ニ於ケル兒童身體ノ狀況ハ毎年ノ身體検査統  
 計ニヨツテ明瞭デアリ、又各校ニ於ケル兒童身體逐年  
 ノ趨勢モコレニヨツテ知ルコトガ出來ル。  
 各兒童ノ身體狀況、及ビソノ逐年狀況モ亦毎年ノ身  
 體検査ニヨツテ明ニナツテ居ル。



又各學校ニ於ケル兒童身體發育狀況ハ之ヲカノ文部省發表ノ發育標準表ニ比較シテ見ルコトモ出來ル。

前記數個ノ數字ヲ對比シテ見レバ、教育上多大ノ暗示ヲ受ケルコトハ教師トシテモ父兄トシテモソレハ勿論デアルガ、ソレ丈デハ聊カ物足りナイ感ガスル。

即チ學校トシテノ狀態ハ分ツテ非ルガコノ地方殊ニ第一部落トシテ、ドンナ狀態ニアルノカ。又全國トシテドンナ狀態ニアルノカ。

コレヲ調査シテ各校各兒ノ狀態ト比較シ、ソノ全國カラ眺メタ本部落ノ位置、本部落カラ見タ各校ノ位置ヲ知ツテ始メテソコニ體育養護ノ方針ガ確立スルノデハアルマイカ。

カウシタ考カラ大正十五年間ニ於ケル我部落小學校兒童ノ身體概況ト、全國小學校兒童ノ身體概況トヲ調ベテ此ニ之ヲ對照シテ見タノデアル。

觀ラルル大方ノ諸賢、徒ニ之ノ調査ヲ筐底ニ死蔵スルコトナク、大イニ我部落小學校兒童健康増進ノ一資料トセラレンコトヲ茲ニ切望スル。

(二) 資料ノ蒐集ト統計ニ就キテ

前述ノ様ナ目的デアルカラ、成ルベク多クノ項目ニ就イテ調査シタカツタノデアルガ、大正年間ニ於テ身體検査規程ガ改正セラレタ爲、ソノ前後ヲ通ジタ項目ノ多クニ亘ツテ調査ヲスルコトノ出來ナカツタ事ハ憾ニ堪エナイ。

(三) 統計表ニ就イテ

(第一表)

第一表ハ大正元年大正五年大正十年大正十四年ノ年ニ於ケル我第一部落小學校兒童ノ身長體重胸圍ノ總平均ヲ算出シ、之ヲ男兒、女兒、及ビ各年齡別ニ表シテ、ソノ進歩或ハ退歩又ハ停頓ノ模様ヲ知ラウトシタノデアル、併セテ全年ニ於ケル全國ノ趨勢ト對照センガ爲ニ全年ニ於ケル全國平均數ヲ文部省ニ求メテコレト比較シタモノデアル。

コ、ニ全國平均ニ就イテ斷ツテ置カナケレバナラスコトハ、大正十年ノ分ハ大震災デ材料ガ消失シタ爲大正九年分ヲ、大正十四年分ハ統計未完了ノ故ヲ以テ大正十三年分ヲ送ツテ來タノデソレヲノセタコトデアル。シカシ全國ノ趨勢ヲ窺フニハコレデ足ルト思フ。

(第二表)

第二表ハ大正元年大正五年大正十年大正十四年ノ各年ニ於ケル我第一部落小學校兒童百人中ニ脊柱ノ曲ツタ者ガ幾人アルカ。トラホーム患者ガ幾人アルカ。軀

齒アル者ガ幾人アルカラ表シタノデアル。全國ノ趨勢ヲ知リタカツタノダガ材料ガ得ラレナカツタ爲ニココニ之ヲ舉ルコトノ出來ナカツタコトヲ遺憾トスル。

第一表

年齢	検査年度	身長				体重				胸圍			
		男	女	男	女	男	女	男	女				
九	大正元年	三、四七	三、五三	四、七三	四、六九	一、七九	一、七六	一、七九	一、七三				
	大正五年	三、五三	三、五九	四、七九	四、七五	一、七九	一、七六	一、七九	一、七三				
八	大正十年	三、五九	三、六五	四、八五	四、八一	一、七九	一、七六	一、七九	一、七三				
	大正十四年	三、六五	三、七一	四、九一	四、八七	一、七九	一、七六	一、七九	一、七三				
七	大正元年	三、七〇	三、七六	五、〇〇	四、九六	一、八〇	一、七七	一、八〇	一、七四				
	大正五年	三、七六	三、八二	五、〇六	四、九二	一、八〇	一、七七	一、八〇	一、七四				
六	大正十年	三、八二	三、八八	五、一二	五、〇二	一、八〇	一、七七	一、八〇	一、七四				
	大正十四年	三、八八	三、九四	五、一八	五、〇八	一、八〇	一、七七	一、八〇	一、七四				
五	大正元年	三、九三	三、九九	五、二四	五、〇四	一、八一	一、七八	一、八一	一、七五				
	大正五年	三、九九	四、〇五	五、三〇	五、一〇	一、八一	一、七八	一、八一	一、七五				
四	大正十年	四、〇五	四、一一	五、三六	五、一六	一、八一	一、七八	一、八一	一、七五				
	大正十四年	四、一一	四、一七	五、四二	五、二二	一、八一	一、七八	一、八一	一、七五				
三	大正元年	四、一七	四、二三	五、四八	五、二八	一、八二	一、七九	一、八二	一、七五				
	大正五年	四、二三	四、二九	五、五四	五、三四	一、八二	一、七九	一、八二	一、七五				
二	大正十年	四、二九	四、三五	五、六〇	五、四〇	一、八二	一、七九	一、八二	一、七五				
	大正十四年	四、三五	四、四一	五、六六	五、四六	一、八二	一、七九	一、八二	一、七五				
一	大正元年	四、四一	四、四七	五、七二	五、五二	一、八三	一、八〇	一、八三	一、七六				
	大正五年	四、四七	四、五三	五、七八	五、五八	一、八三	一、八〇	一、八三	一、七六				
0	大正十年	四、五三	四、五九	五、八三	五、六三	一、八三	一、八〇	一、八三	一、七六				
	大正十四年	四、五九	四、六五	五、八九	五、六九	一、八三	一、八〇	一、八三	一、七六				



(八) 職員調

(大正十五年四月一日現在)

小正		尋正		專正		准用		合計	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
110	120	41	31	11	11	14	9	189	189
最高 200圓		最低 50圓		月額合計 10620圓		男 120 (師卒95 其他25)		女 16 (師卒12 其他4)	

小正		尋正		專正		准用		合計	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
65	55	60	47	47	56	57	57	65	57
最長 35.2月		平均 9.1月		平均 5.9		平均 6.3		平均 4.7	

四十		三十		二十		一十		合計	
大正十四年	大正十五年	大正十四年	大正十五年	大正十四年	大正十五年	大正十四年	大正十五年	大正十四年	大正十五年
583	951	333	278	277	622	278	277	1035	847
666	1414	0	0	840	1418	1417	1417	2160	1833
2554	2727	2833	2475	2652	3349	2907	3722	2470	2433
2424	2626	2545	3636	2733	3690	4006	2935	2998	2743
3406	4373	4259	3732	3970	5234	5426	4421	7422	6575
4668	5566	5566	5000	5000	5000	5000	4960	7255	7081

職員數及俸給額

總計	代用		准正		專正		尋正		小正		職員數	俸給額	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男			
	一七六	一三三	二二	二六	五	二七	三	〇	九	四三			九
一八二	一三五	八	一五	六	三三	三	二	九	四	二	四	七	五
二三四	一五	二〇	八	二二	三	三	七	四	一	五	七	五	一〇七
二二六	一八三	五	二〇	八	一四	一	三	九	三	七	一	八	一〇七
三、三四	二、六四八	一一三	二九三	五五	三三三	二六	〇	二八	九六六	一六四	一、〇七六	一、四三	一、〇七六
三、五六五	二、九四三	八〇	一五五	六二	二六〇	一四六	三三	一三三	一、〇七一	二〇一	一、四三	一、四三	一、四三
一一、九二三	九、七五〇	三七八	六七	二五五	四六五	四九二	二二三	二九六	二、九〇一	七四二	五、六四三	五、六四三	五、六四三
一五、二九九	二、二九二	一七九	八二三	二五	五三〇	五二	二六七	四六二	二、五五九	八八四	八、七六	八、七六	八、七六

(反省) 學用品並ニ學習帳簿檢限.....持參品一切

運動會、學藝會、合同体操.....第一部落運動會、校內運動會、町村運動會

成績品調査、成績物揭示、成績物廻覽、同保存

農產物品評會.....年一回

兒童文集刊行.....年一回

賞品授與.....隨時

學級編成

教授細目ノ編成

教則研究

編纂趣意書研究

學科目加除.....必須科目、選譯科目

學級經營案

學校史ノ研究

時間制作製

教授法ノ研究

連關施設

教育理論研究

兒童常識養成、兒童文庫

校庭揭示、補加教材

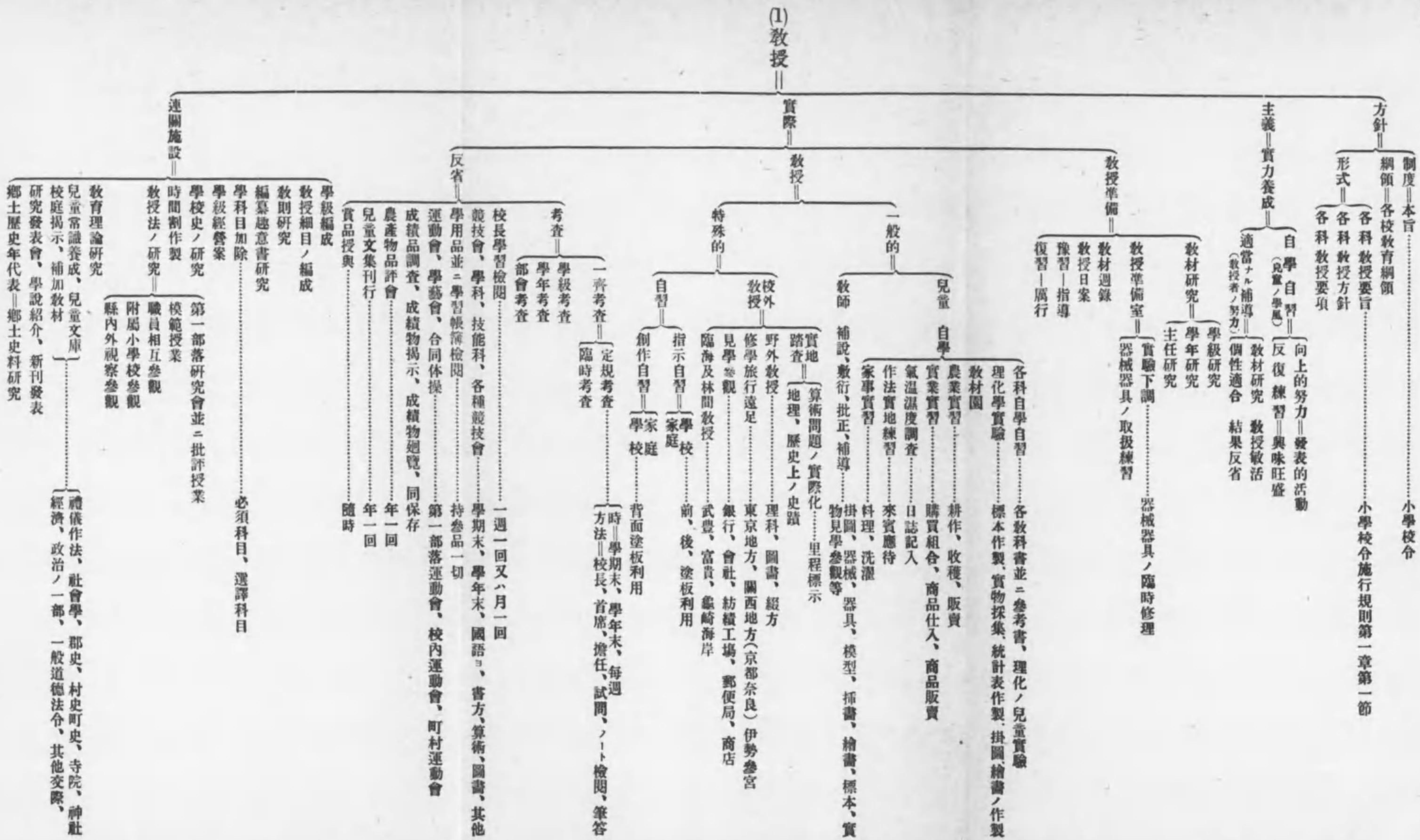
研究發表會、學說紹介、新刊發表

郷土歴史年代表、郷土史料研究

禮儀作法、社會學、郡史、村史町史、寺院、神社

經濟、政治ノ一部、一般道德法令、其他交際

(九) 教育施設



月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
代用												
女	二	八	一五	二〇	二五	三〇	三五	四〇	四五	五〇	五五	六〇
男	二	八	一五	二〇	二五	三〇	三五	四〇	四五	五〇	五五	六〇
女	二	八	一五	二〇	二五	三〇	三五	四〇	四五	五〇	五五	六〇
男	二	八	一五	二〇	二五	三〇	三五	四〇	四五	五〇	五五	六〇

(2) 訓練

(一) 方法

(1) 共同訓練

イ、運動—体操及遊戲、運動會、遠足  
ロ、作業—掃除、學校園手入

(2) 個別訓練

イ、氣質ノ訓練—祖先崇拜、社會奉仕事業、弔慰、動植物愛護  
ロ、性癖ノ訓練—個性調査

(3) 手段

イ、示範—功勞者及偉人肖像揭揚、標準語揭示  
ロ、命令—奉安所敬禮、言語矯正、挨拶勵行、自習  
ハ、訓諭—校長訓話、合同訓話、通學團訓話  
ニ、賞罰—出席獎勵、體育獎勵、美談投書、戒飭

(二) 手段

(1) 校訓訓練要目及級訓

誠實勤勉勇健相愛規律自治清潔整頓容儀敬禮

(2) 諸儀式及會合

三大節記念日入學及修卒業式朝晝夕會兒童役員會學藝會

(3) 兒童作業

日誌記入害虫驅除

(4) 學校家庭連絡ノ方法

父兄母姉會學校手帳家庭訪問兒童貯金共同販賣

(5) 賞罰ノ實施

學年末賞與出席賞與體育獎勵賞禁足

(6) 操行査定

教室內ニ於ケル操行運動場ニ於ケル操行

- 1 方針
  - 1 小學校令ヲ重シ兒童身体ノ發達ニ留意ス
  - 2 强健ナル身体ノ鍊成
  - 3 勤勞作業ニ堪エ得ル活力ノ養成
- 2 主義
  - || 自覺的鍛練主義

(3) 養護

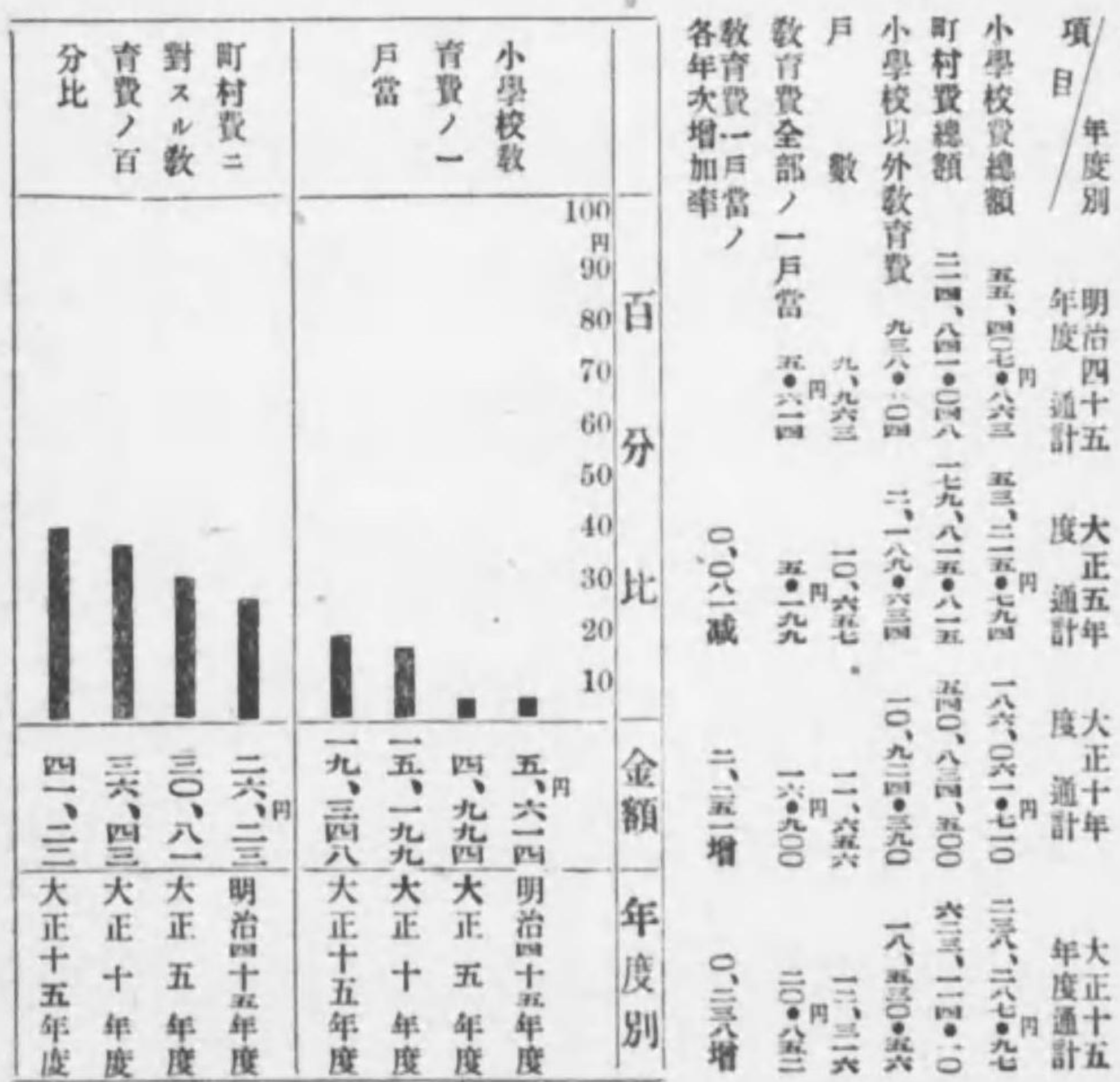
- 1 愛護方面
  - 1 身体検査
    - 1 一般身体検査
      - 1 年一回乃至二回
      - 2 期日 四、五月—七、九月
      - 3 目的及検査方法—法令ニ依ル
    - 2 健康診断
      - 1 選手健康診断
      - 2 臨時健康診断
      - 3 水泳時ノ健康診断
  - 2 健康診断
    - 1 就學前身体検査
      - 1 期日 二、三月
      - 2 目的 入學後學習ニ支障ナキヤ否ヤヲ檢スル爲
      - 3 検査程度 望診
  - 2 學校衛生
    - 1 衛生講話
      - || 隨時必要ニ應シテ行フ
    - 2 教室ノ通風採光
      - || 教室ノ南面、換氣窓
    - 3 机腰掛ノ選擇
      - || 兒童ノ身体ニ應シ之ヲ使用ス
    - 4 食後ノ休憩
      - || 晝食後約十分間ノ休憩
    - 5 學校衛生デー
      - || 各學校ニテ隨時行フ
    - 6 トラホーム手當
      - || 諸度治療獎勵
    - 7 其ノ他ノ施設
      - || 救急手當、看護、消毒及撤水
  - 3 其ノ他
    - 1 身体清潔検査
      - || 口中齒牙頭髮等ノ点檢
      - || 手足被服等ノ點檢
    - 2 清潔法ノ勵行
      - || 教室内外ノ清潔整頓

- 3 實際
  - 1 規定
    - 1 運動會
      - 1 部落聯合運動會
      - 2 各町村聯合運動會
      - 3 各學校運動會
    - 2 郊外遠足
      - || 各學校ニ規定アリ
    - 3 朝會体操
      - || 各學校ニ規定アリ
    - 4 學校体操
      - || 全上
    - 5 學校作業
      - || 全上
    - 6 其ノ他ノ規定
      - 1 水泳 2 共同驅足 等
      - 3 體育獎勵會
  - 2 獎勵
    - 1 冷水摩擦
      - || 夏季ヨリ獎勵
    - 2 徒步競走並ニ競技ノ練習
      - 運動種目
      - 1 ランニング 2 走巾跳 3 走高跳 4 ホ
      - ス・ジャンプ 5 砲丸投 6 バスケットボー
      - ル投 7 庭球野球等
    - 3 其ノ他ノ事項
      - 劍道、自由遊技 徒步、作業手傳、運動服着用等ノ獎勵
- 2 鍛練方面
  - 3 傳染病豫防消毒法
    - || 學校職員及兒童中ニ於テ傳染病ニ罹リシ法規ニ依リ之ヲ行フ
- 3 其ノ他特殊方面
  - 1 校醫トノ協力
  - 2 家庭トノ協力
  - 3 別的體育法研究並ニ其ノ實施

(一) 校地校舍概要

校名	校地 全面積	全兒童 一人當 面積	校舍 全面積	全兒童 一人當 面積	運動場 全面積	全兒童 一人當 面積	特別 室數	全上 坪數
富貴	一、五〇〇	三、三三	二九三	七〇	八五〇	一、九五	二	二八
武豊	五、〇五五	五、五八	七六七	八	一、六五四	一、七八	二	四〇
成二	一、二七〇	四、五七	二二八	五	九六一	三、七五	〇	〇
成一	一、四九九	八、〇三	一、六一	一、〇七	五、〇〇〇	四、〇〇	六	二八
森岡	九、九〇	五、四九	二六三	一、五三	九〇〇	五、三三	〇	〇
緒川	九、三二五	二、四二	三、八七五	九六	九〇〇	二、四〇	一	二〇
片葩	三、〇九九	八、〇〇	五〇二	一、三〇	一、二五〇	三、〇〇	二	五、三五
生路	四、〇〇〇	一、六八一	五六四	二、二九	三、四三六	一、四〇三	三	九、三五
藤江	六、五三三	二、六三〇	三、二二五	一、〇〇	一、九〇〇	七、三三	一	二〇
龜三	七、七七	五、〇四	一、四八二	九四	三〇〇	一、六七	〇	〇
龜二	六、八四〇	六、九三	八七五	八	四、三〇〇	四、三三	一	二四
龜一	八、七五五	八、六九	一、二二五	一、〇八	二、四八〇	二、四〇	五	七
阿四	一、八七	四、七五	四八二	一、三三	一、〇〇〇	二、〇〇	四	六
阿三	三、七八	二、八五	三三三	一、三三	二、四六六	六、六六	三	五
阿二	五、二六四	二、四四	五三七	一、三〇	二、〇〇〇	四、八八	六	一〇、五五
阿一	一、九四八	七、五〇	二五五	一、一五	九九〇	四、三三	二	三六
中二	四、四八五	八、〇六	三三三	一、二四	一、五五一	五、九七	一	一四
中一	二、〇九七	五、〇六	二、三三六	一、二四	六、三五七	三、六八	四	一三、八

(二) 小學校費統計表

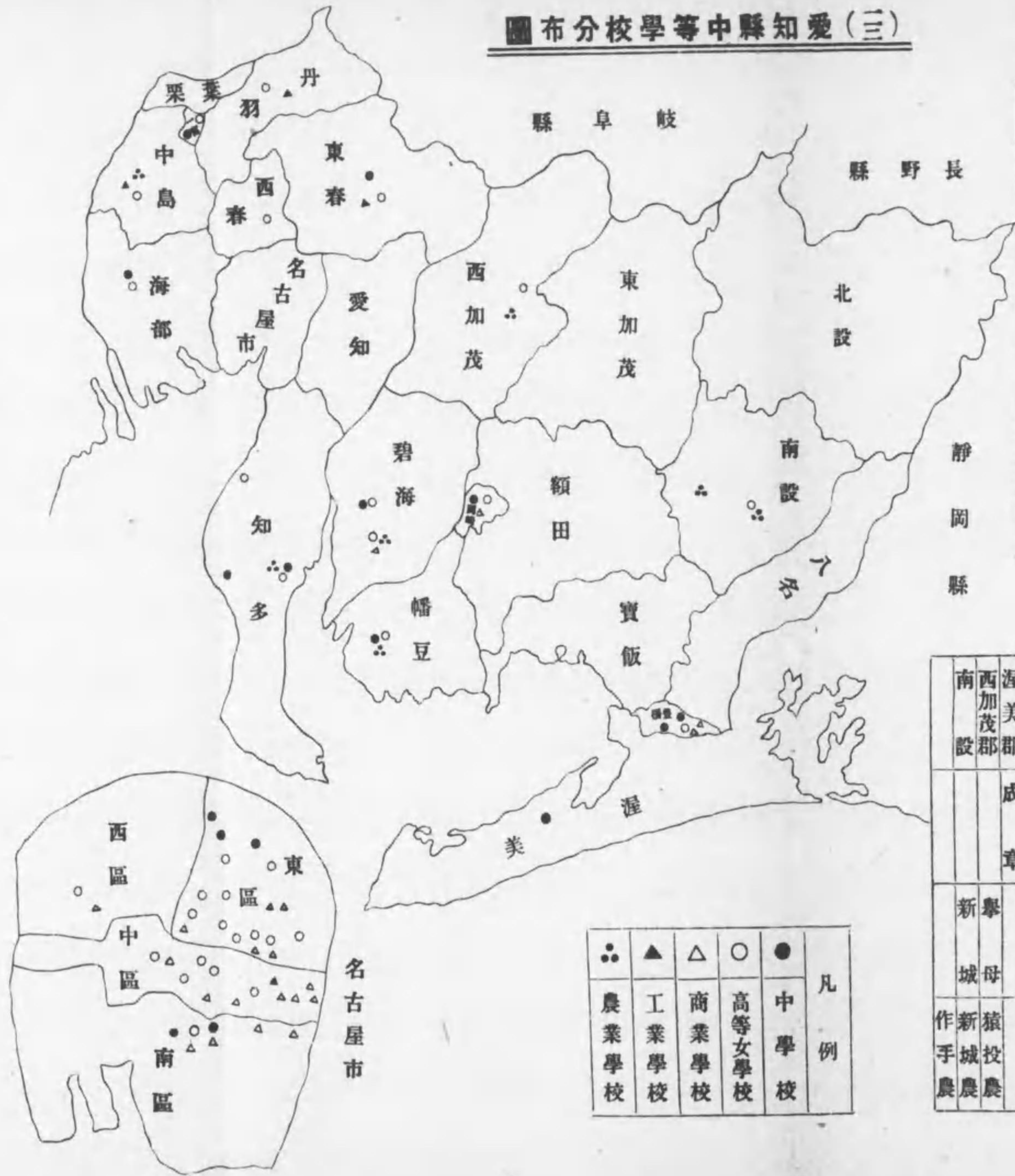


名古屋	第一	中學校
明倫	第二	高等女學校
名古屋第一	第三	實業學校
名古屋商業	第四	實業學校

岡崎市	中學校
豐橋市	高等女學校
岡崎市	實業學校
岡崎市	實業學校



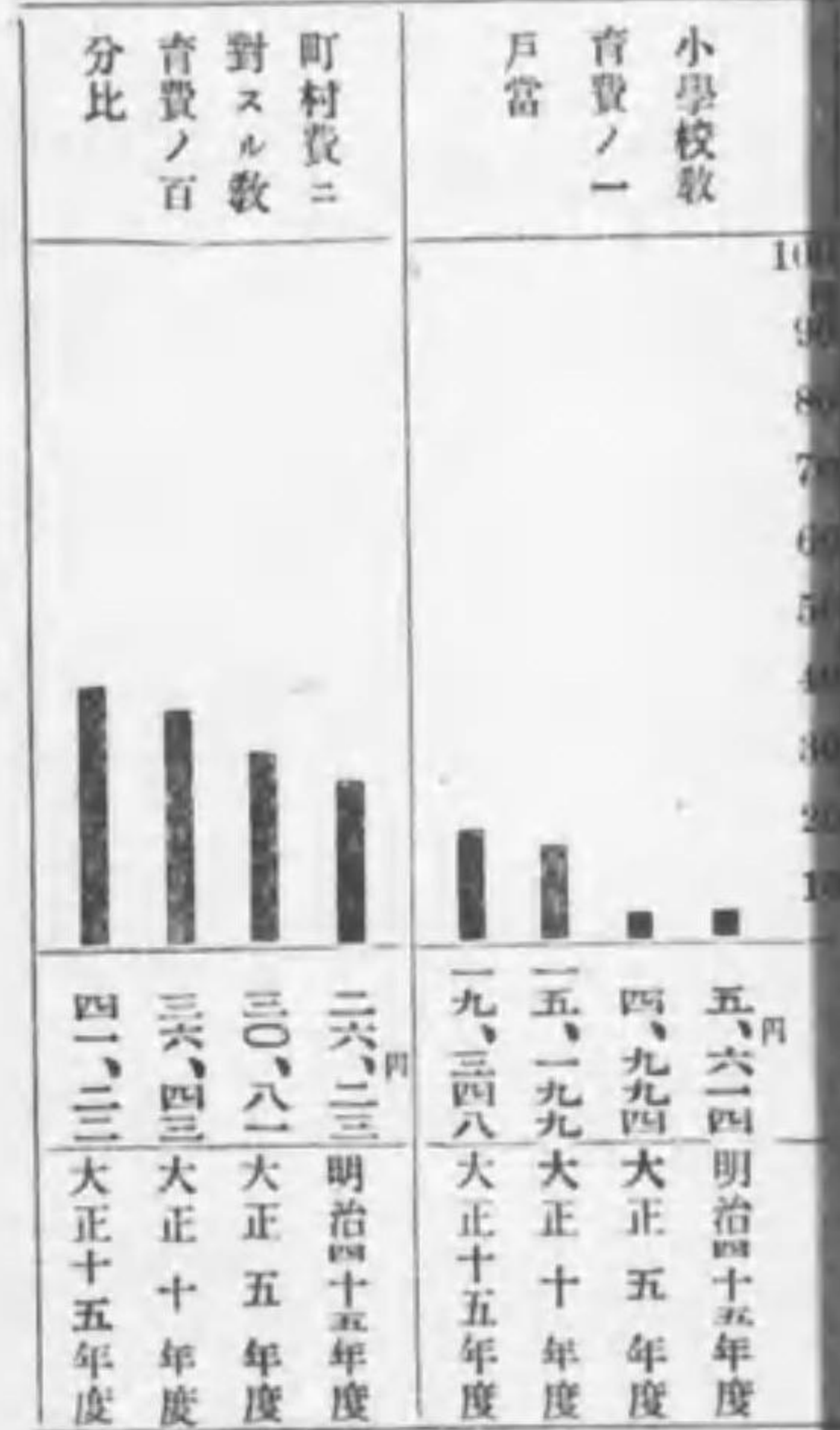
圖布分校學等中縣知愛(三)



名古屋	第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八	第九	第十	第十一	第十二	第十三	第十四	第十五	第十六	第十七	第十八	第十九	第二十	第二十一	第二十二	第二十三	第二十四	第二十五	第二十六	第二十七	第二十八	第二十九	第三十	第三十一	第三十二	第三十三	第三十四	第三十五	第三十六	第三十七	第三十八	第三十九	第四十	第四十一	第四十二	第四十三	第四十四	第四十五	第四十六	第四十七	第四十八	第四十九	第五十	第五十一	第五十二	第五十三	第五十四	第五十五	第五十六	第五十七	第五十八	第五十九	第六十	第六十一	第六十二	第六十三	第六十四	第六十五	第六十六	第六十七	第六十八	第六十九	第七十	第七十一	第七十二	第七十三	第七十四	第七十五	第七十六	第七十七	第七十八	第七十九	第八十	第八十一	第八十二	第八十三	第八十四	第八十五	第八十六	第八十七	第八十八	第八十九	第九十	第九十一	第九十二	第九十三	第九十四	第九十五	第九十六	第九十七	第九十八	第九十九	第一百
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----

南設	西加茂	渥美	寶飯	幡豆	碧海	東春	丹羽	中島	海部	知多	一宮	岡崎	豐橋	都市
成章	西尾	刈谷	小牧	津島	丹羽	大谷	津島	知多	一宮	岡崎	豐橋	豐橋	中學校	
新城市	舉母	國府	西尾	刈谷	丹羽	大谷	津島	知多	一宮	岡崎	豐橋	豐橋	高等女學校	
作手	新城市	新城市	新城市	新城市	新城市	新城市	新城市	新城市	新城市	新城市	新城市	新城市	新城市	

富貴	武登	成二	成一	森岡	緒川	片龍	生路	藤江	龜三	龜二
一、五八〇	五、〇九五	一、二七〇	三、四七九	九、五〇〇	三、〇九九	三、〇九九	四、〇〇〇	六、五三三	七、九七	六、九四〇
三、三三	五、五八	四、五七	八、〇三	五、四九	八、〇〇	八、〇〇	一、六八一	二、六二〇	五、〇四	六、七五
二、九二	七、七	二、八	一、六六一	二、三三	三、六八七五	五、八二二	五、四四	三、二五	一、四八二	八、七五
七	八〇	八	一、〇七	一、五三	九、〇〇	一、三〇	三、四六六	二、〇九	九、〇〇	四、〇〇
八〇	一、六五四	九、六	五、三二	九、〇〇	五、三三	三、二〇	一、〇〇〇	七、三〇	三、〇〇	四、〇〇
一、九	一、七六	三、七五	一、〇〇	五、三三	一、〇〇	三、二〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
二	二	〇	六	〇	一	二	三	一	〇	〇
二六	四〇	〇	二八	〇	二〇	五、五	二、二	〇	〇	二



一ノ其 表覽一統系校學 (三)

校 學		
		28
		27
		26
		25
		24
		23
		22
		21
		20
		19
		18
		17
		16
		15
		14
		13
		12
		11
		10
		9
		8
		7
		6
		5
		4

特 殊 教 育	園 稚 幼		
	校 學 小 常 尋		
	實業學校	實業學校	高等女學校
	實業補習學校前期	實業補習學校後期	高等女學校高等科
	實業學校	實業學校	專門學校
	高等師範學校	師範學校	豫科
	高等師範學校	師範學校	高等科
	高等師範學校	師範學校	高等科
	高等師範學校	師範學校	高等科
	高等師範學校	師範學校	高等科
	高等師範學校	師範學校	高等科
	高等師範學校	師範學校	高等科

四ノ其統系校學

官士科醫軍		官士科計主科關機科兵			
業修年四學中 リヨノモノ		ノモノ業修年四ノ學中 (リヨ兵官士下役現ハク若)			資格
專門學校	高等學校	徒生 (島田江舞校學兵軍海 鶴舞鶴業學關機軍海 京東業學經理軍海)			生徒
		海 航 習 練 (隊 海 習 練)			少尉候補生
軍醫少尉	醫科大學 ↓ 軍醫中尉	主計科(紅校)普學生	機 關 整備學生 機校普學生	兵 科 航空船學生 偵察學生 飛行學生 水校普學生 砲校普學生	少尉
		遠航學生	潛校機學生 選科學生	選科學生 航海學生 水校高學生 砲校高學生	中尉
普高選科學生	軍醫學校又ハ大學	經校高學生	潛校乙種學生 潛校甲種學生	水雷學生(通信)	大尉
					少佐

二ノ其統系校學

處女會員	青年團員	青年訓練所		20
		後期補習	後期補習	19
		前期補習	小學高等	18
		尋常小學		17
				61
				15
				14
				13
				12
				11
				10
				9
				8
				7

三ノ其統系校學

見習士官	軍陸校學官士科本	隊附	軍陸校學官士科豫	軍陸校學年幼
20	19	18	17	16
月 箇 六 年 七				
月 箇 六 年 四				

## 第二、家庭及幼兒教育ノ部

### (一) 家庭教育ノ必要

(大正十四年十月愛知學園調査)

1 不良行為ノ初徴候

自明治四十二年十一月一日

至大正十四年九月三十日

調査人員 二百十八人

他家ノ金品搔浚	男 六八人	女 六人
自家ノ金品物出	男 四六人	女 五人
不明	男 五四人	
盜食	男 一七人	
放火	男 四人	
買食	男 二人	
社寺賽錢盜	男 二人	
其他	男 一〇人	女 一人

2 不良化ノ原因

3 教育ノ遺傳

イ、驚クベキ一族 (米國人ジユーク氏夫妻調)

人員計 千百二十餘人

教育ニ意ヲ用ヒザル人ノ子孫

嬰兒ノ頃ニ死亡セシモノ

三百餘人

調査人員	男 二〇四人	女 一三人
家庭不良	男 四四人	女 四人 百分率 二二、一二
家庭不和	男 一六人	女 一人 七、八三
貧困	男 三四人	女 一人 一六、一三
惡友	男 二三人	女 三人 一一、九八
監督不行届	男 三四人	女 一人 一五、六七
家庭ノ冷酷	男 二〇人	女 二人 一〇、一四
保護者ノ無智	男 一人	女 一人 〇、九二
精神ノ薄弱	男 一人	女 一人 五、〇七
腦ノ障害	男 八人	女 一人 三、六八
家庭ノ溺愛	男 四人	女 一人 一、八一
男ノ誘惑	男 八人	女 一人 三、六八
給與ノ不足	男 一人	女 一人 〇、四六
兄ノ教唆	男 一人	女 一人 〇、四六

不具白痴トナリシモノ 三百餘人  
 乞食浮浪ノ徒トナリシモノ 三百餘人  
 輕重ノ犯罪者トナリシモノ 二百餘人  
 自活ノ道ヲ立テ得シモノ 二十人  
 ロ、感ズベキ一族

(米國人ジヨナサン。エドワード氏調)

人員計 八百餘人  
 教育ニ意ヲ用ヒタル人ノ子孫 百餘人  
 大學教授トナリシモノ 百餘人  
 知名ノ醫師教師牧師辯護士トナリシモノ 四百餘人  
 官公吏及士官以上ノ軍人トナリシモノ 三百餘人  
 コノ一族ノ手ニナリシ有益ナル著書 百三十五部  
 其手ニ經營セラレタル有益ナル雜誌 三十五種

### (二) 家庭ノ狀況ト兒童ノ性行

一、父母ノ有無繼實等ニ因ル兒童ノ性行

A 片父母育  
 父親||強情、内氣ノモノ多シ  
 母親||我儘、家庭ニ締リナシ

B 繼父又ハ繼母育  
 強情、虚言ノ癖、神經質ノモノ多シ

C 養父母育  
 内氣、小膽、忍耐克己ノ精神弱シ

D 祖父母育  
 我儘、粗忽、不規律、活氣無シ、依頼心強シ

二、子タル情態ニ因ル兒童ノ性行

A 長子ト末子トノ相違  
 長子||内氣、老熟、應揚、責任、温和、健實  
 末子||輕躁、我儘、機敏

B 多兄弟兒ト一人兒トノ相違  
 多兄弟||セセコマシイ、過敏、無遠慮  
 一人子||内氣、應揚、柔弱、自慢

C 連子  
 強情、嫉妬、憂鬱、控へ目

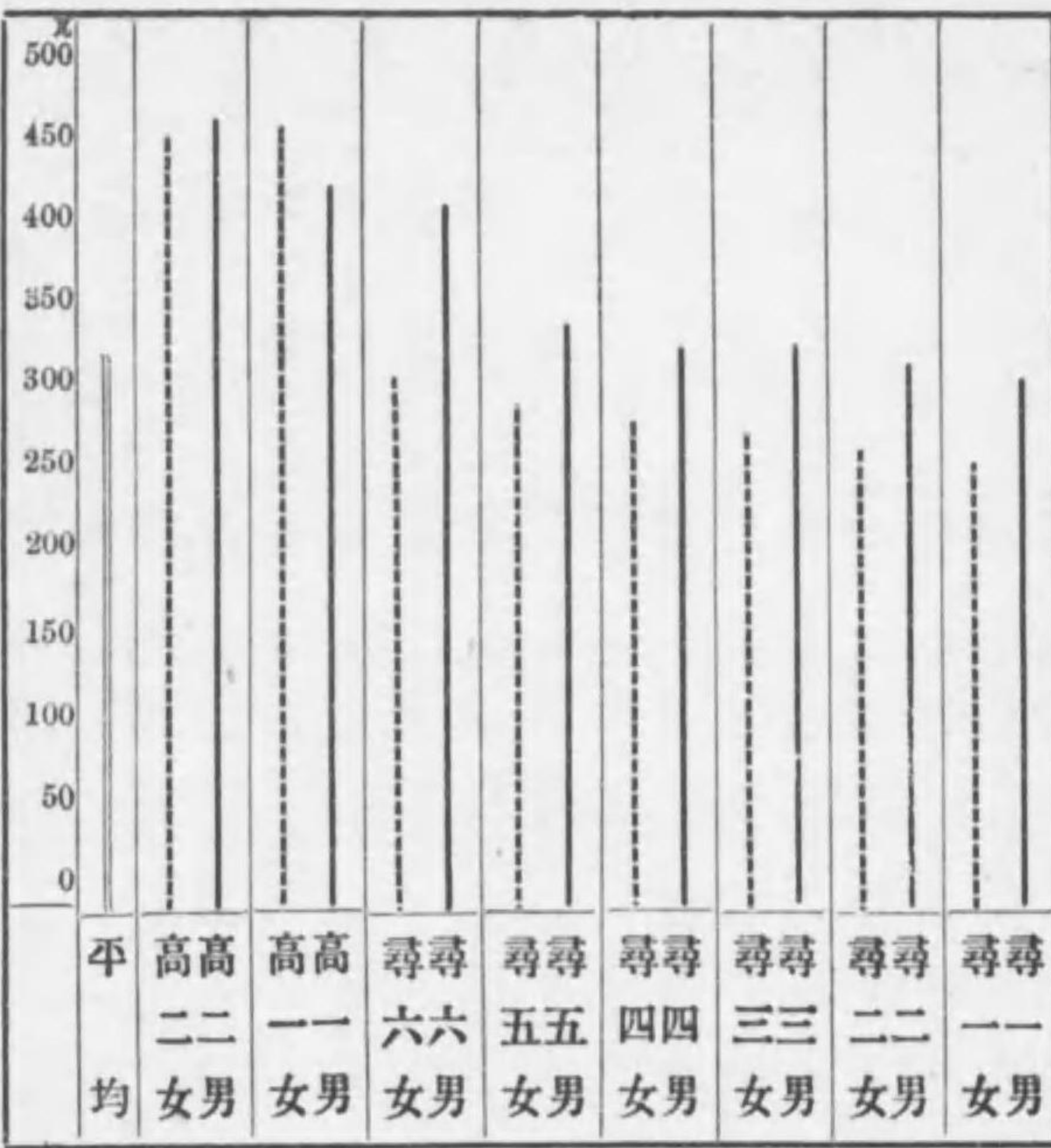
三、父母ノ性行ニヨル影響

- A 大酒家ノ子  
成績不良、粗暴、低能、神経系統ヲ侵サレ易シ
- B 吝嗇家ノ子  
貪慾、殘忍、盜癖ガ生ジヤスイ
- C 亂倫家ノ子  
粗忽、不規律、ダラシナシ
- 四、職業ニヨル兒童ノ性行
- A 官吏  
偉ガリヤガ多イ、言葉ガ正シイ、謙讓ノ徳少シ
- B 商  
勉強不能、性的智識ノ發達早シ
- C 勞働者  
放慢、性行野卑、勤勞ヲ厭フ、貯蓄心乏シ
- D 農  
言葉遣惡シ、自立自營ノ精神ニ富ム
- 五、家柄庭訓ノ模様ニヨル影響
- A 嚴格ナル家庭

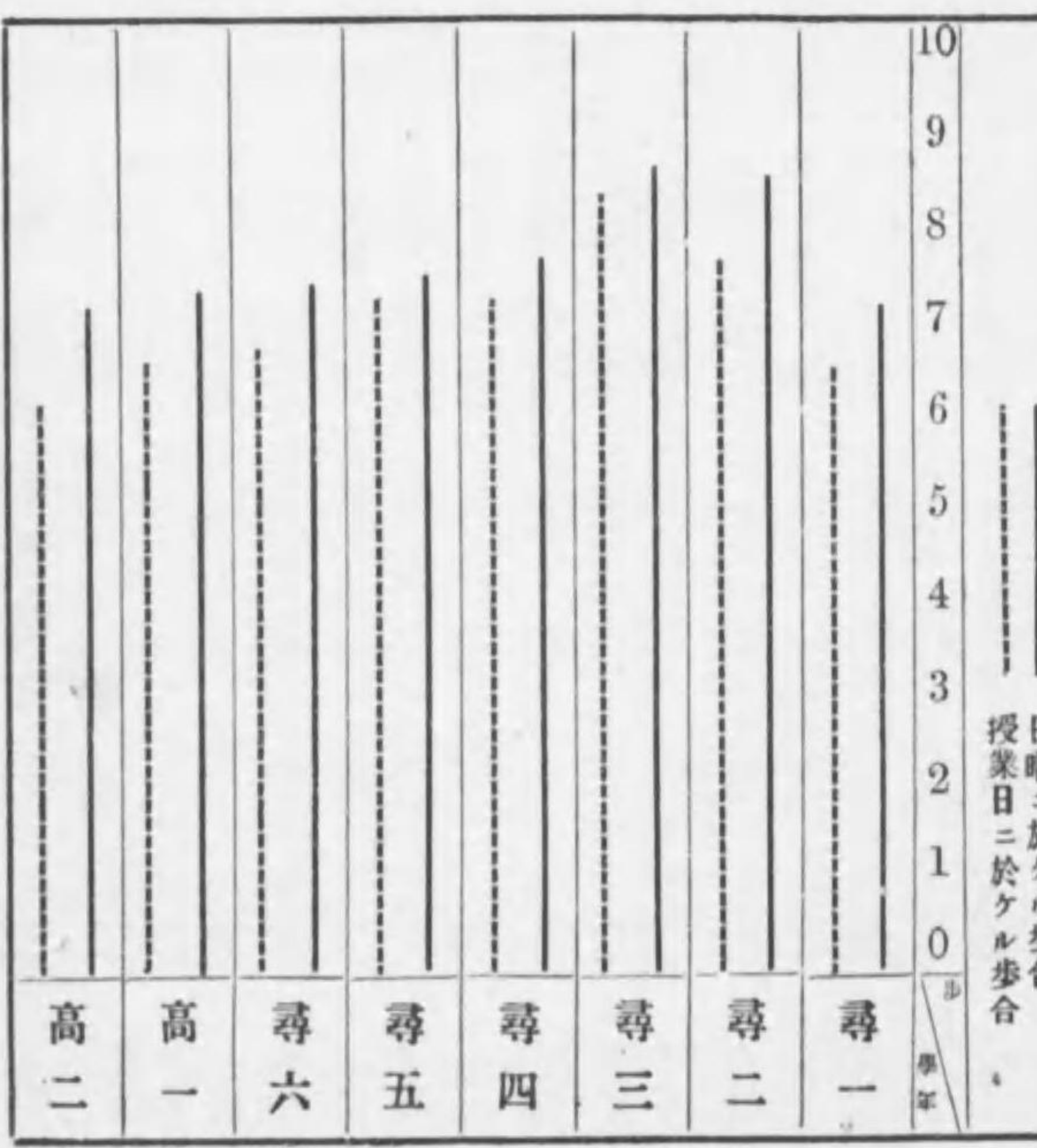
- 狡猾、服従心アルモノト却ツテツブルキモノ、智力ノ發達ヲチヤム、教師ヲ恐レテ親マズ、遠慮勝、生氣潑刺タル所少シ
- B 緩カナル家庭  
放縱、浪費、整頓秩序ヲカク、無邪氣、陽氣
- C 干涉主義  
慘忍性、伸力ナシ、消極的、秩序正シ、依頼心
- D 自由放任ノ態  
我儘、忍耐力ガ減少スル、錢使ガアライ、締リナシ

(三) 兒童ノ養榮

辨當ニ關スル調査



間食者數ニ關スル調査



標準献立實例

九歳前後献立

分區	種目	成分			發熱量 (百焦耳)
		蛋白質	脂肪	含水炭素	
朝食	味噌汁	一、六〇	〇、二〇	四、四〇	九六
朝食	油揚	三、〇〇	一、八七	〇、五〇	九八四
朝食	味噌	二、五〇	五、九〇	二、三〇	七六九
朝食	凍煮	一、八〇	〇、二〇	—	二八八
朝食	鶏肉	一、八四	九、三四	一、二〇	六七〇
朝食	馬鈴薯	一、四九	〇、二〇	五、五〇	三三六
朝食	煮付	六、六〇	〇、三〇	一、八〇	三三八
朝食	清汁	二、五〇	一、五〇	一、二〇	七四
朝食	菜	四、〇〇	〇、二〇	六、〇〇	九七六
朝食	羊羹	八、〇〇	七、〇〇	八、〇〇	一、五七六
朝食	餅	一、三二	二、一四	一、六二	六二七
朝食	煎餅	〇、八〇	八、三七	五、〇〇	二、九〇〇
朝食	菓子	一、八〇	一、九〇	—	三五二
朝食	玉子	一、六〇	〇、〇〇	八、〇〇	一四八
朝食	鯛	二、三〇	〇、二七	二、三三	六四
朝食	玉葱	三、〇〇	〇、〇四	三、七四	五四〇
朝食	菠薐草	—	—	—	—
朝食	浸シ	—	—	—	—
朝食	二合	—	—	—	—
朝食	米飯	—	—	—	—
朝食	一日分	一六七二	五、五〇	一六七二	—
朝食	總熱量	—	—	—	—

十四才前後献立

二四

分區	種目	成分			發熱量 (百焦耳)
		蛋白質	脂肪	含水炭素	
朝食	味噌汁	一、六〇	〇、二〇	四、四〇	九六
朝食	油揚	三、〇〇	一、八七	〇、五〇	九八四
朝食	味噌	二、五〇	五、九〇	二、三〇	七六九
朝食	凍煮	一、八〇	〇、二〇	—	二八八
朝食	鶏肉	一、八四	九、三四	一、二〇	六七〇
朝食	馬鈴薯	一、四九	〇、二〇	五、五〇	三三六
朝食	煮付	六、六〇	〇、三〇	一、八〇	三三八
朝食	清汁	二、五〇	一、五〇	一、二〇	七四
朝食	菜	四、〇〇	〇、二〇	六、〇〇	九七六
朝食	蓮根	一、七〇	〇、一〇	三、八〇	二二〇
朝食	甘酢	一、四〇	〇、四〇	二、六〇	三五五
朝食	芭蕉	—	—	—	—
朝食	蜜柑	—	—	—	—
朝食	柑	—	—	—	—
朝食	漢餅	六、六〇	〇、三〇	一、三〇	三三八
朝食	菠薐草	二、三〇	〇、二七	二、三三	六四
朝食	栗きんとん	二、九〇	〇、四〇	三、六〇	六二〇
朝食	漬	一、六〇	—	二、八〇	七〇
朝食	一日分	三、〇〇	〇、〇四	三、七四	—
朝食	米飯	—	—	—	—
朝食	二合五勺	—	—	—	—
朝食	總熱量	二二七四	—	二二七四	—

(四) 兒童ノ服装

嬰兒服ニ就テ

從來ノ嬰兒服ト申シマスト大体大人ノ着物ヲ其ノマ、小サクシタヤウナモノデシタ然シ考ヘテ見マスト嬰兒ハ大人ヲ其ノマ、小サクシタモノデハナク身体ノ構造各部ノ形狀鈞合又生活等著シク異ツテ井ルデアアリマセンカ。シテ見レバ着用サセマス衣服ニ就テモ其處ニ何等カノ差異ガアツテ至當ト考ヘラレマス。其ノ点ヲ顧慮シ育兒ノ實際ヨリ經驗シタ事柄並ニ先輩ノ說等ヲ基トシテ作製シテ見マシタノガ次ノ各種デゴザイマス御試作ノ動機ノ槩トモナリマスレバ幸甚ト存ジ以下作製上ノ順序ヲ筆紙ノ及ブ範圍デ述ベテ見マセウ。勿論完全ナモノトハ決シテ思ツテハ井マセン。御試作下サツテ不備ナ点改良スベキ点ガ多クアラウ事ト存ジマス何卒御高評ト御批正トヲ賜リタク存ジマス。

三角襪襪ト從來ノ長方形ノ襪襪

乳兒ノ内ハ從來ノ長方形ガ宜シト存ジマス三角形ノ

ハ脚ガ露出シ尙股間ガ頗ル窮屈デゴザイマスカラ、運出ス時期ニ三角形ノヲアテ、オシメカパーヲスルト宜シト思ヒマス。然シ所謂オシメカパー(ゴム引)ハ不衛生デ矢張り毛糸編、ラシヤ、ネル等空氣ノ流通宜シキモノニテ仕立テタイト存ジマス。

從來ノ綿入襪襪ニ代フル毛糸ラシ

ヤ本ネルノ襪襪

コレマデノ綿入襪襪ハオ洗濯ニ困難デ使用ノ際厚過ギルノデ頗ル窮屈デゴザイマシタ。毛糸、ラシヤ、本ネルヲ用ヒマスト輕クテ暖カデ尙オ洗濯ガ自由ニ出來テ衛生的デゴザイマス。

赤坊服

從來ノ赤坊服ハ綿入ガ主デスガ赤坊ノ着物ハヨク乳デヨゴレタリ尿デヨゴレタリ致シマシテ度々洗濯スル必要ガアリマスノデ綿入ニ致シマス洗濯ガ不精ニナル許デナク度々洗ヒマスノデ綿ガ切レテシマフ上ニ何度モ水ニ入レタ綿ハ非常ニ保温ノ作用ヲ惡クシ寒サヲ感ジサセマス。ソレカラ友禰模様ハ新シイ時ハ誠ニ美シ

堪エ長ク使用スル事が出来マスカラ却ツテ經濟デス。

肌着ノ仕立方

裁方 ガーゼカイ又ハ極ク軟カイ晒布ヲ九十七程用意イ  
タシマス。ソレテ第一圖ノ様ニ袖ヲ裁落シ残り六十六  
程ヲ横ニ使ツテ身頃ト致シマス。

縫方 先ヅ袖布ヲ袖グリニ合セテ(折山ヲ下ニシテ普  
通ノ反對ニ)袖ヲツケ次ニ袖口カラ袖肩明(袖肩明三  
程)ノトコロマデヲ合セテ後前ノ肩山ヲ縫ヒ合セマス  
次ニ縦襖カラ裾口ヲ三ツ折リ縮ケニシ衿ハ一程五耗位  
ニ出来上ルヤウニツケマス。衿布ハ別ニ何か小切ヲ用  
ヒマス。

下着ノ仕立方

裁方 白ノイタリヤネル七十五程巾一米八程ノ長サノ  
用布ヲモツテ第三圖ノヤウニ裾口デ袖ヲ取りアトヲ身  
頃ト致シマス。スルト後ノ身丈ガ前ヨリ三十程長クナ  
リマスコレデ足ヲクルミマス

縫方 袖ツケ及肩接ギハ肌着ト同ジ衿ハ軟カイテーブ  
カ斜布ヲ見返ニツケテ縫目ヲフセマス。次ニ前身ノ裾

ウゴザイマサガ二三度水ニ入レマスト甚ダシク見苦シ  
クナリ遂ニ洗濯ヲ怠リマスノデ胸ヤ裾廻リガ汚レマス  
シ赤坊ハヨクオ客様ナドガ抱キ下サルノデ少シノ汚  
レモ目立ツテ如何ニモ不精ニ見エマスカラ純白ノモノ  
ヲ用ヒテ汚レガ目ニ立ツ様又度々日光ニサラレテモ褪  
色スル憂ナキモノヲ選ブガヨイト思ヒマス。サウシテ  
赤チャンニハコレノトシタ色彩的ノモノヨリ純白ナ  
モノ、方ガドンナニ上品デ可愛ラシイカワカリマセン  
故ニ保温ニ適シ褪色ノ憂ナキ純白ノイタリヤネルヲ用  
ヒテ衛生的經濟的デ便利ナ赤坊服ノ裁方仕立方ヲ左ニ  
記シテ見マセウ。コノ赤坊服ハ肌着、下着、胴着、チ  
ヤンチャンコ、ノ五枚デ一組ニナツテ非マス。胴着ノ  
外ハ全部單衣デチャンチャンコハ毛糸編デス。肌着ハ  
ガーゼカイ軟カイ晒木綿デアトハ全部イタリヤネルデ作  
リマスカラ寒中デモ充分保温ガ出来マス。單衣仕立デ  
スカライツデモ自由ニ洗濯ガ出来縫目ガ非常ニ少ク縫  
込ガナクカサバル衿ガナク身体ヲ壓迫致シマセン其上  
布ガ僅デスミ下着ガオシメ押ヘノ代用ヲシマスノデ衛  
生經濟便利共ニ備ハツテ非マス。一寸考ヘルトネルヲ  
用フルノデ如何ニモ高價ノ様ナ氣ガ致シマスガ洗濯ニ

ト後身ノ、イ、ロヲヤハリテーブカ斜布ヲツケマス。  
最後ニ後ノ裾口ニ二ヶ所ノ襷ヲ寄セテカラ一米十五程  
位ノ長サデ四程巾位ノ紐ヲツケマス。コノ後身頃ノ長  
イ部分ハ足ヲツツンデ前ニ折返シ裾口ノ紐デ腰ヲ一廻  
リシテ輕クシメマス。ツマリオシメ押ヘノ代用ト足ノ冷  
ヲフセギマス。

胴着ノ仕立方

縫方 白イタリヤネル七十五程巾五十三程ノ用布デ第  
五圖ノ様ナ恰好ニ裁チマス。コレダケハ綿入ニ致シマ  
スカラ裏表二枚入用デス。

縫方 裏表トモ兩肩ヲ合セ其ノ裏表ヲ中表ニ合セテ前  
身ノ丸身ノツイタトコロカラ裾ニカケテグルツト縫合  
セ次ニ袖グリヲ縫ヒ合セ青梅綿二三枚通リ入レテ衿グ  
リノ所カラ表返シニシテ衿グリヲ縮ケマス。

上着ノ仕立方

裁方 白ノイタリヤネル七十五程巾一米八程ノ用布ヲ  
第七圖ノヤウニ二十一程袖トシテ裁切り残り九十八程  
ヲ横ニ使ツテ身頃ト致シマス。前身衿グリ裁落シカラ

圖ノヤウニ衿ヲ取りマス。

縫方 袖ツケ及肩接ギハ肌着及下着ト同ジ但シ衿肩明  
(三程五耗)衿布二枚ヲ上部デ接ギ合セ接ギ目ヲ背ノ  
中央ニ合セ衿布ヲ幾分ユルミ加減ニシテ待針ヲウチ前  
身裾口カラテーブカ斜布ヲ重ねテグルツト縫ヒマス。  
ソウシテ其ノテーブナリ斜布ヲ裏ヘマツリ縮致シマ  
ス。次ニ衿ノ外周圍ト袖口ヘスカラ縫ノヘリ飾ヲ致シ  
マス。出来上リマシタラ肩カラ十九程程下ツタ後身ヘ  
六十五程程ノ細紐ヲ横ニツケ前身ノ衿下ノ所ヘ三十程  
程ノ紐ヲ一本ヅ、ツケマス。ソシテ上前ノ袖下四程  
程ノ所ヘ緋四程程切目ヲ入レ孔カマリヲシテ紐通シト  
致シマス。ツマリ下前ノ紐ヲコ、ヘ通シテ後紐ト合セ  
テ結びマス圖ニハ裾ニ模様ガツケテアリマスガ優シミ  
ヲ見セルタメニ毛糸デ刺繡ヲ致シマシタノデスガ隨意  
デ宜シイト思ヒマス。

チャンノコノ編ミ方

材料 極細毛糸五オンスヲ二玉ニ分ケテ卷ク鈎針綴針  
各々一本。

編ミ方 糸ヲ二本合セニシテ麻ノ葉ノ模様編 麻ノ葉

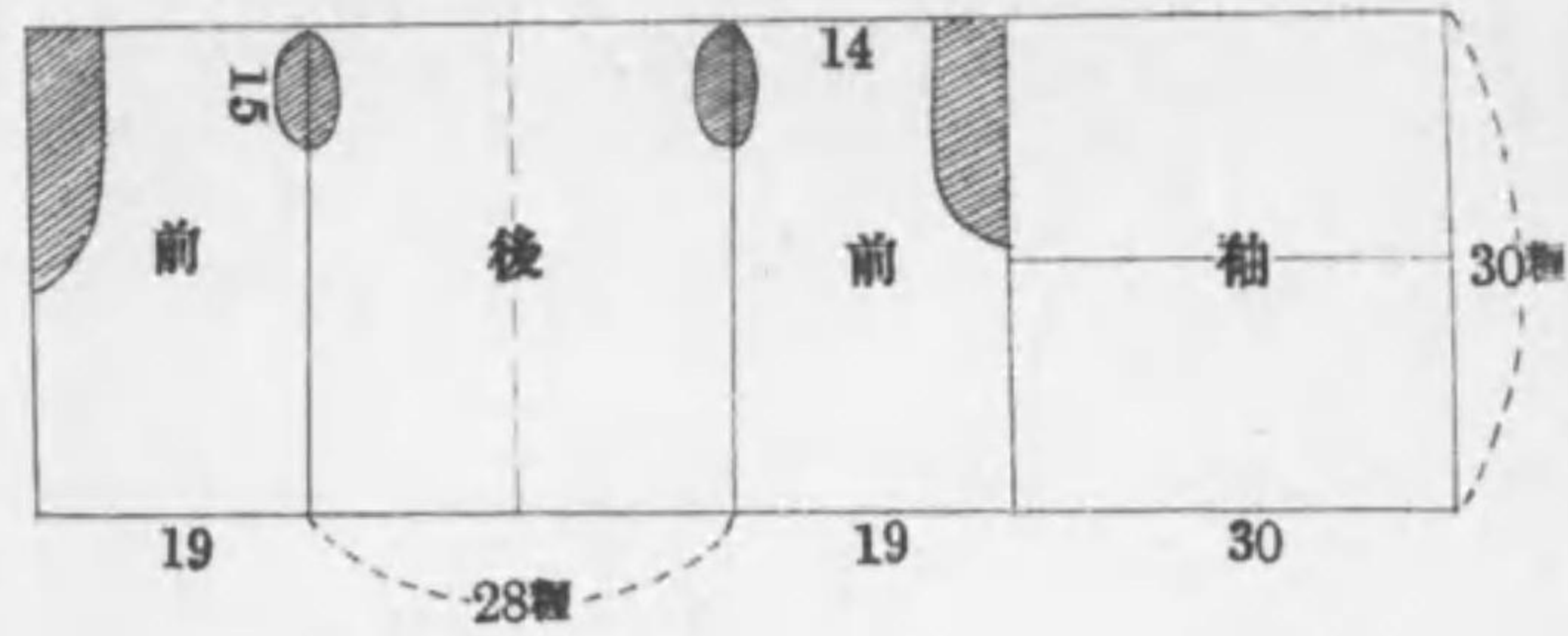
ハ先ヅ鎖ヲ編ミ針ニ糸ヲカケ編終リカラ四ツ目ノ鎖ニ針ヲ通シ掬ヒ出シ針ニ糸ヲカケ輪ヲ二ツ引抜ク今一度ツマケテナシ一緒ニ引抜ク次ハ鎖一ツ今出来タ頭ヘ今出来タト同ジ穴ト其レヨリ三目飛バシタ四ツ目ヘト、都合三ツ二ツ一緒ノ長編ヲ編ンデ引締メルコレヲ繰返シ編ム二段目カラハ三ツ一緒ニシタ穴ヘト編ンデ行キマス。後巾ト左右ノ襷巾ヲ加ヘタダケノ鎖ヲナシ麻ノ葉編ニシテ増減ナク約十三程程編ミ左右ノ襷ノ上ヲ引抜ニテ止メ其レカラ上ハ増減ナク肩マデ約十八程編ミ肩デハ巾ノ中央デ衿肩明ヲ作り前身頃ハ左右別々ニ裾カラ十程上ツタ所マデ編ミコレヨリ裾マデハ各段共前合セノ方デ二ツ一緒ノ長編ヲ一ツヅ、減ラシテ後丈ト同ジニナルマデ編ンデ行キマス。カウシテ前身頃ガ出来マシタラ綴針ニテ兩脇トモ襷附ヲ綴デ合セマス。次ニ左右ノ脇明ト前カラ裾口ニカケテグルツト飾編ヲシマス。飾編ハ縁ノ一ツノ孔ヘ短編ヲ三ツ入レ次ニ鎖編三ツ最初ノ鎖デ引抜イテピコツトヲ作ル方法デ一巡ス。然シ途中ニテ附紐ヲ續ケテ編ミマス。肩カラ十五程内外ノ所デ鎖五十編ミ引抜デ一往復編ンデ尖デ總ヲ作り肩揚ヲ致シマス。

帽子ト涎掛ノ作り方

材料 ガーゼ並巾八十四程、ネル(芯)ヲ型紙ノ寸法ダケリボン六十程、刺繡糸少々  
 裁方 涎掛ハ第九圖ノ様ニ、帽子ハ第十圖ノ様ニ、イブレモ縫ハ二程位ノウネニ其ノ他ハ記入寸法通り恰好ヨク裁チマス。芯ハ涎掛ハ型紙通帽子ハ後明ノトコロケ入レナイ方ガ柔カクテ宜シイカラ後明ノ裁目カラ四程位入ツタトコロ(十二圖ノ点線ノトコロ)デ裁チ落ス。  
 縫方 ガーゼノ表裏布デ芯ヲハサンデ涎掛ハ頸廻帽子ハ後明ノトコロダケ殘シテ他ノ周圍ヲ刺繡糸二本デスカラ縫ニシマス。ソシテ中へ適宜ノ模様ヲツケマス。次ニ帽子ハリボンヲ六十程位ニ切ツテ後明ヘ表カラ當テテ縫ヒツケ殘リノリボンヲ止針ニ通シテウネ山カラ二程程寄ツタ所ヲ三程位オキニ(十二圖)ノヤウニ縫ヒ通シマス。ソシテ兩端德里ボンヲ結び赤チャンニ被セテカラ前頭部ノ中央デ絞ツテ結びマスト出来上リマス

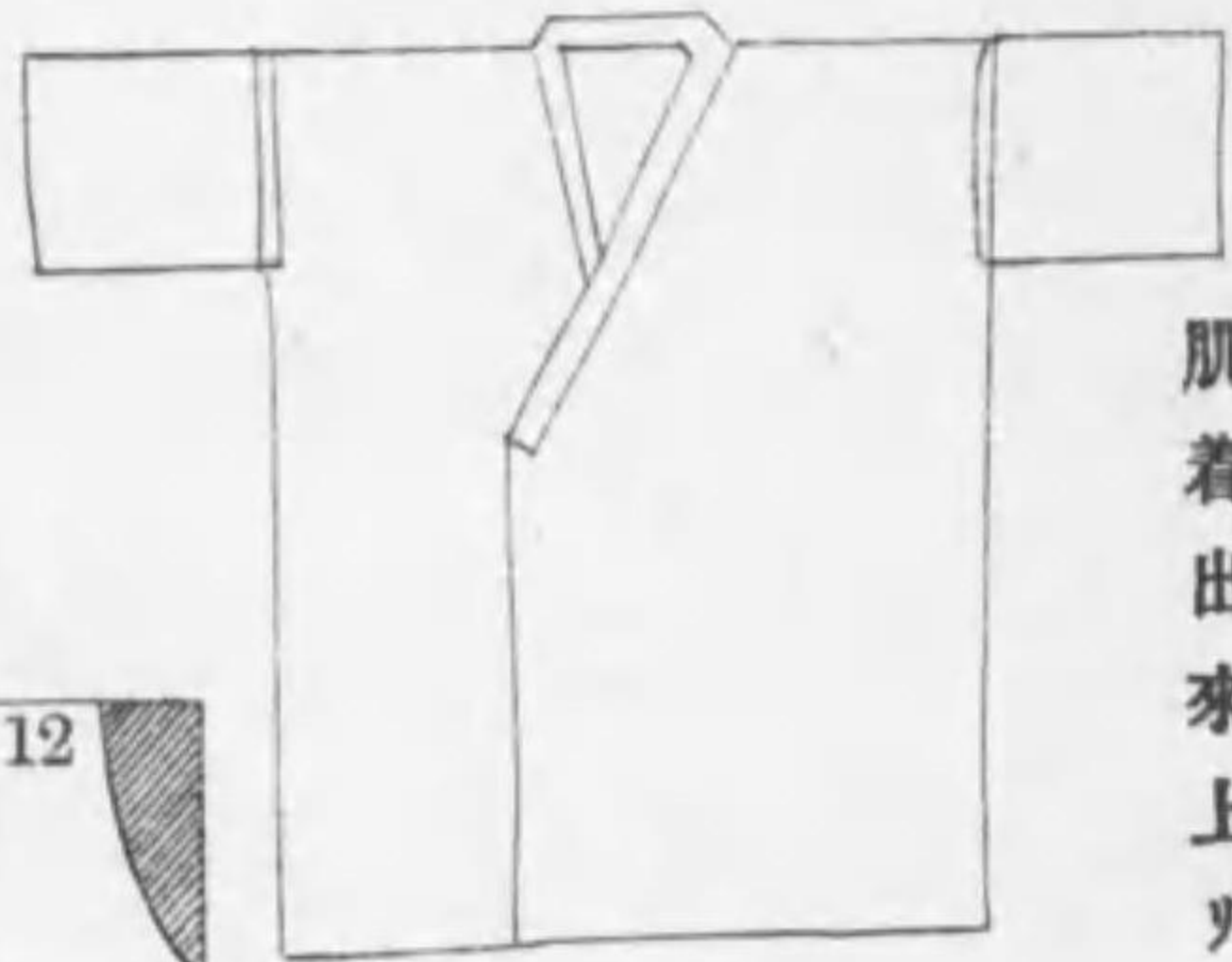
第一圖

肌着ノ裁方

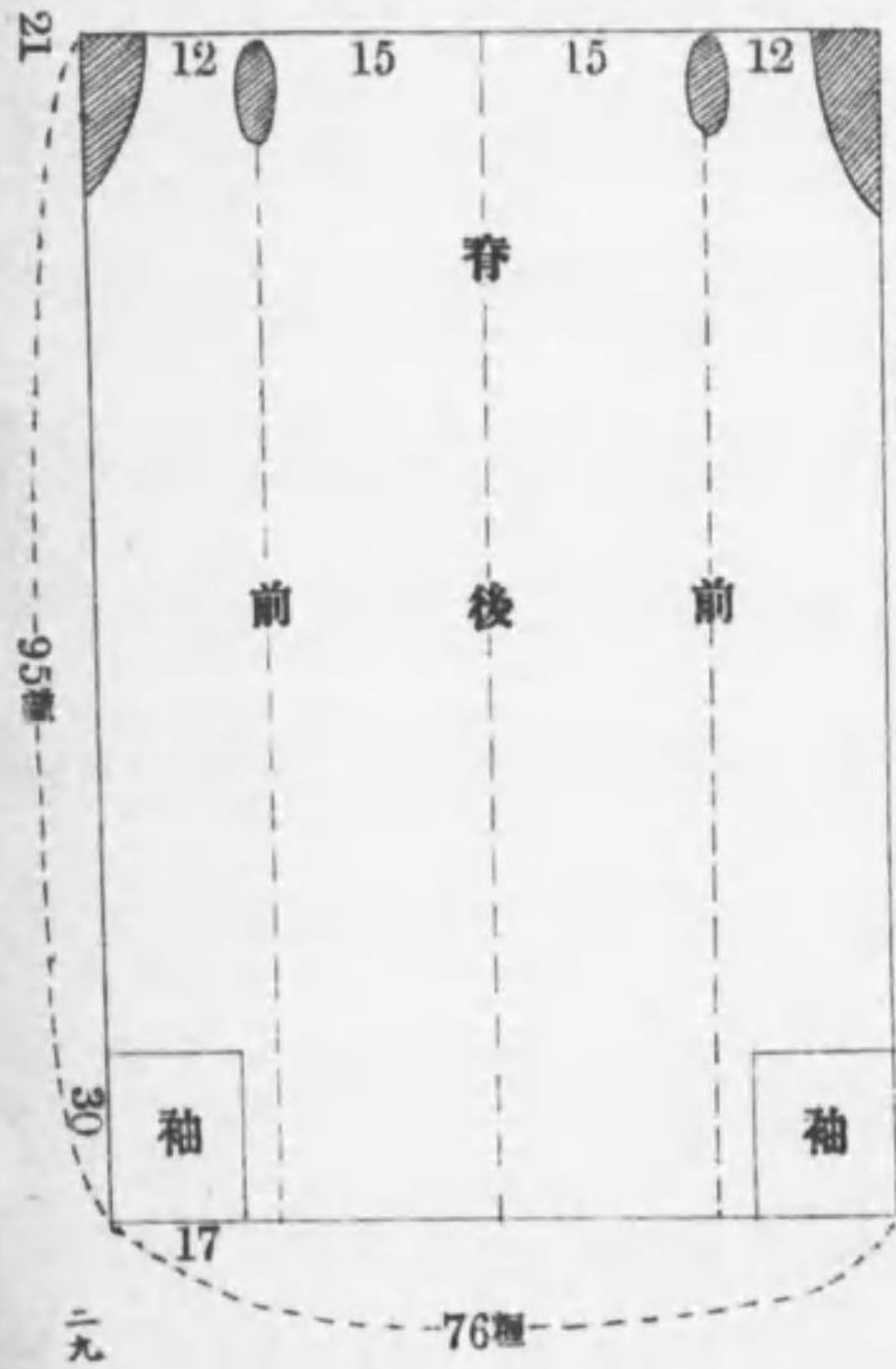


第二圖

肌着出来上リ

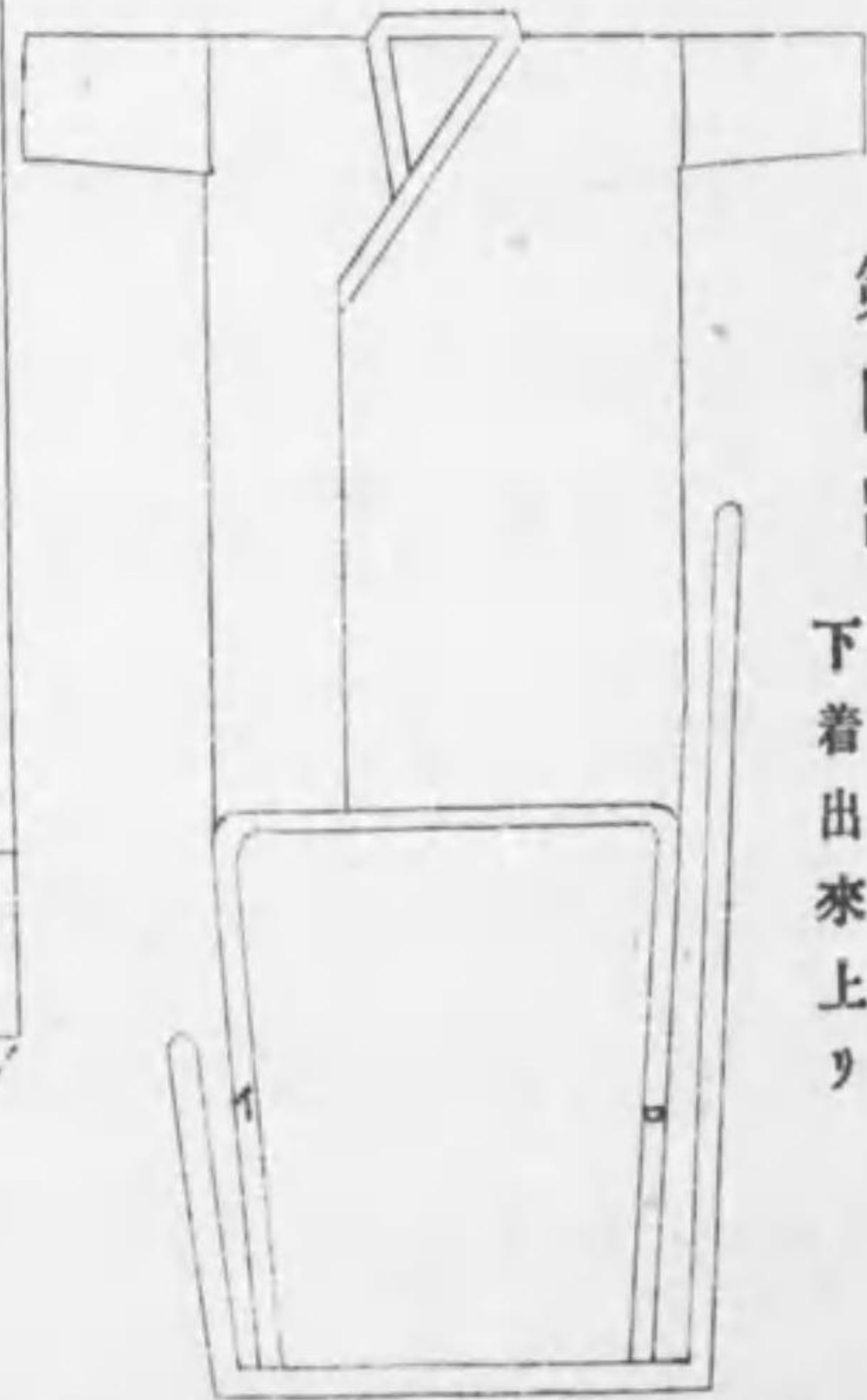


圖三第  
方裁着下



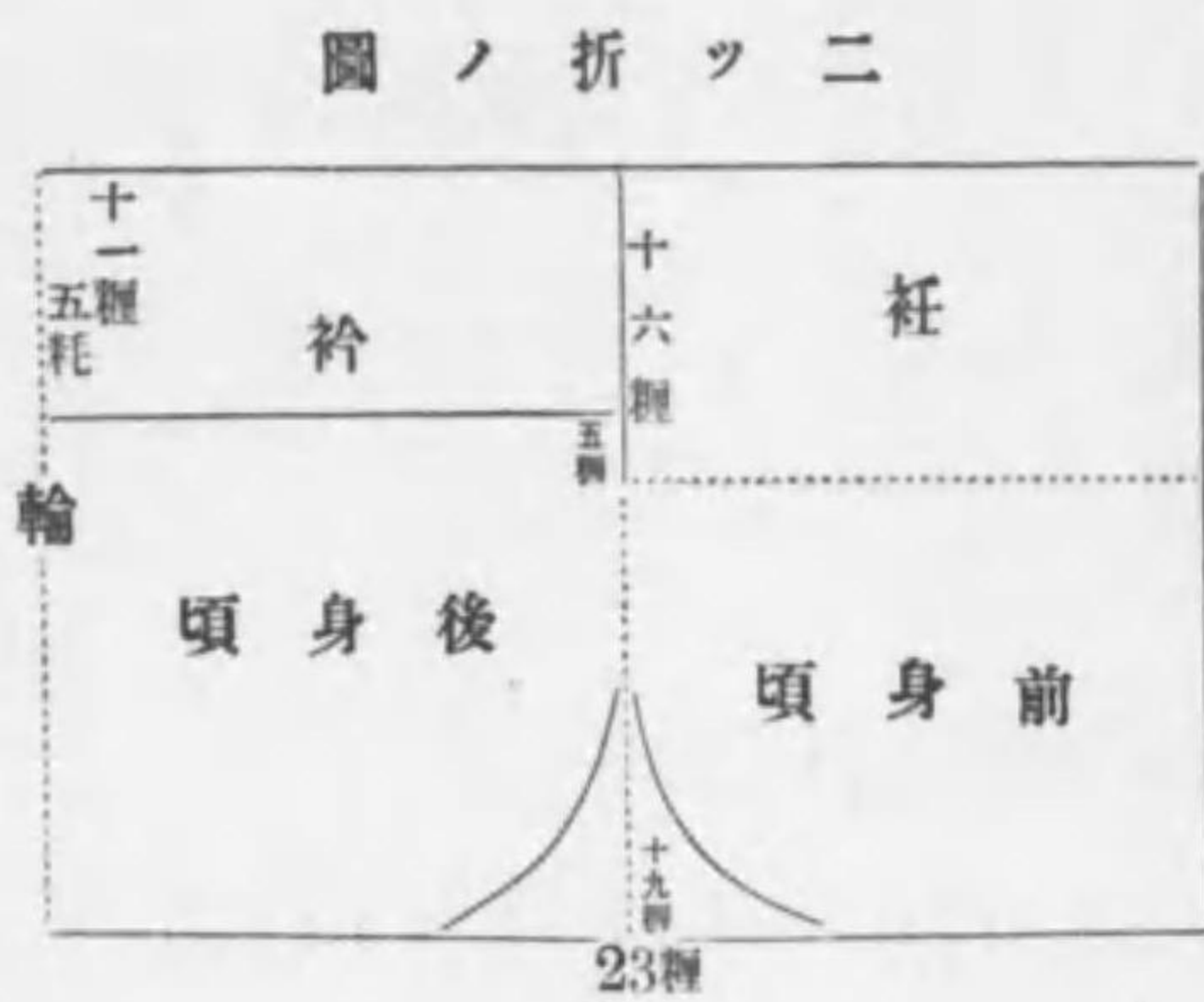
第四圖

下着出来上リ





表用布並巾三米四十二種  
裏用布並巾二米七十四種  
出來上リ寸法



二ツ折ノ圖

袖無抱着  
乳兒ノ内ハ手ヲ出サヌ爲メ袖無抱着ガ適當ト思ヒマス  
出來上リ圖 裁方圖左ノ通り

首ノ所ヲクリ込ミタル爲メ肩ヲ覆ヒ得テ暖カデゴザイ  
マス  
改良掛ブトン

背ト脇ニハ縦綴ヲスルコト  
袷附ノ時ナルベクデバ衤ニ附ケルコト  
絹天並巾三ツ割長サ七十五種  
綿ハ百匁位



出來上リ圖

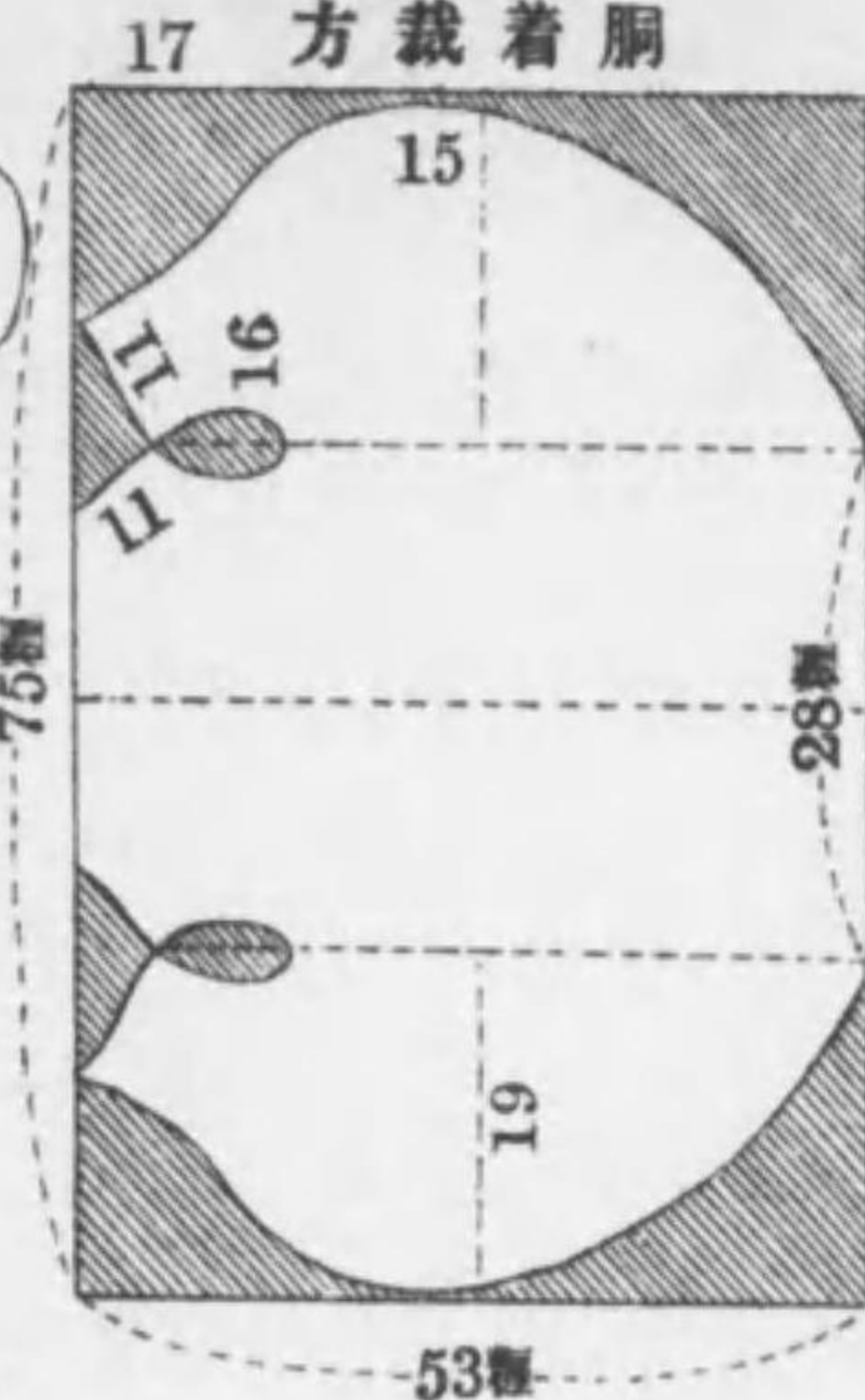
身丈七十五種  
前巾二十種  
衤下リ十一種五耗  
後巾二十三種  
衤巾十四種五耗  
衤巾四種五耗

第八圖



上着出來上リ

第五圖 方裁着胴



第六圖



リ上來出着胴

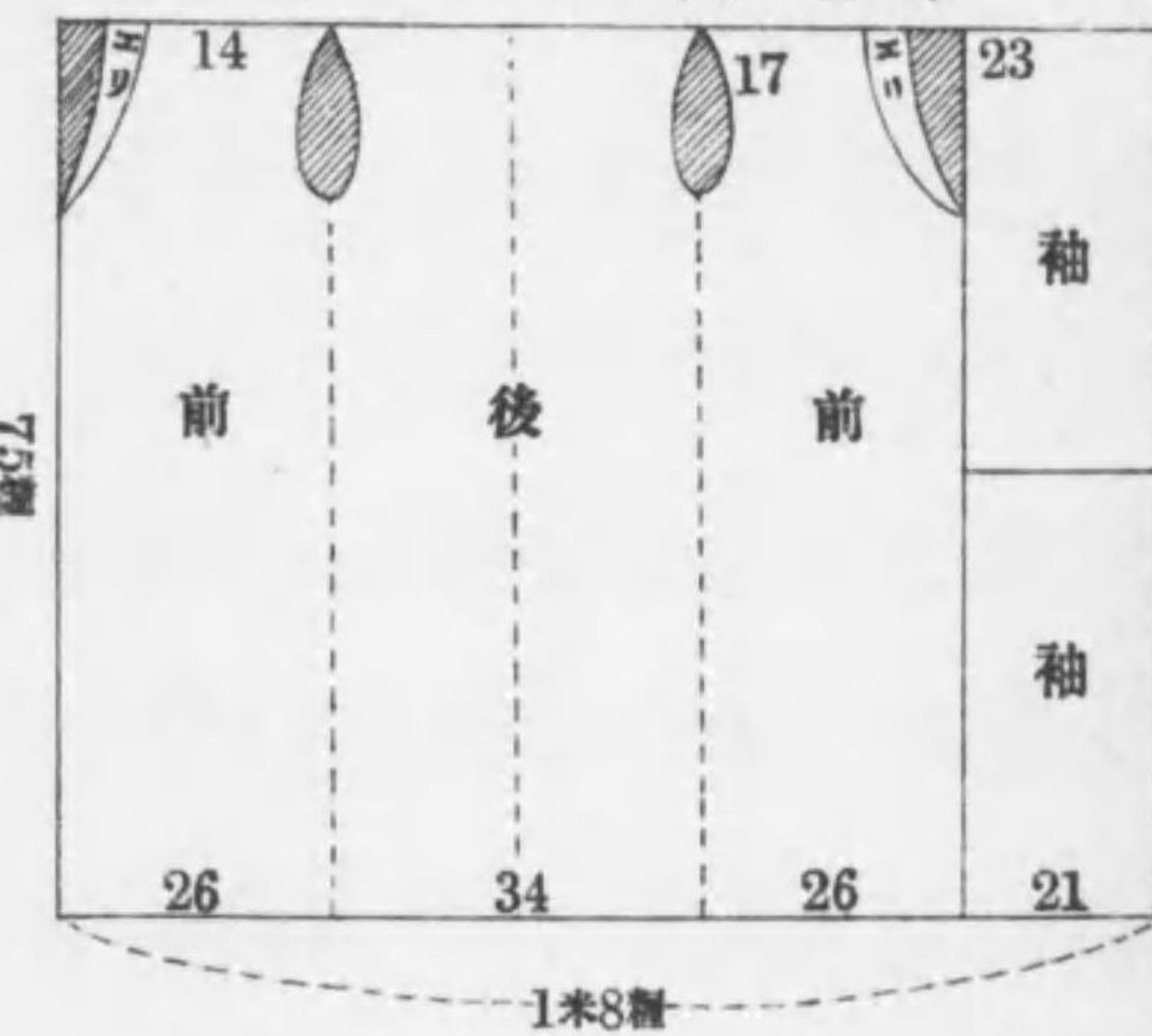


第九圖



第十圖

第七圖 方裁着上



第十三圖

出來上リ

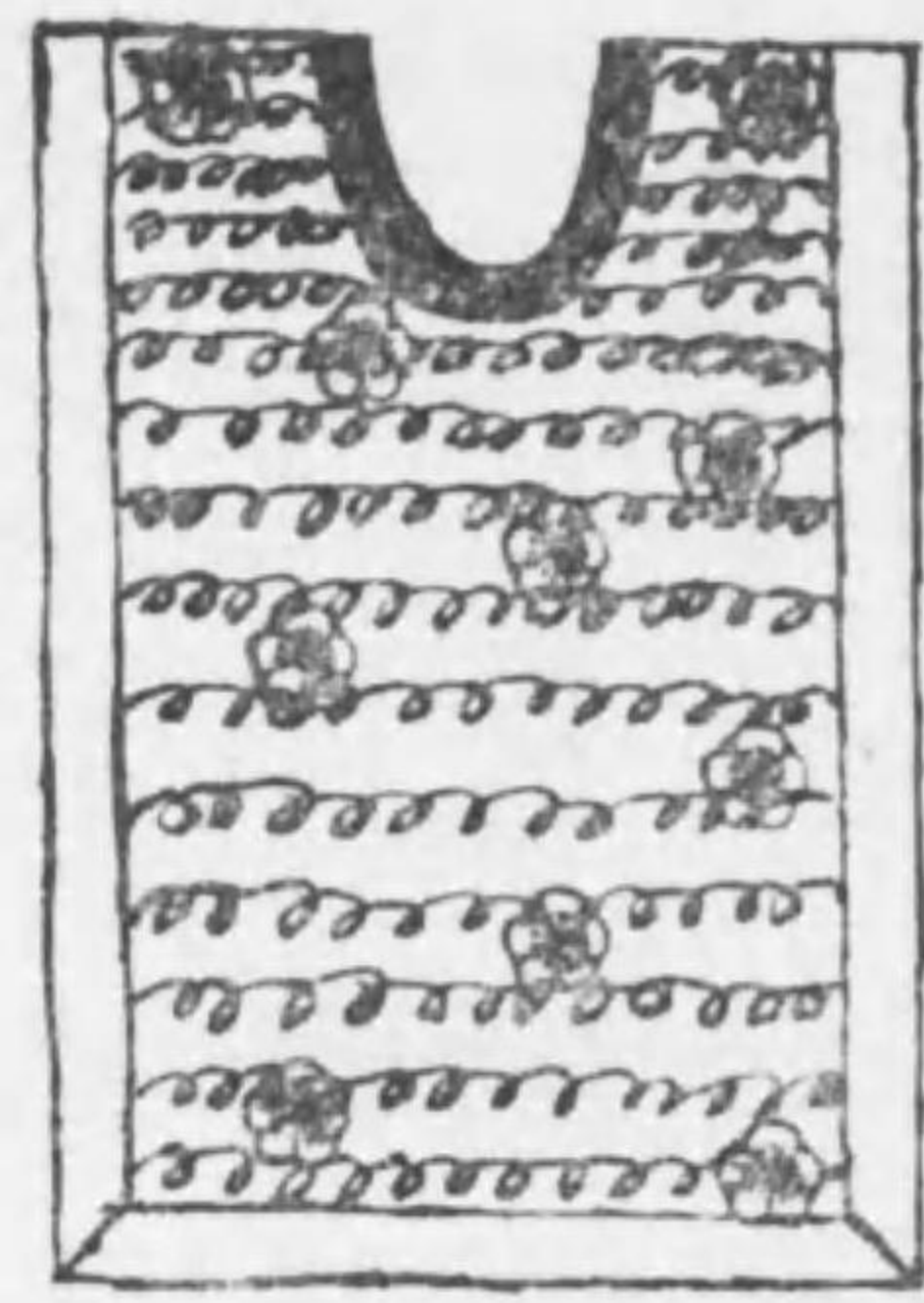


第十二圖



第十一圖

表用布大巾一米十八糎 裏用布大巾一米三十七糎  
裏巾ノ足シ切並巾一米三十七糎 カケ衿一本



首廻リノクリ方  
巾ヲ二ツ折ニシテ  
巾十糎丈二十三糎ヲ丸ミラツケテ裁チマス  
綿ハ二百匁裏ノフキハ十糎

幼児服ノ部

品名	用途	材料	費用
男児スト	夏季用	上着  キヤラコ二尺巾(七六糎) ズボン  ゼツバ四尺五寸(一七一糎) ボタン	一、一〇
女児ドレス	冬季用	毛糸  一四オンス スナツプ	二、二〇
コンピネ	冬季下着	毛糸  一五オンス ボタン	三、〇〇
ベテコート	冬季下着	毛糸  八オンス	一、六〇
チヨツキ	冬季下着	毛糸  五オンス	一、〇〇
帽子	冬季	毛糸  二オンス	〇、四〇
エプロン	冬季	毛糸  五オンス	一、〇〇
フボン	冬季	毛糸  七オンス	一、四〇
袖無羽織	冬季	毛糸  八オンス	一、六〇

品名	用途	材料	費用
男児服	合着用	小倉  二尺巾五尺五寸(二〇九糎) ボタン	二、二〇
女児ドレス	夏季用	木綿縮  一尺五寸巾三尺(一一四糎) スナツプ	〇、五〇
スリープ	夏季用	木綿縮  一尺五寸巾三尺(一一四糎) スナツプ	〇、五〇
フロース	下穿	天然木綿  一尺五寸巾二尺(七六糎) ゴムテープ一尺五寸(五七糎) スナツプ	〇、三五
ヘルコンピ	冬季下着	ネル  二尺巾三尺(一一四糎) スナツプ	〇、六〇
ヘルシヨシ	冬季下着	天然木綿  二尺巾二尺五寸(九五糎) スナツプ	〇、五〇
袖無コンピ	夏季下着	キヤラコ  二尺七寸巾一尺七寸(六四・五糎) レース	〇、六五
エプロン		ボタン	二、〇〇
眞綿入	冬季用	ガーゼ並巾 三尺(一一四糎) 眞綿 五匁(一八・七五グラム)	〇、七〇
チヨツキ	冬季用	毛糸  一ポンド(一六オンス) ボタン	三、八〇

(五) 兒童ノ二十四時間

學校ニ於テノ授業時間並ニ休息時間等ハ規定ノ通りナ  
レ共家庭ニ於ケル狀況ハ不確定ナリソノ中ニ於テ自習  
時間並ニ睡眠時間ハ最モ注意ヲ要スル事項ナリ其ノ他  
ハ男女ノ性別、家庭ノ狀況、其ノ土地ノ狀況、季節等  
ニヨリテ一定セズ故ニ茲ニハ單ニ注意スベキ事項ト大  
体ノ案ヲ示ス

事項	授業時間	睡眠時間	休息及遊戲	家事	自習時間
七 年	二、五〇分	一〇時	二時	〇時	一五分
八 年	二、五〇	一〇	二	〇	三〇
九 年	二、五〇	一〇	二	〇	三〇
十 年	三、四五	九、五	一〇	〇、五	四〇
十一年	三、四五	九、五	一〇	〇、五	四〇
十二年	三、四五	九、五	一〇	一	四〇
十三年	三、四五	八、五	八	一、五	一
十四年	三、四五	八、五	八	一、五	一

八時始業  
午前  
六時 起床  
排便、呼吸体操、神佛禮拜、高學年掃除  
七時 朝食  
手傳、特ニ女子朝食手傳  
七・五時 登校

午後 至八時 授業 晝食  
 自正午 休息  
 至一時 尋三以下自習尋四以上授業  
 至二時 尋三以下自習尋四以上授業  
 至三時 尋三以下自習尋四以上授業  
 至四時 尋三以下自習尋四以上授業  
 至五時 尋三以下自習尋四以上授業並ニ家事手傳  
 五・五時 入浴  
 六時 夕食  
 尋三以下課外讀物室內遊戯尋四以上自習  
 八時 尋三以下就眠  
 八・五時 尋四五六就眠  
 九・五時 高一二就眠  
 九時始業  
 午前  
 七時 起床、朝ノ仕事。八時ノ時ト同ジ  
 八時 朝食  
 八・五時 登校  
 至九時 授業晝食  
 至正午

午後 自正午 休息  
 至一時 授業 尋三以下歸宅  
 至二時 授業 尋四以上歸宅  
 至三時 間食  
 至四時 尋三以下自習並ニ遊戯  
 至五時 尋四以上家事手傳並ニ自由遊戯  
 五・五時 夕食  
 六時 夕食  
 尋三以上課外讀物室內遊戯  
 尋四以上自習並ニ課外讀物自由遊戯  
 九時 尋三以下就眠  
 九・五時 尋四五六就眠  
 一〇・五時 高一二就眠  
 夏休ミ中  
 午前  
 五・五時 起床。朝ノ仕事八時ノ時ニ同ジ  
 六・五時 朝食

自七・五時 自習及ビ自由遊戯  
 自九時 尋四以下自由遊戯尋五以上家事手傳晝食  
 至正午 休息  
 自一時 午睡  
 自二時 自由遊戯  
 自三時 間食  
 自四時 尋三以下課外讀物尋四以上家事手傳  
 自五時 入浴  
 自六時 夕食  
 自七時 自由散步  
 室內遊戯尋四以上課外讀物  
 八時 尋三以下就眠  
 八・五時 尋四五六就眠  
 九・五時 高一二就眠

(六) 兒童本位ノ家庭並ニ其ノ設備

其ノ一

姓名	(在籍)(机有ル者)(百分比)	(本箱ヲモ)(百分比)
半一	一、八五五	八三・〇二
半二	二五〇	二二〇
阿一	二四〇	一六三
阿二	四〇七	二九〇
阿三	二三四	一七一
阿四	三九〇	三三五
阿一	一、〇〇八	七五九
龜二	九九五	五八四
龜三	一五八	一〇二
藤江	二五九	一七八
生路	二三元	一七六
片葩	三三三	二七四
緒川	三七四	二八九
森岡	一七三	一〇七
成一	一、五四二	一、一五五

成	二四九	一七〇	六八・七	二二	四四・五
武	八六七	六一	七六・四	五〇	五九・九
富	四三七	二九四	六七・二	三二	五〇・七
計	一〇、一〇七	七、四七三	七三・九	五、四一九	五三・三

其ノ二

(勉強室) (百分比) (勉強時間ヲ特設セルモ) (百分比)

半	七四八	三九・六	六三四	三三・三
半	一三〇	五・〇〇	八	三五・〇
阿	六四	二六・七	三一	二二・九
阿	四九	一一・〇四	四	一〇・八一
阿	五	三三・三	三	一四・九六
阿	二二	五四・三	三	二二・〇四
龜	一八七	一八・三九	二〇	三三・七
龜	四	四〇・三		
龜	四〇・五			
藤	八・九			
江	一六・三			
路	一五・六			
片	六			

緒	一五	四〇・九	一九七	五三・二
成	一〇	五・六	三	二二・九
成	五九七	三六・七	四六	二六・九
武	五七	三三・八	七	三〇・五
富	一六	一三・三	二五	二八・六
計	二、六二六	一、三	二、一〇四	二六・二

其ノ三

(机) (本箱) (勉強室) (勉強時間ヲ特設セルモ) (者)

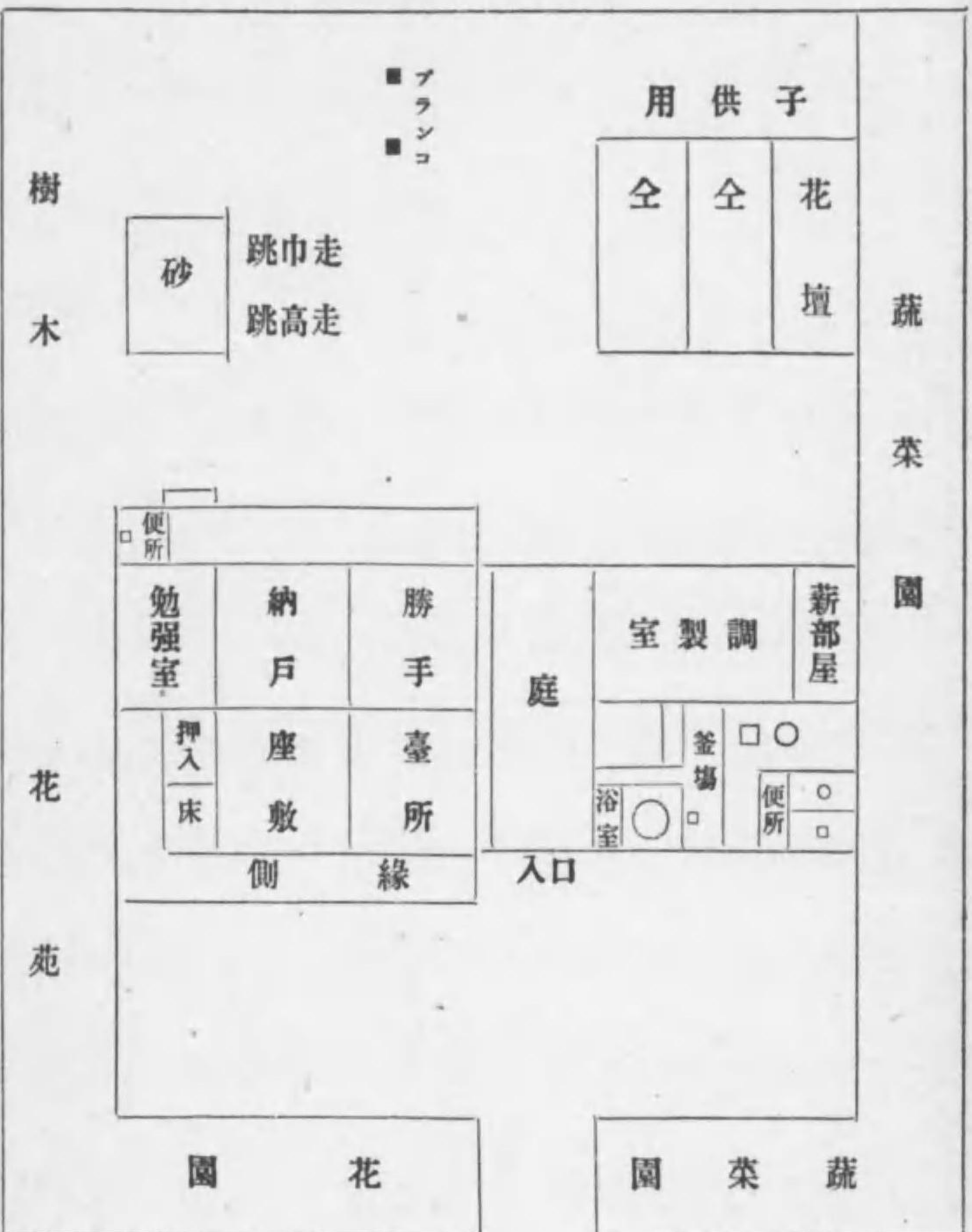
半	八三・〇	五二・三	三九・六	三三・六
半	八・〇〇	八一・〇	五・〇〇	三五・〇
阿	六七・九	四五・〇	二六・七	二二・九
阿	七二・五	五七・〇	三三・〇	二〇・八一
阿	七三・〇	六〇・六	三三・三	一四・六
阿	八〇・七	五二・四	五四・三	
龜	七三・八	五六・四	一八・九	三三・七
龜	五八・九	四二・四	四・三	
龜	六四・五	四三・七	四〇・五	
江	六九・五	四六・八	八・九	

生	七三・六	四五・九	一六・三	七二
片	七二・五	五三・五	一五・六	一三・八
緒	七二・七	五九・六	四〇・九	五三・二
森	六二・八	四五・六	五・六	二二・九
成	七四・九	五九・八	三六・七	二六・九
成	六六・七	四四・五	三三・八	
武	六八・二	四四・五	三三・八	
武	六八・二	四四・五	三三・八	
富	六八・二	四四・五	三三・八	
貴	六八・二	四四・五	三三・八	

其ノ四 (本箱ヲ有スルモノノ百分比)

半	五八・七	四五・八〇	五三・六
半	八四・〇	七七・九	八一・〇
阿	五三・三	三七・六	四五・〇
阿	五九・七	五三・五	五七・〇
阿	六〇・三	六二・八	六〇・六
阿	五三・〇	四九・三	五一・四
龜	五三・三	五七・四	五六・四
龜	四〇・六	四二・七	四一・四

龜	四二・五	四五・六	四三・七
藤	五三・三	四〇・九	四六・八
生	三七・八	五二・五	四五・一
片	五二・七	五四・九	五三・五
緒	六〇・六	五八・三	五九・三
森	四七・四	四四・二	四五・六
成	六二・〇	五五・六	五八・八
成	四三・二	四四・七	四四・五
武	五六・八	六一・〇	五九・九
富	三六・四	六九・九	五〇・七
計	五四・五	五二・五	五三・六



(圖準標)

(七)

(男)

於庭家ノ  
兒童ル

横綱	揚	(1)	前頭	かくれんぼ	(8)
大關	鬼ごっこ	(4)	同	つば取	(10)
關脇	ヲニス	(5)	同	獨樂廻	(11)
小結	戰爭遊	(6)	同	繩跳	(12)
前頭	角力	(7)	同	進擊	(13)
				同	(18)
				同	(17)
				同	(16)
				同	(15)
				同	(14)

(女)

(男)

於庭家ノ  
兒童ル

横綱	花摘	(1)	前頭	おはじき	(8)
大關	繩跳	(4)	同	お手玉	(10)
關脇	毬遊	(5)	同	石蹴	(11)
小結	まごころ	(6)	同	つば取	(12)
前頭	鬼ごっこ	(7)	同	雜遊	(13)
				同	(18)
				同	(17)
				同	(16)
				同	(15)
				同	(14)

(女)

(男)

於庭家ノ  
兒童ル

横綱	水泳	(1)	前頭	蜻蛉釣	(7)
大關	盤狩	(3)	同	魚すき	(8)
關脇	船釣	(4)	同	水鐵砲	(9)
小結	船遊	(5)	同	花火	(10)
前頭	將棋	(6)	同	陣取	(11)
				同	(16)
				同	(15)
				同	(14)
				同	(13)
				同	(12)

行司春之部

山遊	遊	(2)	×3
蕨狩	狩	(3)	×3
土筆取	取	(9)	×3

行司夏之部

年寄	蟬捕	(2)	×2
----	----	-----	----

四〇

ケ於ニ庭家ノ児童ル		(男)		(女)	
横綱竹馬	前頭トランプ	前頭トランプ	(8)	前頭トランプ	(8)
大關獨樂	同	大關獨樂	(4)	大關獨樂	(4)
關脇雪合戦	同	關脇雪合戦	(5)	關脇雪合戦	(5)
小結輪廻	同	小結輪廻	(6)	小結輪廻	(6)
前頭雪釣	同	前頭雪釣	(7)	前頭雪釣	(7)
横綱繩跳	前頭雪釣	横綱繩跳	(1)	横綱繩跳	(1)
大關お手玉	同	大關お手玉	(4)	大關お手玉	(4)
關脇編物	同	關脇編物	(5)	關脇編物	(5)
小結石蹴	同	小結石蹴	(6)	小結石蹴	(6)
前頭越遊	同	前頭越遊	(7)	前頭越遊	(7)
横綱ヲニス	前頭ヲニス	横綱ヲニス	(8)	横綱ヲニス	(8)
關脇家族合	同	關脇家族合	(9)	關脇家族合	(9)
大關ヲニス	同	大關ヲニス	(14)	大關ヲニス	(14)
關脇ヲニス	同	關脇ヲニス	(15)	關脇ヲニス	(15)
前頭ヲニス	同	前頭ヲニス	(13)	前頭ヲニス	(13)
横綱雪釣	前頭雪釣	横綱雪釣	(8)	横綱雪釣	(8)
大關鬼ごっこ	同	大關鬼ごっこ	(9)	大關鬼ごっこ	(9)
關脇鬼ごっこ	同	關脇鬼ごっこ	(10)	關脇鬼ごっこ	(10)
小結おぼじき	同	小結おぼじき	(11)	小結おぼじき	(11)
前頭おぼじき	同	前頭おぼじき	(16)	前頭おぼじき	(16)
横綱おぼじき	同	横綱おぼじき	(17)	横綱おぼじき	(17)

ケ於ニ庭家ノ児童ル		(男)		(女)	
横綱ベース	前頭いなご取	横綱ベース	(2)	横綱ベース	(2)
大關ヲニス	同	大關ヲニス	(3)	大關ヲニス	(3)
關脇ヲニス	同	關脇ヲニス	(8)	關脇ヲニス	(8)
小結杉鐵砲	同	小結杉鐵砲	(5)	小結杉鐵砲	(5)
前頭紙鐵砲	同	前頭紙鐵砲	(6)	前頭紙鐵砲	(6)
横綱お手玉	前頭追鬼	横綱お手玉	(2)	横綱お手玉	(2)
關脇輪廻	同	關脇輪廻	(4)	關脇輪廻	(4)
小結鐵砲	同	小結鐵砲	(5)	小結鐵砲	(5)
前頭繩跳	同	前頭繩跳	(6)	前頭繩跳	(6)
大關ヲニス	同	大關ヲニス	(11)	大關ヲニス	(11)
關脇ヲニス	同	關脇ヲニス	(10)	關脇ヲニス	(10)
小結おぼじき	同	小結おぼじき	(15)	小結おぼじき	(15)
前頭おぼじき	同	前頭おぼじき	(14)	前頭おぼじき	(14)
横綱おぼじき	同	横綱おぼじき	(16)	横綱おぼじき	(16)
横綱紙風船	前頭紙風船	横綱紙風船	(8)	横綱紙風船	(8)
關脇紙風船	同	關脇紙風船	(9)	關脇紙風船	(9)
小結紙風船	同	小結紙風船	(10)	小結紙風船	(10)
前頭紙風船	同	前頭紙風船	(15)	前頭紙風船	(15)
横綱紙風船	同	横綱紙風船	(13)	横綱紙風船	(13)
關脇紙風船	同	關脇紙風船	(14)	關脇紙風船	(14)
小結紙風船	同	小結紙風船	(14)	小結紙風船	(14)
前頭紙風船	同	前頭紙風船	(16)	前頭紙風船	(16)
横綱紙風船	同	横綱紙風船	(12)	横綱紙風船	(12)
關脇紙風船	同	關脇紙風船	(13)	關脇紙風船	(13)
小結紙風船	同	小結紙風船	(14)	小結紙風船	(14)
前頭紙風船	同	前頭紙風船	(15)	前頭紙風船	(15)
横綱紙風船	同	横綱紙風船	(16)	横綱紙風船	(16)

(八) 兒童ト活動寫眞

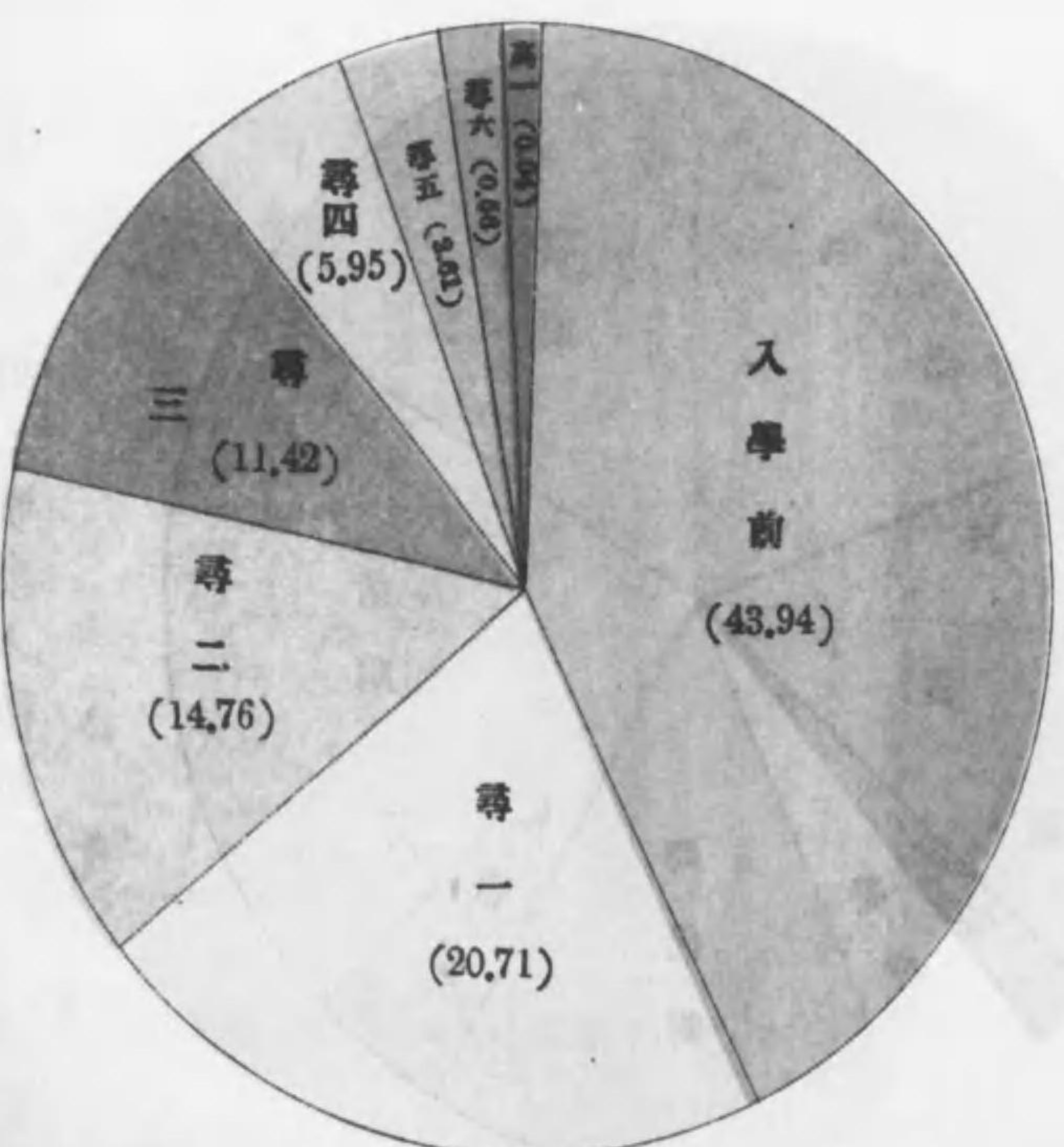
兒童ノ活動寫眞ヲ見タ數

本部第一部落十八校

兒童總數

一〇、一五二人ノ中 九、七一人 (九五・六九%)

兒童ガ活動寫眞ヲ見始メタ時 (第一部落十八校關) %



(女)		附番樂娯及動運		ケ於ニ庭家 ノ童兒ル		(男)	
		大關 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)		
大關 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)
大關 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)
大關 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)
大關 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)
大關 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)
大關 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)
大關 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)

(女)		附番樂娯及動運		ケ於ニ庭家 ノ童兒ル		(男)	
		大關 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)		
大關 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)
大關 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)
大關 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)
大關 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)
大關 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)
大關 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)
大關 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)	關脇 獨樂 (4)	關脇 合戰 (3)

露光量違いの為重複撮影

(八) 兒童ト活動寫眞

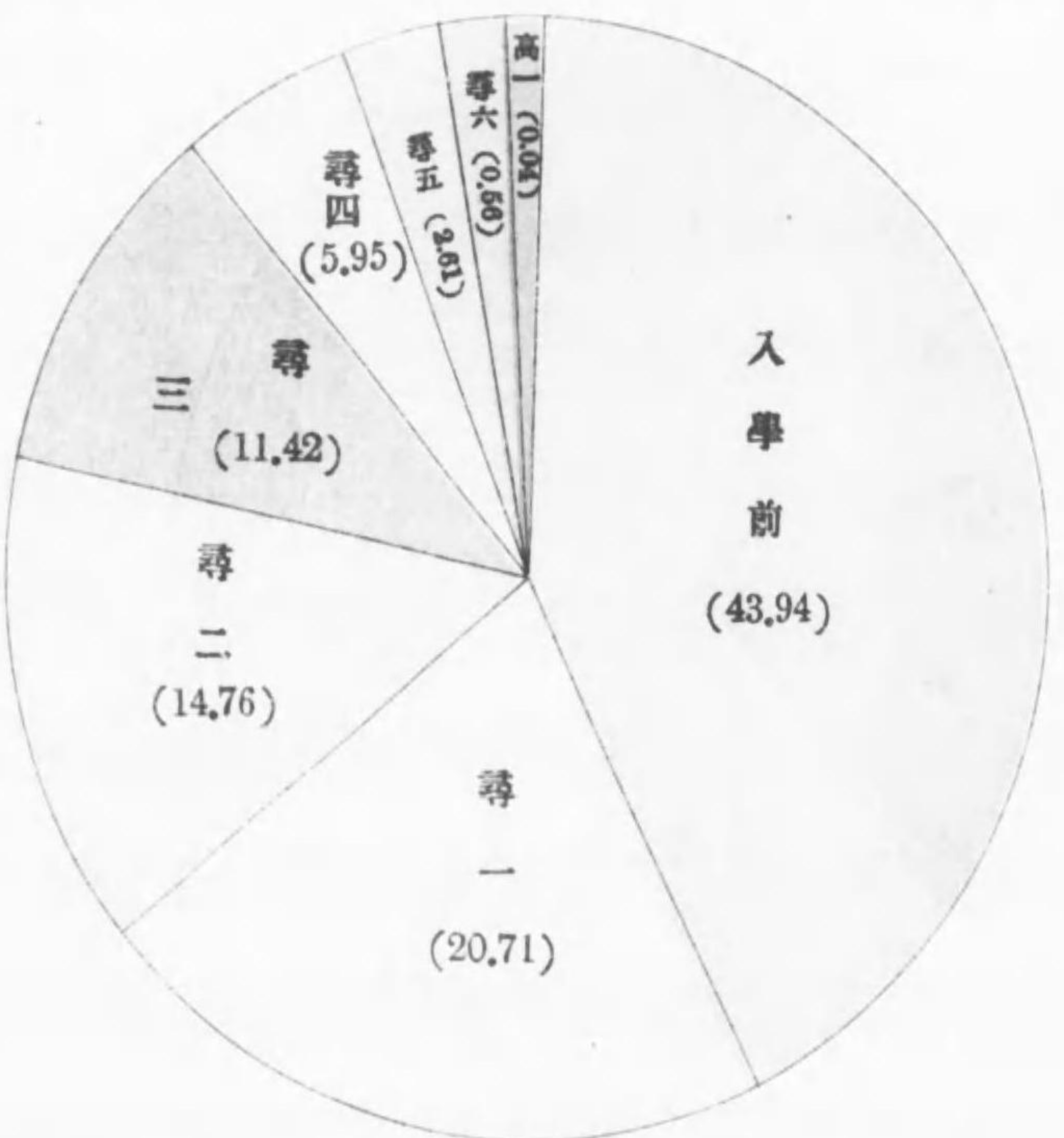
兒童ノ活動寫眞ヲ見タ數

本部第一部落十八校

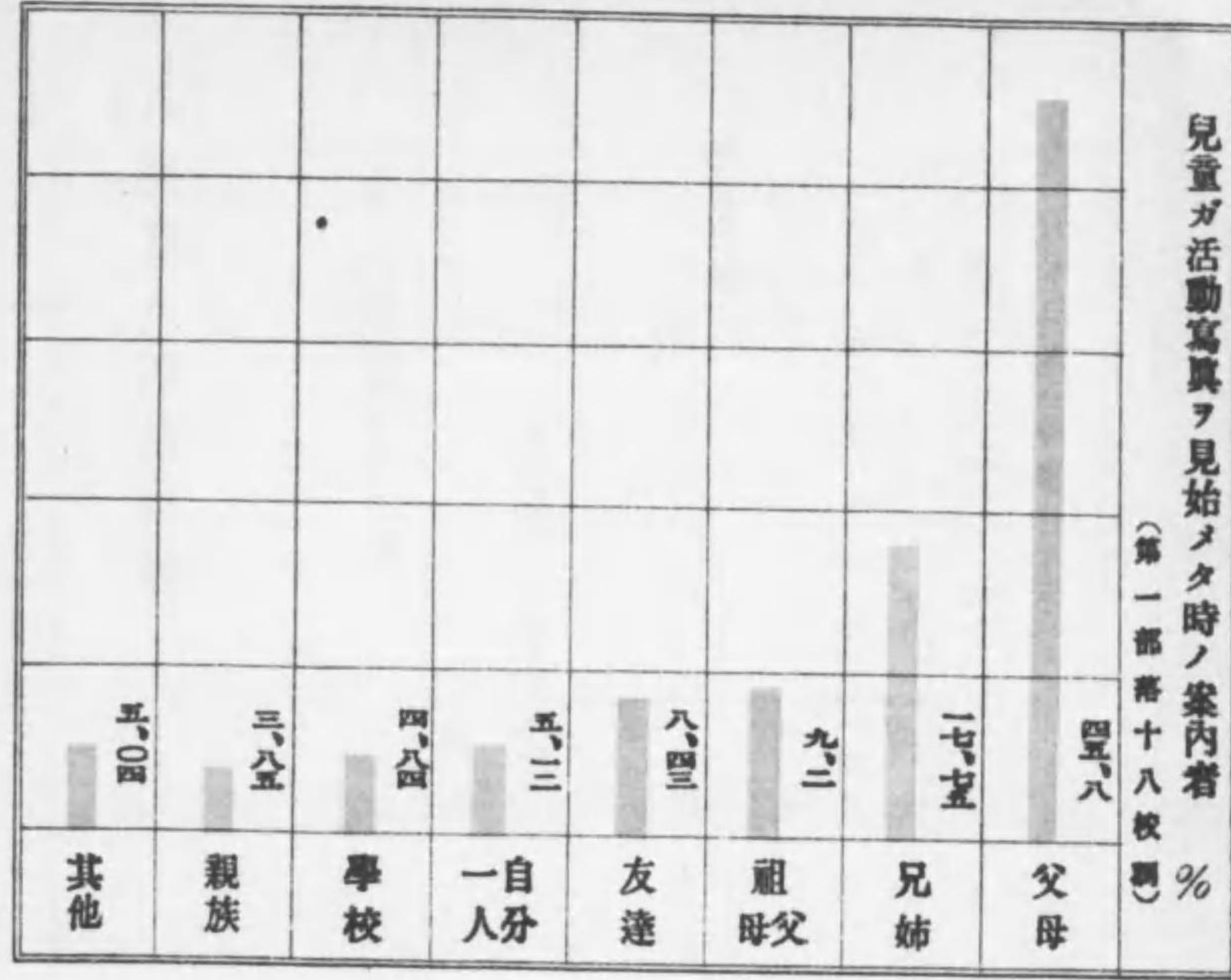
兒童總數

一〇、一五二人ノ中 九、七一四人  
(九五・六九%)

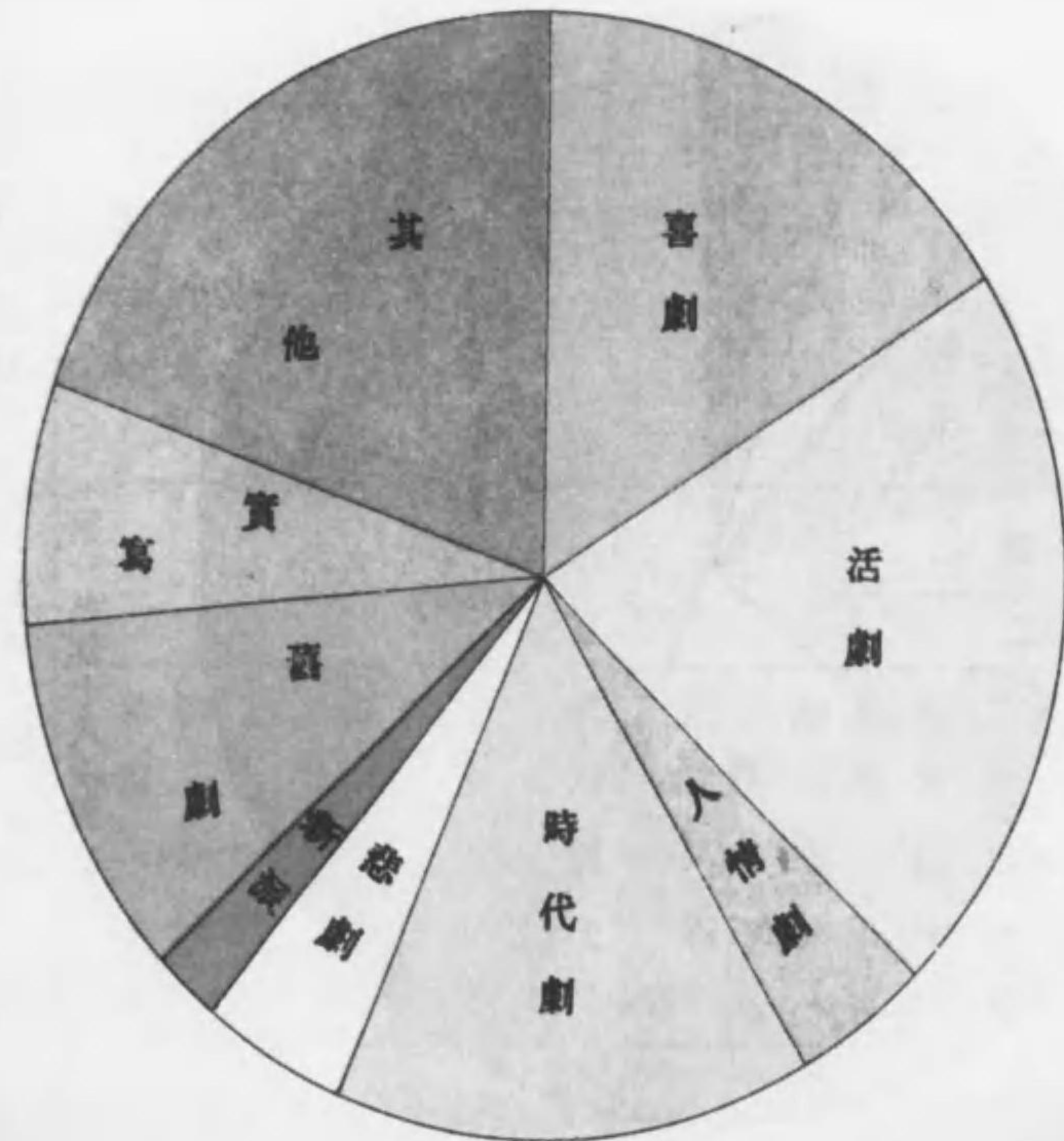
兒童ガ活動寫眞ヲ見始メタ時  
(第一部落十八校調) %



兒童ガ活動寫眞ヲ見始メタ時ノ案内者  
(第一部落十八校測) %



兒童ノ好ム映畫ノ種類  
(參考)



活動寫眞ノ弊害

兒童カ活動寫眞ヲ如何ニ好ムカト云フコトハ前ノ表デ明デアルガ之ニ伴フ弊害モ又甚大デアル

身体上ノ害

- 1 目ヲ害スル
- 2 健康ヲ害スル
- 3 睡眠ヲ妨ゲル
- 4 頭ヲ痛メル
- 5 空氣ガワルイ
- 6 病氣ニ感染スル
- 7 間食ヲ多クスル等

道德上ノ害

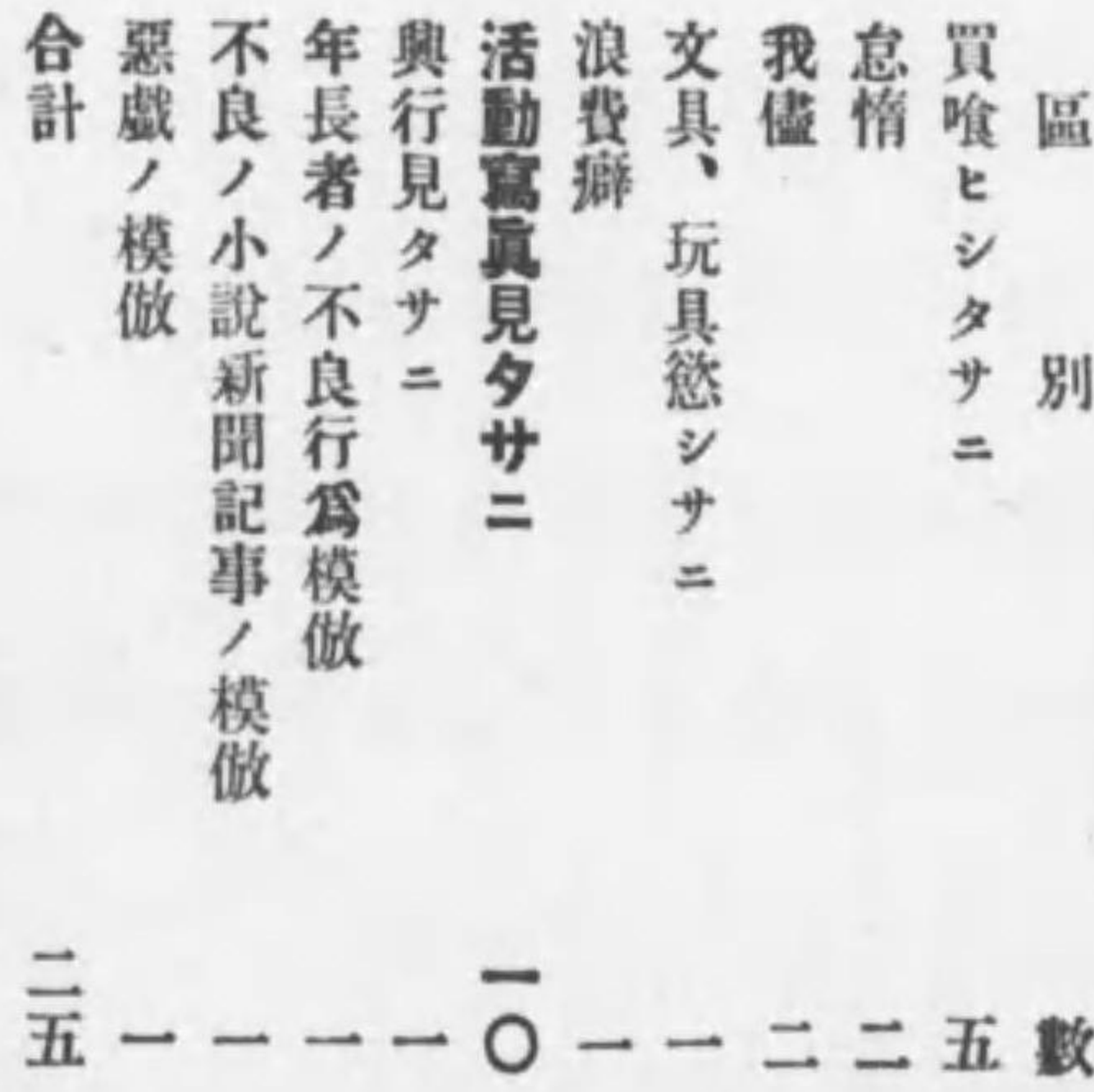
- 1 惡イ事ヤ危險ナ事ノ真似ヲスル
- 2 思想ガ惡化スル
- 3 空想的變態的ノ思想ヲモタセル
- 4 勉學ヲ怠リ時間ヲ空費スル
- 5 兇行ノ動機ヲナス
- 6 誘惑アリ
- 7 不良少年トナル
- 8 金錢ノ浪費ヲナス
- 9 下品トナル等
- 10 之等幾多ノ弊害ヲ列記シタ表式ノモノデハ人目ヲ引カ

ナイノデ次ノ三ダケ繪畫デ表シタ

- 1 鐵道線路上ヘ大石ヲ上ゲテ汽車ノ顛覆ヲ計ル
- 2 放火シテ火事ヲ見テ喜ブ
- 3 切り合ノ真似

保護少年ニ對スル個人ヨリ見タル不良性原因

名古屋市門前警察署調





兒童ガ活動寫眞ヲ見始メタ時ノ案内者  
(第一部落十八校調) %

五、〇四	三、八五	四、八四	五、二	八、四三	九、二	一七、五	四五、八		
其他	親族	學校	一人分	友達	祖母父	兄弟	父母		

活動寫眞ノ弊害

兒童カ活動寫眞ヲ如何ニ好ムカト云フコトハ前ノ表デ明デアルガ之ニ伴フ弊害モ又甚大デアル  
身体上ノ害

- 1 目ヲ害スル
- 2 健康ヲ害スル
- 3 睡眠ヲ妨ゲル
- 4 頭ヲ痛メル
- 5 空氣ガワルイ
- 6 病氣ニ感染スル
- 7 間食ヲ多クスル等

道德上ノ害

- 1 悪い事ヤ危険ナ事ノ真似ヲスル
- 2 思想ガ悪化スル
- 3 空想的變態的ノ思想ヲモタセル
- 4 勉學ヲ怠リ時間ヲ空費スル
- 5 兇行ノ動機ヲナス
- 6 誘惑アリ
- 7 不良少年トナル
- 9 金錢ノ浪費ヲナス
- 10 下品トナル等

之等幾多ノ弊害ヲ列記シタ表式ノモノデハ人目ヲ引カ

兒童ノ好ム映畫ノ種類  
(參考)



ナイノデ次ノ三ダケ繪畫デ表シタ

- 1 鐵道線路上へ大石ヲ上ゲテ汽車ノ顛覆ヲ計ル
- 2 放火シテ火事ヲ見テ喜ブ
- 3 切り合ノ真似

保護少年ニ對スル個人ヨリ見タル不良性原因

名古屋市門前警察署調

區別	數
買喰ヒシタサニ	五
怠惰	二
我儘	二
文具、玩具慾シサニ	一
浪費癖	一
活動寫眞見タサニ	〇
興行見タサニ	一
年長者ノ不良行爲模倣	一
不良ノ小説新聞記事ノ模倣	一
惡戯ノ模倣	一
合計	二五

米國ニ於ケル活動寫眞教授ノ効果  
諸種ノ教授方法ノ比較研究

	教授時間	得点
1. フィルム	13分	61.5
2. 教科書	55	64.76

1. 講義式	48.5
2. 學習式	48.8
3. フィルムノミ	50.48
4. 説明ヲ加ヘタル フィルム	52.17

(實驗ニ用ヒラレタ兒童ハ知能測定ニヨツ  
テ品等サレ相應シタ組ニ編成シタルモノ)

(九) 家庭ニ於ケル兒童ノ讀物

雜誌名	計
少年俱樂部	七二三
譚海	五三二
少女俱樂部	三七〇
日本少年	二八二
兔ノ耳	二二二
少女世界	二二二
地理ニ屬スルモノ	二四一
觀賞文選	一九〇
小學二年生	一六〇
愛國少年	一〇五
少年世界	八一
少女雜誌	六一
赤イ鳥	六一
小學三年生	六一
少年雜誌	六一
少女ノ友	六一
小學五年生	六一
小學一年生	六一
講談俱樂部	六一
小學四年生	六一
小學六年生	六一
美談	六一
子供ノ科學	六一
少女畫報	六一
課外讀本	六一
婦人雜誌	六一

面白俱樂部	一六	婦人ノ友	六	日本武尊	三
幼年ノ友	一三	繪ホドキ	六	父母小學時代ノ讀本	三
リストシヤウチャン	一二	寶ノ玉	六	ニコノ繪本	三
婦人世界	一一	婦女ノ友	六	幼年世界	三
少年少女	一〇	令女界	六	家ノ光ト我が家	三
二年ノ少女	一〇	伸ビテユク	五	學ビノ友	二
苦樂	一〇	牛若丸	五	家庭雜誌	二
書展	一〇	武俠少年	五	少年團	二
主婦ノ友	九	中學生	五	童話	二
講談雜誌	九	子供ノ國	四	青年タイムス	二
飛行少年	九	家庭子供畫本	四	愛兒ノ友	二
東京	九	桃太郎	四	少女ノ園	二
小學少年	九	二ノ宮金次郎	四	乃木大將	二
婦人俱樂部	八	文章俱樂部	四	中學世界	二
兄ノ學習シタル教科書	八	子供朝日	四	雄辯	二
繪本	八	世界少年	四	少女ノ國	二
學習ノ友	八	ボケット	三	金ノ舟	二
少女號	七	幼年畫報	三	加藤清正	二
幼年幼女	七	少年少女美談	三	マキノ	二
少年令女界	七			幼キモノニ	二

乃木式  
キネマ  
汽車ト電車  
少孝女  
ミサヲ  
小學生  
子供  
金ノ星  
科學畫報  
世界童話  
一年旅行  
ポケット講談  
鐵道青年  
八幡太郎義家  
塩原多助  
石重丸  
神風  
四十八ヶ所  
日本ノ子供  
母ノ心

菊ノ下水  
徒小僧  
獅子トアブ  
電車ト自動車  
小説  
赤イポスト  
自習ト受驗  
小學算術學習ノ友  
熊ト少年  
國史ノ話  
文チャンノ探險  
三ツノ魂  
講談錄  
赤イ星  
教育繪バナシ  
動物園  
教育幼年繪本  
日本青年  
少年號  
優等

泉ノ花  
女性ノ愛  
少女ノ花  
少年小學  
少女  
幼年繪バナシ  
兒童ノ綴方  
友ダチ  
少年譚海  
少年時代  
コヨミノ花  
嬢チャン  
受驗ト學生  
冒險世界  
君ガ代  
演藝雜誌  
新約聖書  
幼女ノ園  
計  
兒童新聞  
其ノ他ノ新聞

(一) 家庭ト學校トノ關係

一、保護者會 (母ノ會及父兄ノ會)

事業

- 1 學習狀態ノ實地參觀
- 2 受持教師トノ懇談
- 3 學習教育方針ノ説明
- 4 兒童成績品ノ展覽

開會

- 1 每學期一回又ハ夏冬各一回
- 2 出席者八割乃至九割

一、教育獎勵會又ハ學區會

事業

- 1 兒童体育
- 2 學習獎勵
- 3 善行者表彰
- 4 學校設備
- 5 事業援助
- 6 講演會及活動寫真會
- 7 貧窮兒童學用品給與、貸與
- 8 教育上ノ研究調査

經費

- 1 基本金
- 2 篤志者寄附金
- 3 會費制度

一、學校教師家庭訪問

一、訪問

- 1 病欠兒童慰藉 (病氣ノ子供ハ心配シヤ)
- 2 事故欠兒童出席督促 (三日以上)
- 3 家庭ノ生活狀態 (家テハドウシテ暮スヤラ) (欠席勝ナハ氣ニカ、ル)
- 4 父兄ノ職業狀態及種類 (親ノ仕事モ見テオコウ)
- 5 子女教養狀態 (躾ノ様ヲ參考ニ)
- 6 父兄ノ意見 (親ノ意見モ聞マホシ)
- 7 交友狀態 (ドンナ子供ト遊ブダラウ)
- 8 周圍ノ狀態 (周圍ノ様子モ知リタイナア)
- 9 上級學校入學勸誘 (上級校ヘモ勸メバヤ)

二、家庭訪問錄記入

一、保護者學校訪問

熱心ナル父兄ノ方々ハ

- 1 兒童欠席ノ場合ニ
- 2 入學前及入學期ニ
- 3 父兄懇談會ニ
- 4 運動會ニ
- 5 展覽會學藝會ニ
- 6 祝日ニ
- 7 授業參觀ニ
- 8 兒童教育上ノ意見交換ニ
- 9 學習上ノ希望アル都度ニ
- 10 卒業式ニ

一、通信連絡

- 1 兒童手牒 (八ヶ年用)  
勅語、詔書、學校曆、兒童身分、出席狀態  
兒童身體發育等ノ狀況、學業成績  
兒童心得、保護者心得
- 2 學校家庭通信簿 (一ヶ年用)  
兒童心得、保護者心得、身體狀況  
出席狀況、成績、相互通信

3 其他

- 1 諸種會合ノ出席券
  - 2 學校時報ノ配布
- 一、其他
- 1 兒童吊慰  
イ、病欠二週間ニ及ブ時ハ受持教師同級兒童慰代見  
舞又ハ慰問狀  
ロ、兒童又ハ父母死去シタル時ハ職員兒童慰代會  
葬  
ハ、忌引日數(明治四十五年四月五日郡達ニヨル)  
一、父母ニ三日以上七日以内  
一、祖父母ニ二日以上五日以内  
一、伯叔父母兄弟姉妹ニ一日以上三日以内  
一、同居親戚ニ一日乃至二日  
一、年忌祭日ハ父母祖父母ノ法會祭祀ヲ行フ當日限リ兒童ノ休業ヲ認許スベシ
  - 2 成績物家庭回覽

(二) 全國幼稚園累年一覽

年次	種別	園數	組數	保姆數	幼兒數
大正三年		六五	一、五九九	一、六九一	四八、七九
大正四年		六五	一、六八七	一、七九三	五〇、九六
大正五年		六五	一、七六六	一、八七〇	五三、六一
大正六年		六七	一、八二六	一、八九一	五五、五七
大正七年					六二
大正八年					七〇七
大正九年					七二八
大正十年					七三三
大正十一年					七四七
大正十二年					八〇一
大正十三年					—
大正十四年					九三
大正七年					一、六八六
大正八年					一、九〇一
大正九年					一、九六七
大正十年					二、〇〇六
大正十一年					二、〇八八
大正十二年					二、〇八一
大正十三年					二、一六六
大正十四年					二、二六〇
大正七年					五、八三四
大正八年					一、七五〇
大正九年					一、九九〇
大正十年					二、〇八八
大正十一年					二、〇八八
大正十二年					二、〇八八
大正十三年					二、二八八
大正十四年					二、二六〇
大正七年					六三、〇六三
大正八年					六二、二七
大正九年					六三、〇六三
大正十年					六三、〇六三
大正十一年					六三、〇六三
大正十二年					六三、〇六三
大正十三年					六三、〇六三
大正十四年					六三、〇六三

◎幼稚園保育項目一覽 (大正十四年現在)

項目	全園	愛知縣	計
幼稚園數	九三	〇	九三
遊戲	九三	〇	九三
唱歌	九三	〇	九三
談話	九三	〇	九三
手技	九三	〇	九三
會集	九三	〇	九三
言語練習	九三	〇	九三
書方	九三	〇	九三
畫方	九三	〇	九三
觀察	九三	〇	九三
園藝	九三	〇	九三
運動	九三	〇	九三
郊外保育	九三	〇	九三
數方	九三	〇	九三
其他	九三	〇	九三

◎幼稚園經費一覽 (大正十四年現在)

種別	園數	經常費總額	同上一園當	臨時費總額	同上一園當
全園	九三	九三三	一〇	一五	一五
愛知縣	〇	〇	〇	〇	〇
計	九三	九三三	一〇	一五	一五
公立	三三	一、七三三	五二	四二	一、二七五
私立	六〇	一、二〇〇	二〇	一三	二、〇〇〇
全國	九三	二、九三三	三二	五八	三、二七五

計	三五	六九、四九五	一、九八五	七、八〇七	二、〇五二
全國	保母數	俸給總額	一人當俸給年額	一人當俸給月額	
公立	一、一三〇	六四〇、二五一	五六七	四七、二五	
私立	一、七八三	七三、五九九	四〇六	三三、六三	
計	二、九一三	一、三六三、七九〇	四六八	三九、〇〇〇	

愛知縣	保母數	俸給總額	一人當俸給年額	一人當俸給月額
公立	六二	一六、一七五	二六五	三三、〇八
私立	七六	三三、五九一	四四二	三六、八三
計	一三七	四九、七六六	三六五	三〇、四一

◎幼稚園幼兒保護者職業別 (大正十四年現在)

全國	農	工	商	官吏	軍人	教員	醫師	會社員	無職	其他	計
三、四四五	一〇、七四〇	三九、四二〇	四、三八〇	九四六	二、二七四	二、六六六	九、三七二	三、七四二	七、〇三三	八四、〇〇五	
愛知縣	一〇一	五九四	一、四八五	三三	二六	一一三	一一八	三七六	一九三	二七一	三、四〇〇

- ◎保育ノ効果ト認メラル、事項
- 一、間食ヲ制限ス
  - 二、適度ノ運動ヲ行フ
  - 三、感官ノ發達及ヒ知力ヲ助長ス
  - 四、團體生活ニ慣レシム
  - 五、規律的生活ヲ行フ

- 六、共同心ヲ助長ス
- 七、獨立心ヲ助長ス
- 八、同情心ヲ助長ス
- 九、自然物ニ對スル愛情ヲ助長ス
- 十、美的情操ヲ助長ス

◎全國幼稚園創立年次一覽

文部省	明治九年	順位	人口壹萬ニ對スル園兒數ノ比	順位	園數
北海道	明治三十九年	四三	四・七六	一一	二〇
東京	全	九	一九・七四	一一	二四
京都	全	七	二二・九〇	六	三一
大阪	全	一	三四・四七	三	六九
神奈川	全	二一	一一・五一	一一	二〇
兵庫	全	三	三〇・七四	二	八四
長崎	全	二九	一〇・一七	一六	一三
新潟	全	二六	一〇・五六	二二	一九
埼玉	全	四四	四・二八	一八	一一
群馬	全	二二	一一・〇六	二〇	九
千葉	全	三五	七・七一	一五	一四
茨城	全	三二	八・四五	一四	一五
栃木	全	三〇	九・八九	一七	一二
奈良	全	一〇	一九・〇〇	二〇	九
三重	全	一四	一六・〇〇	九	二二

愛知	全	二五年	一五	一四・六五	五	三五
静岡	全	十九年	八	二一・〇八	五	三五
山梨	全	三十一年	三八	六・一四	二四	一七
滋賀	全	二十一年	六	二二・〇五	一三	一七
岐阜	全	二十四年	四七	三・三八	二五	四
長野	全	二十年	四〇	五・九六	一三	一七
宮城	全	三十八年	三六	七・三二	一八	一一
福島	全	二十六年	二四	一〇・七二	一四	一五
岩手	全	二十二年	三九	五・九七	二一	八
青森	全	三十五年	三七	六・一七	二一	八
山形	全	二十七年	二五	一〇・六九	一五	一四
秋田	全	三十九年	四五	四・一〇	二三	六
福井	全	二十二年	四	二七・八八	一一	二〇
石川	全	大正四年	一	一八・七五	一三	一七
富山	全	明治四十年	二〇	一一・七九	一八	一一
鳥取	全	三十九年	一六	一四・二七	二二	一七
島根	全	十八年	一八	一一・二六	一七	一一
岡山	全	十七年	二	三一・九七	四	二〇
廣島	全	二十一年	一七	一一・五三	七	二七
山口	全	二十六年	一九	一一・八九	一五	一四



### 第三、社會教育ノ部

#### (一) 實業補習學校

(大正十四年度現在)

(一) 校數 一八

(1) 農業補習學校 一三

(男女收容三校其他ハ男子ノミ)

(2) 商業補習學校 一

(男子ノミ)

(3) 二種以上ヲ兼ネタル校數 四

(男女收容一校其他ハ男子ノミ)

(二) 經費總額 平均 一、六二九・四一  
 最大 九四〇・五〇  
 最少 四、四九五・〇〇  
 九七・〇〇

(三) 實習地 校有地家庭及其他

總坪數 六四六一坪

平均 四〇三・八坪  
 最大 二二五〇坪  
 最少 〇坪  
 (四) 出席總數ニ對スル百分比  
 男 七〇・四七  
 女 八六・一五

#### (二) 青年訓練所

(平均トハ總數ヲ訓練所數ニテ除シタルモノ)

訓練所數 一八ヶ所  
 入所資格者數 一、四八八  
 生徒數 一、二五一  
 指導員數 二一九  
 教練 一一七  
 學科 一〇二  
 教練及學科時間數 (一ヶ年)  
 教練 平均 一一〇時  
 學科 平均 六

#### (三) 青年團一覽

團體名	創立年月日	戶數	人口	團員數	維持費	資產	學科		設備		經費					
							普通科	修身公民科	燈光數	銃器數	指揮刀數	喇叭數	備品費	消耗品費	手當	
半田町青年團	明治四十四年五月廿一日	三、四八	一七、六二	四五〇	七、七〇〇	一、一五〇	全	全	一〇、八一六	全	六〇、一燭光	全	全	二五時	二七振	一挺
阿久比青年團	大正三年十一月一日	一、四一九	七、七三	五七	一一、五〇〇	一、一五〇	全	全	一、〇七八	全	六〇、一燭光	全	全	五四時	一八挺	全
龜崎町青年團	大正六年十二月十五日	三、〇六五	一五、九四九	三八五	一、二二〇	一、一五〇	全	全	一〇、八一六	全	六〇、一燭光	全	全	二七時	二七振	一挺
東浦村青年團	大正六年九月二十一日	一、七三四	九、七五	三七	四、九五〇	六、五〇〇	全	全	一〇、八一六	全	六〇、一燭光	全	全	二七時	二七振	一挺
成岩町青年團	大正二年二月九日	二、三三	一、七三	二八	四、〇〇〇	二、〇〇〇	全	全	一〇、八一六	全	六〇、一燭光	全	全	二七時	二七振	一挺
武豊町青年團	大正二年五月五日	一、一七五	五、八九五	一七三	七、四五〇	一〇〇〇〇	全	全	一〇、八一六	全	六〇、一燭光	全	全	二七時	二七振	一挺
富貴村青年團	明治四十四年一月四日	五〇〇	二、七二〇	一八〇	九、五〇〇	二、五四六・一九	全	全	一〇、八一六	全	六〇、一燭光	全	全	二七時	二七振	一挺

處女會一覽

團體名	創立年月日	人口數	團員數	維持費	資產
半田町處女會	大正十年三月五日	三、四二六	五〇五	一〇一〇〇	
阿久比處女會	大正十五年十二月十日	一、四一九	三六〇	一四五〇〇	
龜乙川處女會	大正十一年十二月一日	七、七三二	八〇	六五〇〇	
崎有脇處女會	明治四十一年七月	一、三九	七	二五〇〇	一五〇〇
東森岡處女會	大正五年八月一日	一、三〇〇	七	二五〇〇	
浦石濱處女會	大正十一年十月三十日	一、七三四	五	一四五〇〇	
東緒川處女會	大正十三年一月廿六日	九、七五	五	一四五〇〇	
浦生路處女會	大正十二年二月一日	九、七五	五	一四五〇〇	
村藤江處女會	大正十一年十月一日	二、三三二	五	三五〇〇	
成岩町處女會	大正十二年三月三日	一、七三六	五	三五〇〇	
武豐町處女會	大正十二年九月十日	一、一七五	五	二四〇〇	一五〇〇
富貴村處女會	大正三年二月九日	五、八九五	五	二四〇〇	一五〇〇

(四) 少年團及少女團

町村名	名稱	沿革概要	司會者	主ナル事業	其他
阿久比	少年團	創立大正十四年四月 堅實ナル國民トシテ將來第一線ニ立 ツベキ少年ハ團結共同互助ノ精神ヲ 養成スル爲ニ設立ス	萩自競團 高等科生	學藝會(月一回)、角力、徒走 反省會(十五日)、共同草刈、 神社掃除	經費ハ 字有力 者ノ寄 附
宮津	少女團	創立大正十年四月	高等科 通學兒童	朝起會、夏期休暇高學年ノ家庭 ニ集合勉強ス	全前
東光寺	崇德少年會	創立大正七年三月、創立以來毎月會 ヲ開ク、會ヲ重ヌルコト三十六回	東光寺 住職 英純	オ伽會、講演會、聲明會(御經 練習)追吊會、早起會	會員百 四十二 名
草木	佛教少年團	創立大正十一年五月 阿久比第三小學校三年以上ヲ收容ス 毎日曜例會ヲ開キシガ最近ハ學期一 回茲ニ回ヲ重ヌルコト十二回	正盛院 住職 竹内關禪	佛教講話、オ伽話 學藝會、公共事業	
乙川	修道	大正五年二月十一日時ノ小學校長及 各職員公職者ノ援助ヲ得テ創立、爾 來滿十一ヶ年各種ノ事業ヲ勵行シ來	光照寺 住職	毎月一回例會開催、毎月一日十 五日ノ二回早起會ヲ催シ神社佛 閣ノ掃除、參拜、靜座、默禱、 心經合誦、講演、其他自習會、	經費百 貳拾五 圓



龜		崎		町	
少年會	西川傳承	正通寺 住職 鷺塚彰俊	法藏院 住職 稻葉亮康	少年會 少年會	少年會
將來ノ計畫 1 簡易圖書館、2 父母ノ會、3 運動遊戯器具ノ増設	卒業生送別會、乃木祭、追吊會 記念祭、林間修養會等	每月一回例會開催、禮拜、オ伽話、其ノ他、名士ノ講演、早起會、會員追吊會、會員表彰	春秋二回聯合大會、毎月一回例會開催、入會式、展覽會、運動會、會員追吊會等、出席獎勵ノタメ精勤賞授與 毎年正月大學藝會ヲ開催ス、其 他例會毎ニオ伽話、名士ノ講演	創立大正六年六月九日 以來回ヲ重ヌルコト百回餘大正六年六月會歌創造、大正十三年三月大谷派本山ヨリ表彰ヲ受ク	創立大正十五年六月字小池谷家庭ノ向學心乏シキヲ患ヘ幾分ナリトモ之レヲ補フ爲ニ創立サレ下記ノ事業ヲ行フ
經費約六拾圓(全上)	經費約六拾圓(全上)	經費約六拾圓(全上)	經費約五拾圓(全上)	經費約五拾圓(全上)	拾貳圓

東浦村		成		岩		町	
龜崎 佛子會	鶴城寺 住職 藤佳興	法話、訓話、オ伽話 兒童演說、對話、早起會 學習會、旅行	五拾圓	緒川 佛教會	常樂寺 住職 中村是隆	伽話、童話 訓話、史談	經費住職支辨 不明
緒川 佛教會	緒川各宗寺院 相謀リ小學校長ノ賛成ヲ得テ緒川佛教會主催トナリテ發會ス	合掌、三歸戒文懺悔文奉唱 オ伽話ノ會	貳拾圓	成岩町 佛教會	應稱院 住職 青柳氏	伽話、參拜 出席可良ナルモノニ賞ヲ與フ	經費住職支辨 不明
成岩町 佛教會	大正八年ノ創立ナルモ未ダ組織的團體ノ形トナラズ唯不定期的ニ隨時子供ヲ開キ伽話、童話、訓話、史談等ヲナシ今日ニ至ル	伽話、參拜 出席可良ナルモノニ賞ヲ與フ	經費住職支辨 不明	成岩町 佛教會	應稱院 住職 青柳氏	伽話、參拜 出席可良ナルモノニ賞ヲ與フ	經費住職支辨 不明
美善教 會附屬 成岩講 義所	大正十二年四月八日創立以來隔週土曜日ニ開キタルモ途中住職ノ死亡ニヨリ男松永登氏ノ支那留學ニヨリ目下休學ノ有様ナリ	伽話、參拜 出席可良ナルモノニ賞ヲ與フ	經費年八拾圓	美善教 會附屬 成岩講 義所	應稱院 住職 青柳氏	伽話、參拜 出席可良ナルモノニ賞ヲ與フ	經費年七拾圓

(五) 成人教育施設

- (1) 戸主會
- (イ) 阿久比板山戸主會……………創立明治四十二年
  - (ロ) 全 福住戸主會……………創立 全
  - (ハ) 富貴村戸主會……………創立不明
- (2) 主婦會
- (イ) 龜崎婦人會……………會員組織。知徳ノ修養 創立明治卅九年
  - (ロ) 基督教婦人會……………一般婦人。宗教的情操陶冶 創立大正八年
  - (ハ) 阿久比村福住主婦會……………一般婦人。知徳ノ修養 創立明治四十二年
  - (ニ) 阿久比村板山主婦會……………一般婦人。知徳ノ修養 創立明治四十二年
  - (ホ) 成岩修徳婦人會……………會員組織。知徳ノ修養 創立大正七年
  - (ヘ) 彦津婦人會……………會員組織。農事思想向上

- 六〇
- (ト) 富貴主婦會……………一般婦人。知徳ノ修養 創立大正十年
  - (3) 講演會……………一般町村民ニ對スル通俗的講演會ニシテ各學校區毎ニ毎年數回開催セラレ
  - (4) 社交會
  - (イ) 乙川乙巳茶話會……………會員組織。知徳ノ修養 創立明治卅八年
  - (ロ) 龜崎杏林會……………會員組織。思想ノ向上 創立明治四十四年
  - (ハ) 阿二社交會……………會員組織 創立明治四十三年
  - (5) 讀書會
  - (イ) 成岩甲寅讀書會……………會員組織。智識研修思想向上 創立大正三年
  - (ロ) 成岩公進青美會……………會員組織。讀書趣味ノ普及 創立大正九年
  - (ハ) 成岩親和會……………會員組織。讀書趣味ノ向上 創立大正九年

- (ニ) 龜崎青樵會……………會員組織。文學趣味ノ向上 創立明治二十年
- (ホ) 龜崎杜鵑社……………會員組織。文學趣味ノ向上 創立大正九年
- (6) 其 他

- (イ) 各町村教育會主催教育上後援ノ會合
- (ロ) 各町村青年團並自警團主催ノ雄辯及修養會
- (ハ) 阿久比村各學區會並各町村教育獎勵會
- (ニ) 各町村農會ノ講習會
- 養蠶。養鶏。養豚。促成栽培。養殖。稻作。麥作
- 蔬菜等ノ講習會
- 料理。漬物。裁縫。洗濯。生花等婦人ノ講習會

(六) 文藝音樂美術娛樂機關

一、文 藝

當部落ニ於ケル文藝中最モ通俗普遍ナルモノヲ狂俳トス。各町村ニ同人ノ社ヲ組織シテ或ハ月並ニ或ハ賀壽、追善、奉額等ノ句集ヲナシ点者ノ詮衡ヲ經テ開卷ス。

和歌俳句之ニ次ギテ一部人士ノ間ニ行ハレ隨時歌會、句會ノ催アリ。男女青年團ニ於テ雜誌ヲ發行シ文苑欄ヲ設ケテ團員ノ文章詩歌等ノ作品ヲ掲載セルモノ亦多キヲ見ル。

一、音 樂

汎ク行ハルル音樂トシテ指ヲ屈スベキモノヲ神社祭禮ノ囀トス祭典ニ奉仕スル神樂、雅樂ノ如キ年中行事トシテノ行樂トシテ各町村ニ之ヲ見ル。  
琴、三味線、笛、尺八、明笛、胡弓、鼓等ノ邦樂器ヨリピアノ、大正琴、バイオリン、マンドリン、ハーモニカ等ノ洋樂器等各所ニ行ハレドモピアノノハ未ダ特殊ノ家庭ニ備ヘラレルニ過ギズ。  
牟田町ニハ樂友會ノ組織アリ、前崎俱樂部ハ時々音樂ノ公開演奏ヲナス。  
聲樂ハ主ニ個人ノ誦詠ニシテ近時洋風ノ歌曲次第ニ流行セリト雖尙卑俗ノ域ヲ脱セズ。  
少數人士ノ間ニ琵琶、謠曲、義太夫等愛誦セラレドモ通俗ニ普遍セルモノハ浪花節、安來節、追分節、米山節等トス。

### 三、美術

書畫骨董ヲ愛スルハ殆ド我が國民性ニシテ本部落ニ限ラザレドモ壁間幅畫、欄間ノ額面ハ大方ノ家庭ニ見ル所ニシテ家屋ノ構造ト因習トニヨリ日本畫全盛ヲ極メ洋畫ハ洋風建築ノ外ニ見ルコト極メテ稀ナリ。彫刻、陶磁器、家具等ノ工藝美術品、骨董品亦各地ニ愛玩セラル。

本部落ニ於ケル畫會トシテハ日本畫ニ忘吾畫會、洋畫ニ紫紅會アリ年一回以上同人ノ展覽會ヲ開催セラル。書道モ近時興隆シテ斯華會、不律會ノ支部ヲ設ケ青年乃至趣味ヲ有スル人士ノ間ニ盛ナリ。

### 四、娛樂

部落内ニ行ハルル娛樂ヲ分類スレバ大凡左ノ如シ

- 1 音樂ニ屬スルモノ  
蓄音機、ラジオ、三味線、笛、尺八、明笛、胡弓、バイオリン、マンドリン、ハーモニカ、義太夫、謠曲、浪花節、安來節、源氏節等、
- 2 民衆觀覽的ノモノ

- 3 獅子、芝居、萬歳、相撲、煙火、競馬、テニス、野球、相撲、擊劍、大弓、ピンポン、登山、競技
- 4 勝敗ヲ争フモノ  
カルタ、双六、圍碁、將棋、聯珠
- 5 遊藝ニ屬スルモノ  
点茶、生花、書畫骨董、琴、三味線
- 6 會合ニ屬スルモノ  
會食、飲酒、同年會、御詠歌
- 7 其他  
魚釣、園藝、小鳥、鬮鷄

### (七) 圖書館

#### 近府縣圖書館對比表

本表中藏書及經費ハ藏書三千冊以上ノ公立圖書館ニツキ最近文部省ノ取調ニ基キ比較セルモノナリ

府縣名	人口十万人ニ對スル圖書館數	一館平均經費	一館平均藏書冊數
愛知	一	六、〇二七	一、九、七三〇
靜岡	七	二、九二七	三、八〇〇
山梨	六	一、一〇一	八、三〇一
長野	七	一、〇六五	五、九八八
新潟	二	一、〇一七	四、七四
富山	二	二、七四	一、九八七
石川	三	一、一三五	三、六〇〇
福井	六	七五〇	六、九〇二
滋賀	四	三、一九	一〇、二五四
岐阜	三	一、六一八	九、二七一
三重	四	一、〇六三	九、八四四
奈良	八	一、五三	一一、一九八
和歌山	一	三、三三	二二、二〇五
大阪	〇、五	九、二七三	三三、三〇九
京都	〇、三	三、〇五〇	三六、三六五
第一部落	四	—	—

圖書館ノ普及セルハ石川縣ヲ第一位トシ新潟之ニ次グ本縣ハ實ニ其ノ末位ニアリ

一館平均經費ハ大阪ヲ第一位トシ本縣之ニ次グ一館藏書冊數ハ京都大阪ニ次イテ本縣ハ多數ノ冊子ヲ藏スルコト、ナル  
本郡第一部落ニハ藏書三千冊以上ヲ有スル圖書館ナキモ館數合計七アリテ人口十萬ニ對シ四館ヲ有スルハ喜ハシキ事ナルモ經費及藏書ノ多カラシコトヲ望ム

#### 知多郡第一部落圖書館調

項目	公私立別		計
	公立	私立	
圖書館數	三(牛田、武登、成岩)	五	八
開館ノ年	大正三年、四年、一二年	大正四年、一二年、全十一年、三	—
敷地總坪數	三〇	三七九、五	四〇九、五
建物總坪數	三〇	一四八、二	一七八、二
閱覽室	二八、五	一〇二、〇	一三〇、五
其他附屬坪數	一、五	四六、二	四七、七
巡回文庫數	七	〇	七
圖書冊數	四、〇八九	一、九一八	六、〇〇七
經費(大正十五年度)	六四〇円	二五〇円	八九〇円

第四、社會施設ノ部

(縣知愛) 設施護保兒幼 (一)

名稱	位置	經營主體	代表者	從事員	收容定員	制限年齡	保育時間
蘇鐵町保育園	名古屋市東區蘇鐵町	財團法人愛知共濟會	事業主任 主事 後藤吉三郎	保母 囑託 一人	七〇	乳兒ヨリ學齡以下	八時間 季節ニヨリ一定
平野町幼稚園	名古屋市中區平野町	全	事業主任 主事 鶴田 皎	保母 囑託 一人	七〇	滿三才以上學齡以下	全
名古屋市保育園	名古屋市中區熱田新尾頭町	名古屋市	市長 大岩勇夫	保母 囑託 一人	五四	滿二才以上學齡以下	自午前八時 至日没
下奧幼兒保育園	名古屋市中區塚越町七番地	會員組織	團長 原天隨 主事 加藤孝平	保母 囑託 一人	八〇	滿三才以上學齡以下	八時間
二葉保育園	名古屋市中區上飯島町	個人經營	原宜賢	保母 囑託 一人	無制限	乳兒ヨリ學齡以下	自午前六時 至午後六時
慈友會保育園	名古屋市中區牧野町	慈友會會員組織	椎尾 辨 匡	保母 囑託 一人	七〇	滿四才以上學齡以下	七時間
子供の家	知多郡大高町	個人經營	服部 賢 準	保母 囑託 一人	一〇〇	滿三才以上學齡以下	季節ニヨリ一定
東田保育園	豊橋市東田町	全	青山 テル	保母 囑託 二人	一〇〇	滿三才以上學齡以下	九時間 特別ノ事情アルモハハ十時間
花田保育園	豊田市花田町	全	伊藤本一 郎	保母 囑託 三人	一五〇	全	自午前七時半 至午後六時
日本陶器株式會社託兒所	名古屋市中區則武町字向	日本陶器株式會社	事業主任 伊藤本一 郎	監督 工場 囑託 一人	六〇	學齡以下	自午前七時半 至午後六時

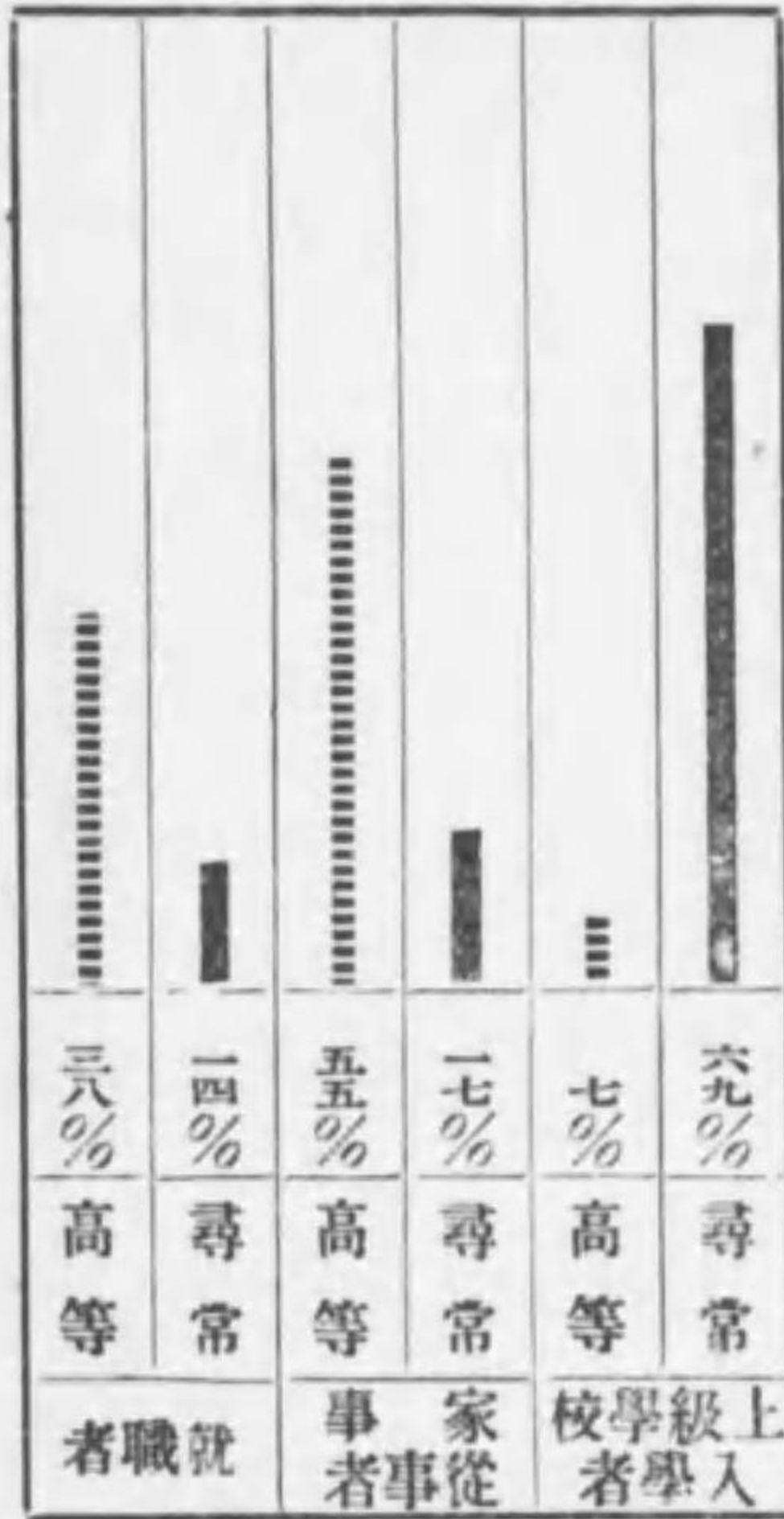
(二) 兒童保護施設

一、第一部小學校卒業者進路調査

(一) 第一部小學校卒業者進路調査表

(大正十五年三月卒業生ノ昭和二年二月現在)

卒業者總數	尋常	高等	合計
1,259	855	404	1,259
男	880	404	1,284
女	1,735	157	1,892
計	76%	24%	
全卒業者トノ比率			



(二) 上級學校へ進ミタルモノ (全入學者トノ比率)

中學校	7.7%
高等女學校	6.5%
農(林)學校	1.5%
商業學校	1.1%
工業學校	0.1%
水產學校	0.3%
師範學校	7.7%
高等小學校	5.8%
其他ノ學校	0.3%

(三) 家業ニ從事シタルモノ (全從事者トノ比率)

農 林 業	5.1%
工業及鑛業	2.4%

(四) 就職シタルモノ (全就職者トノ比率)

二・四%	一・九%	〇・八%	〇・七%	三・八%
商	土木及建築	水産業	通信運輸	其他

一・二%	一・五%	四・八%	二・六%	〇・九%	四・五%	五・三%
店員	徒弟	職工	給仕	交換手	事務見習	女中

(五) 就職者中學校ノ世話シタルモノ

〇・四%	〇・二%	八・三%
產婆看護婦	書生	其他

種別 實數 全就職者トノ比率  
 尋常 六人 一%  
 高等 三八人 八%  
 計 四四人 九%

二、武豊兒童健康相談所  
 位置 武豊小學校裁縫室又ハ當直室  
 日時 毎月(八月ヲ) 十五日 午后一時ヨリ 午后三時マデ  
 (日曜祭日等ニアタレバ其ノ翌日 若シ多數ノ來談者アレバ一回増ス豫定)  
 開始 大正十五年十一月十五日  
 料金 一切無料  
 相談ノ相手 校醫 山口尙文氏

相談ノ事柄 兒童ノ保健教養ニツイテ

醫學上一切ノ御相談

- 病氣ノアル方ハ其ノ治療ノ方針ヲ
- 兒童ノ體質又ハ發育ニツイテ
- 毎年ノ身体検査ノ結果ニツイテ
- 兒童ノ營養、食餌、運動、睡眠等ニツイテ
- 其他相談ノ手續

● 武豊學校在學兒童並ニ武豊幼稚園兒ナラバ何方デモカマヒマセン

● 何ノ手續モイリマセン兒童ハ學校ニ居ルコトナレバ保護者サヘ來テ下サレバ宜シイ

三、名古屋市中心職業紹介所少年部事業調査

(一) 大正十四年度取扱事務概況

1 少年職業指導協議會 事務取扱ノ根本タル小學トノ聯絡方法ニ關シ打合セヲナス

協議事項

- イ、聯絡小學校決定ノ件
- ロ、職業指導講習會開催ノ件

ハ、職業指導講習會開催ノ件

ニ、求職兒童調査ノ件

ホ、求人開拓ノ件

ヘ、求人通報ノ件

ト、職業指導方法ノ件

チ、職業紹介ノ件

リ、就職調査ノ件

ヌ、就職者保護ノ件

ル、參考資料調査ノ件

ヲ、來學年實行方法ノ件

2 少年職業指導講習會 職業指導乃至紹介ノ事業ハ性質能力ヲ調査スル必要上多年兒童ノ教育ヲ擔當

サレタ學校職員ノ協力ヲ俟タネバナラナイノデ小

學校長會議ノ希望ニ基キ中央及名古屋地方職業紹

介事務局ノ多大ナル援助ヲ得テ開催ス

3 職業指導講習會 就職希望ノ兒童又ハ其ノ父兄ニ

對シテ職業ノ選擇並ニ就職上ノ心得等ニ關シテ講

演ス

4 職業紹介

イ、求人開拓

ロ、求職  
ハ、紹介  
ニ、就職

(二)就職兒童心得

給仕、事務見習諸君ノタメニ

- 一、出勤ハ人ヨリ先ニ退出ハ人ヨリ後ニト心得ヨ
- 一、余暇アラバ事務ノ研究怠ルナ
- 一、字ハ上手算盤達者ト氣ヲクバレ
- 一、今日モ亦真面目心デ仕事セヨ
- 一、上役ノ言付、真カラ從ヘヨ
- 一、落伍者多イハ給仕ノ職蹴落サレズト心セヨ
- 小店員諸君ノ爲ニ
- 一、客ハ寶、ニコニコ主義デ應對セ

見習工諸君ノ爲ニ

- 一、使用人根性出スナヨ、身ノタメダ
- 一、辛抱者デナケレバ勝ハ人ニ行ク
- 一、明輩ヤ上役ニ憎マレタナラ身ノ損ダ
- 一、用事ヲバ言付ケラレタラタメラフナ
- 一、商品ハ大事ナ品ヨ、疵アラバ客ニカクスタ店ノタメ
- 見習工諸君ノ爲ニ
- 一、手先バカリデ仕事ヲスルナ心血ソソイテ打チコモヨ
- 一、技能ハ身ニツイタ寶、盜難火難ノ憂ハナイヨ
- 一、一年二年ハ難役仕事ダ、油賣ラズニ精出セヨ
- 一、儲ケ話ニ耳カス勿レ、殘ル仕事ニ身ヲ入レヨ
- 一、「タタキ職人」値打ハナイヨ、僕ハ棟梁腕ノ人
- 一、左甚五郎何コワカラカ、今ハ天地カケル世ダ

四、一般智能ヨリ見たル職業選擇ノ規準表

(愛知縣兒童研究所主事 丸山良二氏案)

知能階段	必要ナル能力	教育的的能力	職業階級	職業ノ例
「最上智」 標準偏差値 76以上	創作的及指導的 能力	大學ヲ優等デ卒 業シ得ル能力	高等ナル 專門的職 業階級	法律家、教師(大學)、技師、外交官、大臣 統計家、支配人(大商店)、知事、陸海軍將 官
「上智」 標準偏差値 66カラ75マ デ	行政的統率的及 ビ專門的能力	專門學校又ハ大 學卒業程度ノ能 力	專門的職 業階級	記者(新聞雜誌) 醫者、教師(專門學校中等 學校) 支配人、工場長、秘書官、事務員(大 商店銀行) 社會事業家、齒科醫、設計家、 會計士、町村長
「平均智上」 標準偏差値 56カラ65マ デ	統率的能カ抽象 力及ビ技術的仕 事ニ對スル優秀 ナ能力	中等學校卒業及 ビ或ル種ノ專門 學校修業程度ノ 能力	技術的職 業階級	速記者、簿記方、教師(小學校) 會社員、銀 行員、賣捌人(卸賣) 店員(大商店) 鐵道書記 取引所書記、電氣技師、倉庫係、藥劑師、 職工長、タイピスト、各種商店主、各種工場主
「平均智」 標準偏差値 45カラ55マ デ	オキマリノ且熟 練的仕事ニ對ス ル能力 複雑ナ抽象的ノ 仕事ハ出來ナイ	高等小學校卒業 又ハ中等學校卒 業程度ノ能力	熟練職業 階級	電信技師、看板書、郵便局員、蹄鐵工、電 話工作者、在庫品照査者、巡查、保姆、機 關手、紙縮職、銃工、鉛管工、パイプ工、 旋盤工、洋服屋、帽子製造業、制動手、保 線手、小賣商人、消防手、技工、鍛工、指 物師、大工、運轉手、車掌、店員(小商店) 寫真師、音樂師(樂隊) 靴工、倉庫管理人、 飛行機製作者
「平均智下」 標準偏差値 35カラ44マ デ	オキマリノ熟練 職ニ對スル能力	尋常小學校卒業 程度ノ能力	半熟練即 チ低熟練 職業階級	麵飽焼人、料理人、宿屋ノ番頭、石工、水 夫、天幕製作者、皮革製造者、金屬板工、 勞働者、印刷工、赤帽、農夫、左官、陶工 洗濯夫、理髮師、髮結ビ、煉瓦積工、鳶職 子守女

「下智」標準偏差値 25カラ34マ	單純ナオキマリノ仕事ニ對スル能力	小學校第四學年程度ノ能力	未熟練又ハ最低熟練職業階級	漁夫、日傭人、荷積人、引揚人、機械工、使丁、番人、擔夫、下女、下男、車夫、火夫、下駄工、荷造人、馬車曳、鑛夫、屑屋、土方
「最下智」標準偏差値 24以下	極メテ單純ナオキマリノ仕事ニ對スル能力、指導監督ヲ必要トスル	小學校第三學年以上ニ進ムコトノ出來ナイ程ノ能力	最低ノ未熟練職業階級	草刈リ、穴掘リ、伐木、荷車ノ後押シ、タドン製造人夫、掃除人夫、石切り出シ人夫

七〇

(三) 感化救濟事業一覽表

町村名	事業名稱	事業概要	經費年額	經費ノ支辨	會集概數	事業經營代表者
東	兒童就學獎勵金	村費ヲ以テ小學校兒童中ノ貧困者ニ教科書其他學用品ヲ給與シ就學出席ヲ獎勵ス	一〇〇〇〇 一〇〇〇〇 一四〇七〇	村費	三人	緒川小學校 藤江小學校
東	兒童獎勵金	成績優良ナル兒童、特殊行爲アル兒童ニ授賞シテ獎勵ス	基本金ノ利子	基本金 一五〇〇〇		生路小學校
浦	兒童追吊會	死亡兒童ノ追吊會ヲナシテ、兒童ヲ感化ス	五〇〇〇	寺院ノ厚意		生路小學校
東		大正十四年二月ノ創立ニテ、隔月開會、禮拜三歸戒文懺悔文奉唱、オ伽嘶等ヲナス。	二〇〇〇	緒川 佛教會費	隔月開會	緒川佛教會

町村名	事業名稱	事業概要	經費年額	經費ノ支辨	會集概數	事業經營代表者
阿	就學獎勵費	家計困難ナル兒童ニ對シ、學用品ヲ給與ス	一八・七九	本村佛教會		關 俊太郎 澤田房次郎
阿	板山親善會	兩會トモ父老會、戶主會、主婦會、青年會處女會、少年少女會ノ分科會アリ。	三〇〇〇〇	會員分擔	一年延人員 二・八〇〇	竹内銚六
阿	福住樹德會	總會 春秋二回、各分科會員全部出席ス。事業トシテ、講演、敬老會、慰問研究講習見學視察旅行、娛樂會等ヲナス。	一〇〇〇〇	會員分擔	全上 一・五〇〇	竹内銚六
阿	阿久比村佛教會	講演會、貧民兒童學用品給與、貧民施藥施療等ヲナス。	三〇〇〇〇	托鉢ニヨル		佛教會長 竹内六之助
久	貧民救濟事業	家計困難ナル者ニ對シ、金品給與並ニ公費補助ヲナス。	一人ニ 二〇〇〇	基本金 一、三九・五	三五人	村長 竹内六之助
比	草木佛教少年團	大正十一年五月ノ創立ニテ、教育ト宗教ト提携シテ少年ノ知徳修養肉體改善ノタメ左ノ如キ事業ヲナス。 A 佛教講話、オ伽嘶、理科實驗、教育的手品、唱歌劇、 B 字內神社寺院ノ境內ノ清潔掃除並ニ香花ノ立カヘ。 C 團員中死亡者ノ追吊會。	二〇〇〇	字內 每月一戸 一錢ヅ、ノ 寄附金ニ ヨル	例會年三回 清潔掃除 月一回 團員 一七一人	草木 正盛院住職
比	明照少年會	大正六年一月ノ創立ニテ毎月一回開會。オ伽會、運動、禮拜等ヲナス。	五〇〇〇		會員七五人	雲谷寺住職

七一

武		崎		龜		日曜學校
兵役關係者家庭ノ慰問救助事業	兒童就學獎勵費	慈善鍋	乙川教育會	龜崎町救濟會	龜崎町救濟基金條例	佛敎ノ旨趣ニヨリ少年少女感化ノタメ毎日曜日、午前二時間開催ス。
金品授與	全上就學出席ノ獎勵ヲナス。	大正十三年ヨリ第五區ニ於テ貧民救濟事業トシテ、年末ニ於テ慈善鍋ヲ設置シ、米穀金品ノ喜捨ヲ集メテ餅ニツキ、之ヲ貧民ニ給與ス。	兒童へ學用品給與 貧困ニシテ就學セシ者へ、學用品ヲ給與ス	一、窮民ノ經常費補助、 二、天災地變其他災厄ニ遇ヒ臨時救助ノ必要アル時、 三、穀類暴騰ニ際シ、救濟ノ必要アル時、 四、日常生活ヲ安易ナラシムル施設、	一家ニ 二〇〇〇 乃至 二四〇〇	10000
隨意支出	二五〇〇	特志者ノ喜捨	一五〇〇	二〇〇〇	乃至	
	町費	基本金 10000				
不定	不定	不定			大正二年度以降九家族	
町	町	町	町	町	町	宮津 光西寺

田		半		豊
兵役關係者ノ家庭ニ對スル慰藉救護	一般町民ノ救濟	慈善鍋	施藥施療	就學獎勵金
以前左ノ如キ方法ニヨリ貧困ナル入營兵ノ家族救助及慰問ヲナセリ。 1 入營中一ヶ月十一二圓ノ補、助戰病死者ノ遺族ニツキテモ同様、 2 經費ハ寄附金ニヨル、	トラホーム、濟生會ニ行クモノ、警察方面委員ニテ救濟ヲ要スルモノヲ調査シ治療セシム。知多醫師會治療券、殆ンド無シ	本町在郷軍人ノ一部及青年團ノ一部聯合ニテ昨年末行フ、七ヶ所ニ設置三十四圓ヲ得餅米味噌溜ヲ買入レ七人ニ分配ス。 被救濟者ハ方面委員ニ依頼シテ選定ス。	家計困難ナル兒童ニ對スル救助保護ノタメ年額一人最低三圓、最高五圓ノ學用品補助ヲナス。	救濟基金條例ニヨル、金品授與 第一條 米價暴騰ニ際シ窮民救助ノ思召ニヨル賑恤御下賜金及篤志者寄附金ノ使用 殘余金ヲ以テ救濟基金積立金ヲ設置ス 第二條 以下略ス
寄附金	三〇〇〇	特志者ノ喜捨	三〇〇〇	一五〇〇
現在	無	七人ニ分配	七人ニ分配	若干名
町	町	町	町	半一小學校

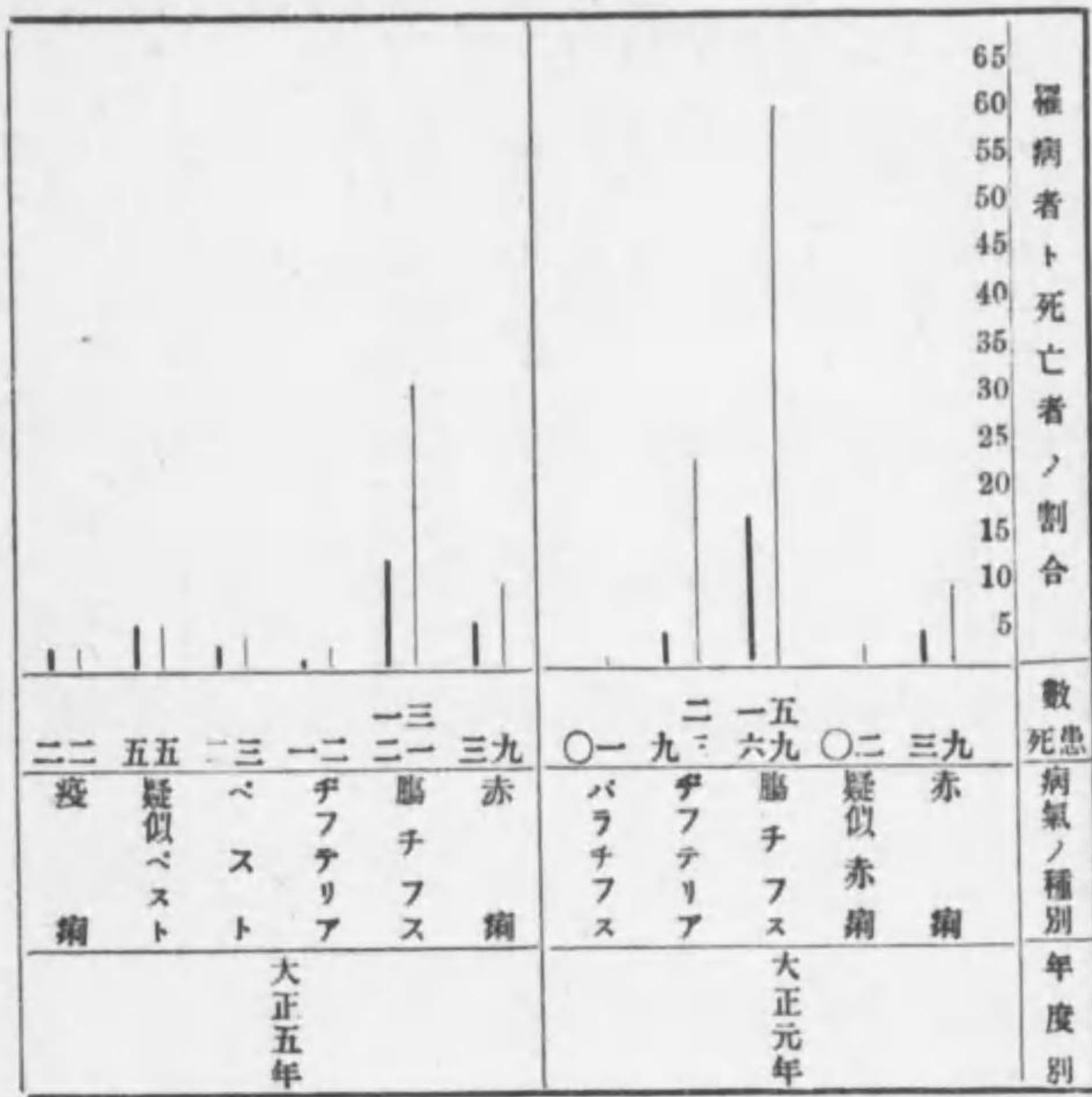


岩		成	
修德婦人會	甲寅讀書會	子供會	木曜學校
大正十五年ヨリ實施 縣訓令、方面委員取扱事項概目 1 生活状態調査(細民ト認ムベキモノ) 2 窮民救助 3 貧病者救療 4 兒童ノ保護 5 戶籍ノ整理 6 其他	大正三年二月創立、書籍雜誌ヲ回覽シ、毎月二十日例会ヲ開キ、讀書上ヨリ得タル知見ヲ交換ヲナス。	毎月一回少年少女ヲ集メテ禮拜、オ伽嘶等ヲナス、時ニハ學藝會ヲナス。	成績優良ナル兒童、特殊行爲アル兒童ニ授與シテ獎勵感化ス。
設立計劃中	宗敎的情操及婦徳ヲ涵養シ、生活ノ向上發展ニ資スルタメ時々講演會ヲ開キ、且雜誌修徳ヲ發行ス。	毎月一回少年少女ヲ集メテ禮拜、讚美歌、オ伽嘶等ヲナス。	成績優良ナル兒童、特殊行爲アル兒童ニ授與シテ獎勵感化ス。
方面委員	半田ノ該項ニ同ジ	三〇〇〇 八〇〇〇 六〇〇〇	三〇〇〇 六〇〇〇 五〇〇〇
方面委員	町費	基本金 一〇〇〇〇	基本金 一〇〇〇〇
就學出席獎勵金	給與兒童 二五人	教會	教會
兒童獎勵金	七人	寺院	寺院
木曜學校	每週一回 五人	基本金 一八〇〇	基本金 一八〇〇
子供會	每月一回 八一人	會員負擔 三〇〇圓	會員負擔 三〇〇圓
甲寅讀書會	每月一回 八一人	會員	會員
修德婦人會	常樂寺	六〇〇人	六〇〇人
方面委員	委員 五名 書記 一名	委員會	委員會
方面委員	委員 五名 幹事 二名 書記 一名	委員會	委員會

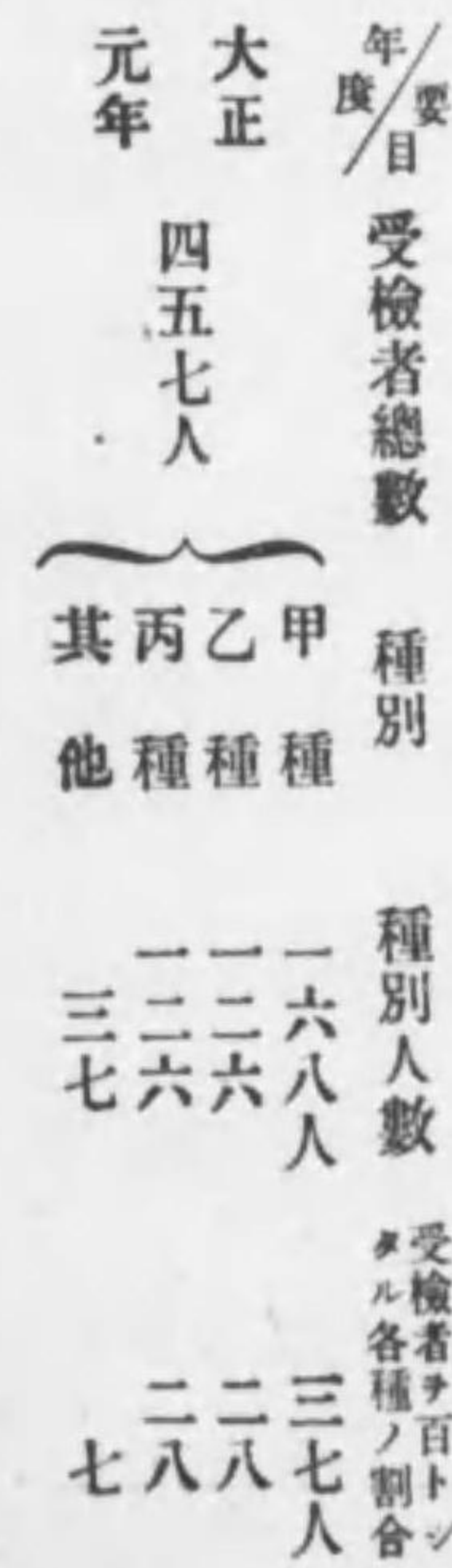
貴		富	
免囚者保護	就學出席獎勵會	全公老會	富貴村主會
兵役關係者ノ家庭慰藉救済ヲナス。	慰問及農繁期等ニ於テハ耕作收穫等ノ手傳ヲナス。	本村ニ於テ且テ公職ニアリシモノ及現在公職ニアルモノノミヲ以テ組織シ風俗改善ニ關スル協議及名士ノ講演、物故會員ノ追吊會等。	村政ニ關スル協議及土木衛生等ニ關スル協議等ヲナス。
免囚者ノ家庭ヲ訪問シ精神訓話及雇主ト談合シ就職口ノ周旋ヲナシ正業ニ就カシム。	家計困難ナル家庭ノ兒童ニ對シ學用品ヲ給與ス。	貧困者救助ノタメ施米施藥及葬儀等ヲ執行ス。	講話會 年數回、雜誌發行 月一回、故神原龜三郎氏ノ經營サレシモノ、明治三十一年創立以來出獄人貧民不具者不良少年少女貧兒孤兒等ヲ收容シテ感化救済サレシモ經營者ノ死亡ニヨリ大正十五年ニ入り解散ス。
貧困者救助ノタメ施米施藥及葬儀等ヲ執行ス。	四〇〇〇	三〇〇〇	五〇〇〇
現在ハ該當者無	尙善會費	尙善會費	尙善會費
佛敎會	年三回 三大節式後 四〇人	會員 約五〇〇人	會員 約五〇〇人
尙善會	森田 萬石衛門	村長 松崎滋助	故神原龜三郎 現在解散

(四) 衛生施設

一、傳染病患者發生・死亡狀態 (第一部落)



二、壯丁身体検査ノ成績



受検者百トシ  
タル各種ノ割合

大正五年	大正十年	大正十四年
甲種 477人	甲種 529人	甲種 547人
乙種 48	乙種 59	乙種 75
丙種 45	丙種 85	丙種 90
其他 31	其他 95	其他 132
合計 511人	合計 668人	合計 764人

三、全國本縣本郡ノ衛生狀態ノ對比

生産、死亡及増加ノ狀態

(イ) 知多郡第一部落

年度	事項	實數	百分率
大正	生産	2,281	100
大正	死亡	1,081	47.4
大正	増加	1,200	52.6

元正	大正五年	大正十年	大正十四年
増産 1,376	増産 2,344	増産 1,353	増産 2,695
死亡 840	死亡 1,344	死亡 1,677	死亡 1,515
増加 496	増加 1,000	増加 676	増加 1,180
男 268	男 500	男 338	男 590
女 228	女 500	女 338	女 590

(ロ) 愛知縣

大正元年			大正五年			大正十年			大正十四年		
増加	死亡	生産	増加	死亡	生産	増加	死亡	生産	増加	死亡	生産
34,655	39,770	68,076	33,421	39,588	61,518	34,655	39,770	68,076	34,655	39,770	68,076
19,588	28,336	39,770	19,588	28,336	39,770	19,588	28,336	39,770	19,588	28,336	39,770
15,067	11,434	28,336	15,067	11,434	28,336	15,067	11,434	28,336	15,067	11,434	28,336
15,067	11,434	28,336	15,067	11,434	28,336	15,067	11,434	28,336	15,067	11,434	28,336

(ハ) 日本全國

大正元年			大正五年			大正十年			大正十四年		
増加	死亡	生産	増加	死亡	生産	増加	死亡	生産	増加	死亡	生産
3,997	1,777,674	1,777,674	3,997	1,777,674	1,777,674	3,997	1,777,674	1,777,674	3,997	1,777,674	1,777,674
1,777,674	1,037,016	1,777,674	1,777,674	1,037,016	1,777,674	1,777,674	1,037,016	1,777,674	1,777,674	1,037,016	1,777,674
1,037,016	700,658	1,037,016	1,037,016	700,658	1,037,016	1,037,016	700,658	1,037,016	1,037,016	700,658	1,037,016
1,037,016	700,658	1,037,016	1,037,016	700,658	1,037,016	1,037,016	700,658	1,037,016	1,037,016	700,658	1,037,016

大正十四年

四、法定傳染病(十種)患者及死者數

病氣ノ種類	日本全國		愛知縣	
	患者數	死者數	患者數	死者數
コレラ	2,700	1,683	7	1
赤痢	25,667	5,722	552	24
腸チフス	32,588	6,289	850	193
バラチフス	4,050	460	43	6
痘瘡	14	1	4	1
發疹チフス	1	1	1	1
猩紅熱	1,207	146	9	3
チフテリア	19,251	4,781	77	15
流行性腦脊髄膜炎	1	1	1	1
ペスト	1	1	1	1

大正十五年

病氣ノ種類	日本全國		愛知縣	
	患者數	死者數	患者數	死者數
コレラ	10,371	6,260	7	1
赤痢	23,453	4,554	678	15
腸チフス	42,918	8,396	737	173
バラチフス	6,781	737	147	35
痘瘡	264	48	4	1
發疹チフス	606	117	5	1
猩紅熱	1,056	50	5	2
チフテリア	24,249	3,960	50	17
流行性腦脊髄膜炎	1	1	1	1
ペスト	7	5	1	1

チフテリア	一四、五三	三、五〇	三八三	一〇三
流行性腦脊髄膜炎	七二	四三	七	三
ペスト	二	一	一	一
コレラ	六四	三六〇	一	一
赤痢	一四、七〇	六、六七	五二	三二
腸チフス	四五、七五	九、〇八	一、九八	四六
バラチフス	五、〇六	四五	二六	三
痘瘡	四三〇	八二	一	一
發疹チフス	二六	一	一	一
猩紅熱	二、五七	二八〇	七	四
チフテリア	一三、八六	三、七四	三二	八
流行性腦脊髄膜炎	四五	二七	二〇	九
ペスト	一	一	一	一

五、死産ノ數(愛知縣及日本全國)

大正元年	男 七六、四九二	女 二、八三七	不詳 四九
日本全國	男 五、一八六	女 二、三三二	不詳 一八

六、ヨーロッパ諸國及日本ノ死亡率 (大正十三年度調)

大正五年	男 四、七〇	女 四、九四	男 二、六〇	女 二、七二
大正十年	男 四、三二	女 四、九三	男 二、七四	女 二、〇八
大正十四年	男 四、三二	女 四、五四	男 二、四一	女 二、〇〇

イギリス  
ベルギー  
スコットランド  
オースタリー  
アイルランド

イタリア  
フランス  
スペイン  
ハンガリー  
日本

(五) 愛知縣内社會事業一般

事業種別	事業及施設	所在地	開始及ハ	事業及施設ノ目的其ノ他
乳兒	愛國婦人會兒童健康相談所	名古屋市	大正十年	兒童ノ健康ヲ擁護シ増進スル爲無料ニテ診察及相談ヲナス
乳兒	愛國婦人會出産保護	縣下免許産婆ニ囑託ス	十一年	産前後ノ診察處置ヲナス能ハザルモノヲ助ク
乳兒	名古屋市保育園	名古屋市	十三年	勞働者ノ家庭ニ於ケル幼兒ヲ晝間收容シ之ガ保育ヲナス
乳兒	蘇鐵町保育園		十三年	乳兒幼兒ノ晝間保育細家庭ノ生活上指導スル
乳兒	上野町幼兒園		十三年	幼兒晝間保育
乳兒	二葉保育園		十四年	全
乳兒	平野保育園		十七年	全



業 事 利			
施 救 軍 事	地方 改善 施設	共 濟 互 助 施設	人 事 相 談
恤救規則ニ依ル救護	軍事救護法ニヨル救護 帝國軍人後援會 愛國婦人會愛知支部	共濟互 助 施設 共濟組合	救世軍名古屋小隊愛護部 各警察署人事相談所
名古屋市			名古屋市
全		明治三十四年	明治三十九年 大正八年
大正六年 明治二十九年 全三十四年			職業紹介、貧民救助、無料宿泊、日本語教授、人事相談 困窮者ヲ無料宿泊セシメ尙之ガ救濟ヲ目的トス 旅費宿泊料ニ困窮シタル者ヲ無料宿泊セシム 法話ヲナシ入浴宿泊ヲナシメ無料職業紹介ヲナス 主トシテ窮セル旅人及市民ニシテ火災ノ罹者ヲ一時 無料宿泊セシム
全 七年			人事相談職業紹介婦人救濟貧困保護窮民救助
	軍人ヲシテ後顧ノ憂ナカラシメ且ツ義勇奉公ノ精神ヲ涵養ス 軍人遺族及廢兵ヲ救助スルヲ重ナル目的トス		

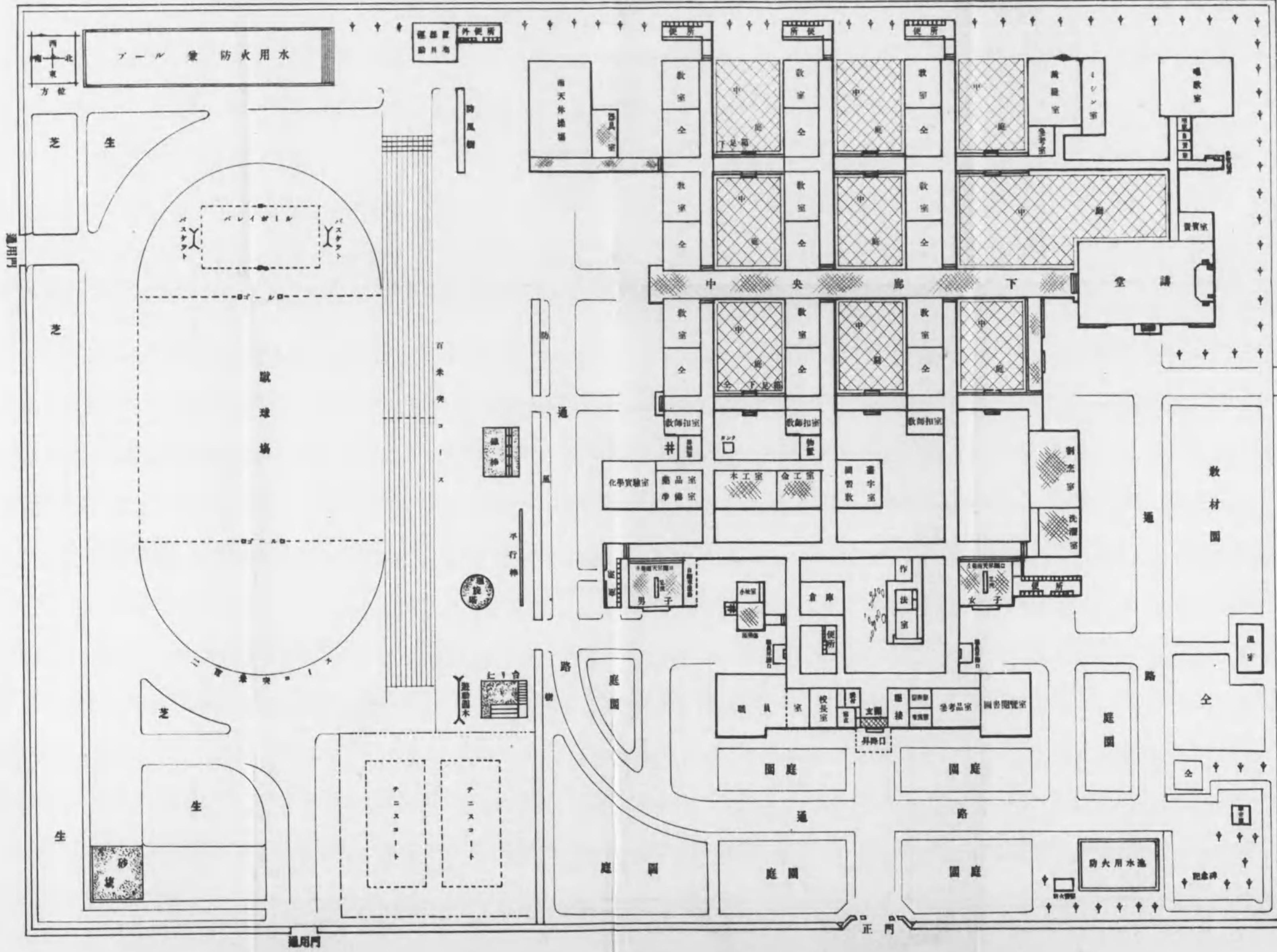
福 的 濟			
湯 共 食 簡 易	場 市 設 公	設	設
岡崎市日名町共同浴場	西尾公設市場 岡崎村公設市場 安城町公設市場 長久手村公設市場 有松公設市場 半田公設市場 津島公設市場 瀬戸公設市場 一宮公設市場 岡崎市公設市場 名古屋市公設市場	名古屋市 岡崎市 一宮市 東春日井瀬戸町 海部郡津島町 知多郡牛田町 知多郡有松町 愛知郡長久手村 碧海郡安城町 額田郡岡崎村 幡豆郡西尾町	小牧町營住宅 東春日井郡小牧町
全	名古屋市 全	名古屋市 全	大正十三年
大正十四年			一般公衆ニ安價ナル食料ヲ供給ス
全 九年			
明治四十二年			無料入浴



社會事業 機關	業				設 保 釋 放 者
	協 會 事 業	愛 知 縣 委 員 會	民 力 涵 養 運 動 會	民 力 涵 養 運 動 會	
法人 財團 坂文種報德會			勤儉獎勵運動	民力涵養講演活動寫真	愛知自啓會 中京免囚保護會
名古屋市	名古屋市				全 名古屋市
	全 六年	全 十一年	全 十三年	全 八年	明治二十六年 大正九年
慈善病院其ノ他ノ建設養老育兒院ノ建設學校經營等	連絡並ニ研究機關	各種社會的施設ト密接ナル聯絡ヲ保チ物質的精神的 兩方面ヨリ身上ヲ助ク		釋放セラレタル者等ニシテ保護ヲ希望シ又ハ保護ノ 必要アリト認メタル者又ハ其ノ委託ヲ受ケタル者ヲ 保護ス 名古屋區地方檢事局及刑務所ヨリノ釋放者ヲ預リ保 護ス	



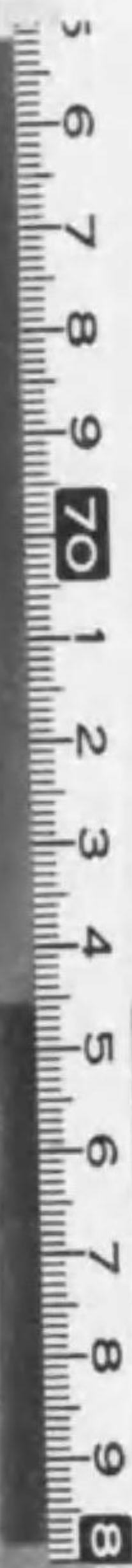
( 坪四二二・二 敷坪總築建 坪〇〇三・三一 敷坪總地敷 人〇〇〇・一 敷員人定豫 例 凡 )

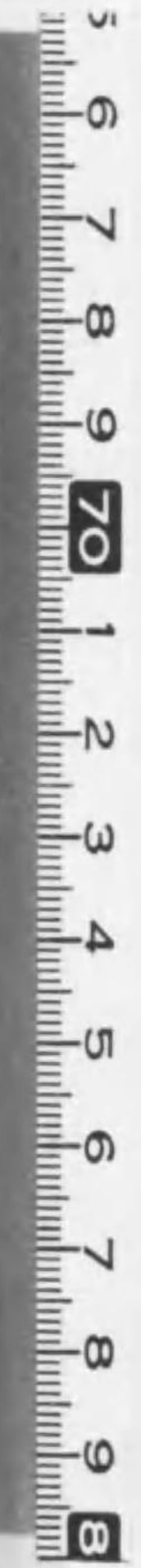


市外地小學校々舎配置圖

縮尺六百分の一

設計 大中 肇



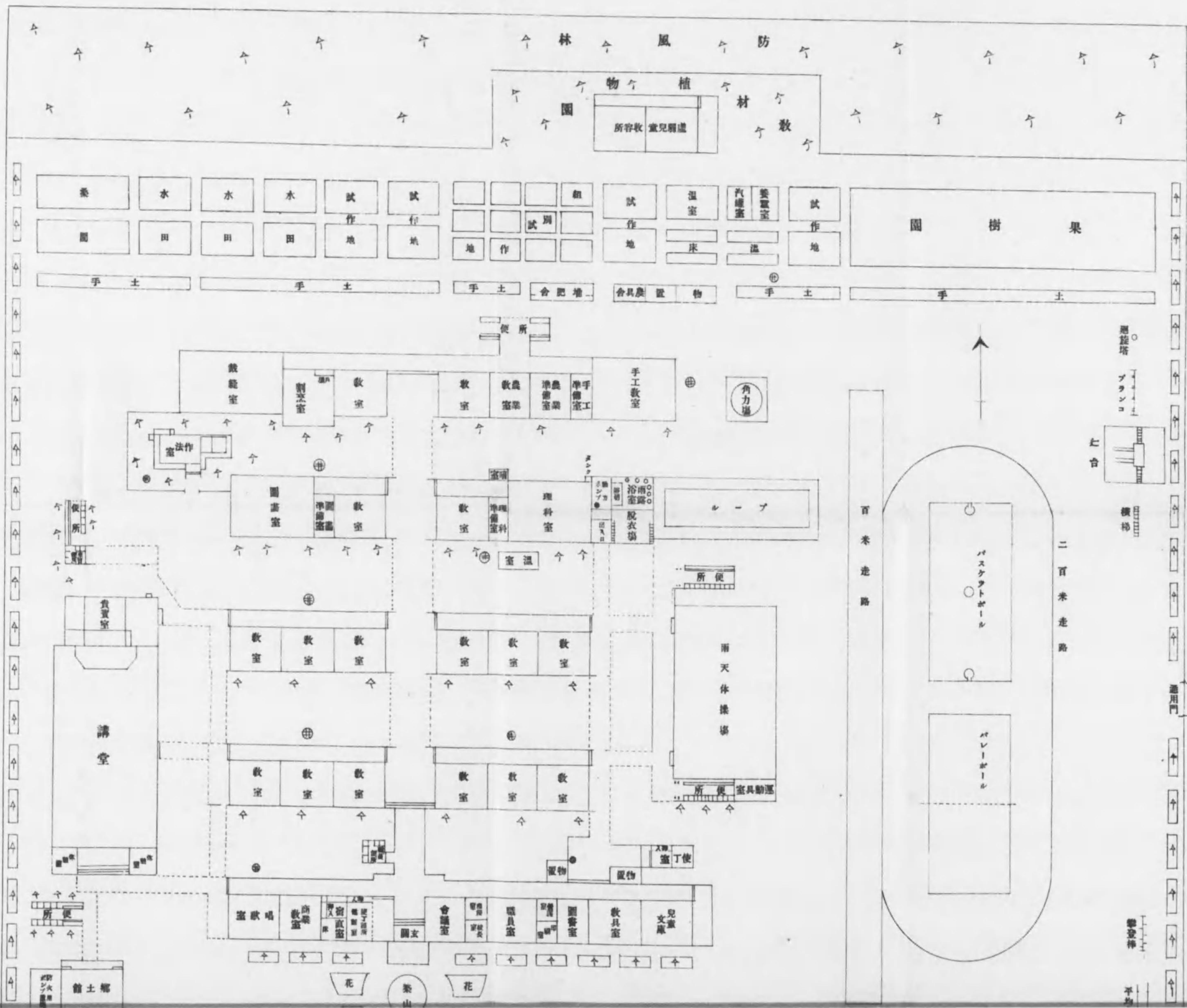


郡部小學校々地校舎配置圖

豫定學級 十六學級

縮尺六百分ノ一

設計 終

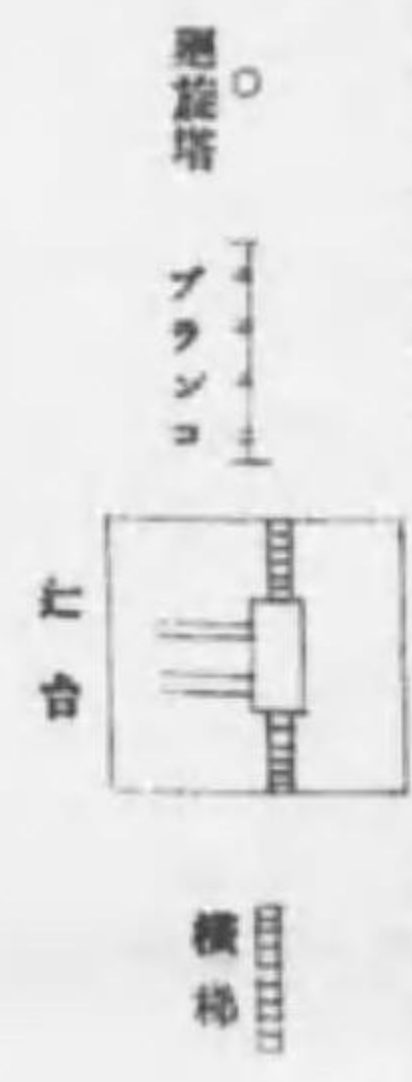
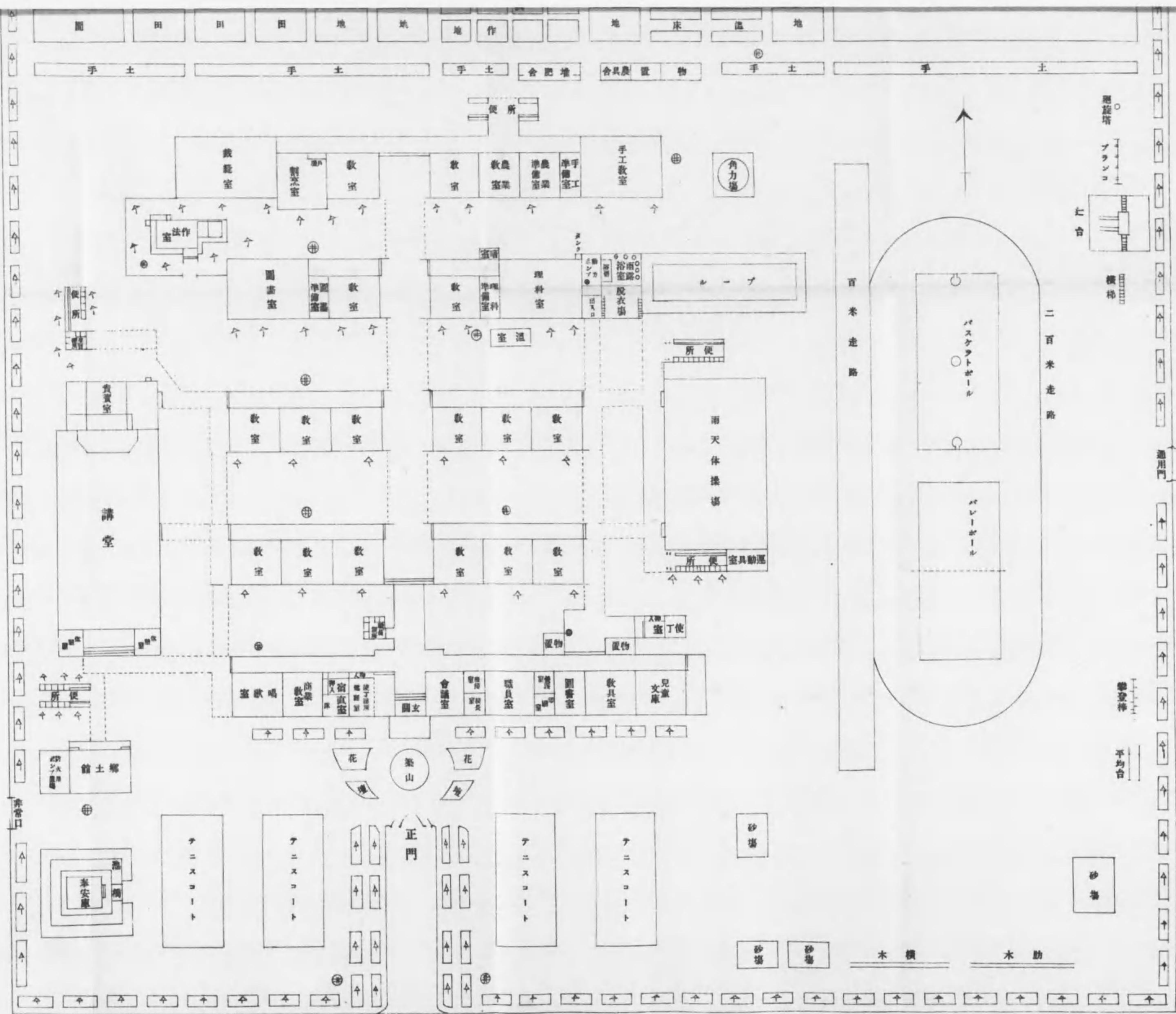


々地校舎配置圖

豫定學級 十六學級

設計 緒川尋常小學校

縮尺六百分ノ一



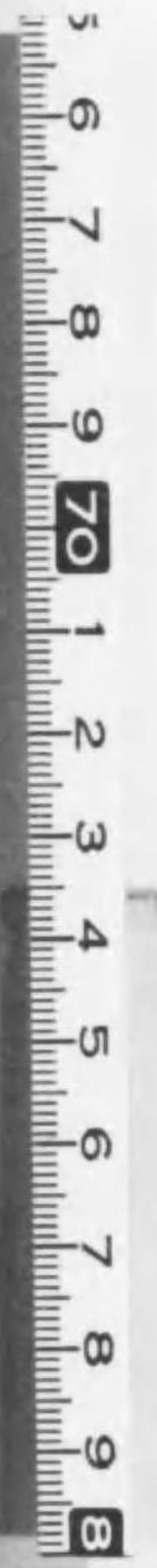
通用門

標準平均台

百米走路

二百米走路

木橋 木助

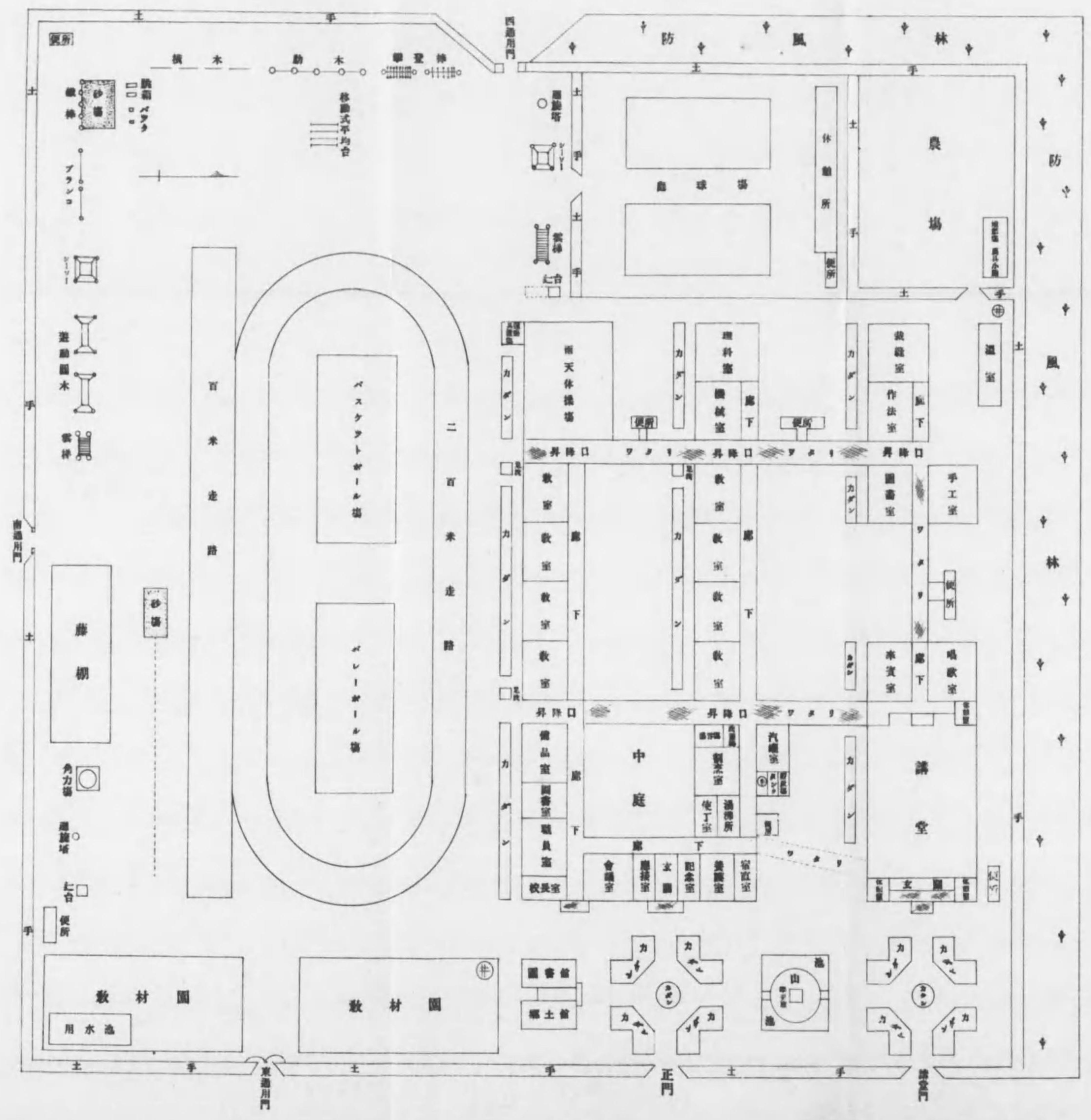


# 郡部小學校々地校舎配置圖

縮尺 六百分ノ一

備考 豫定學級 八學級

設計 緒川尋常小學校

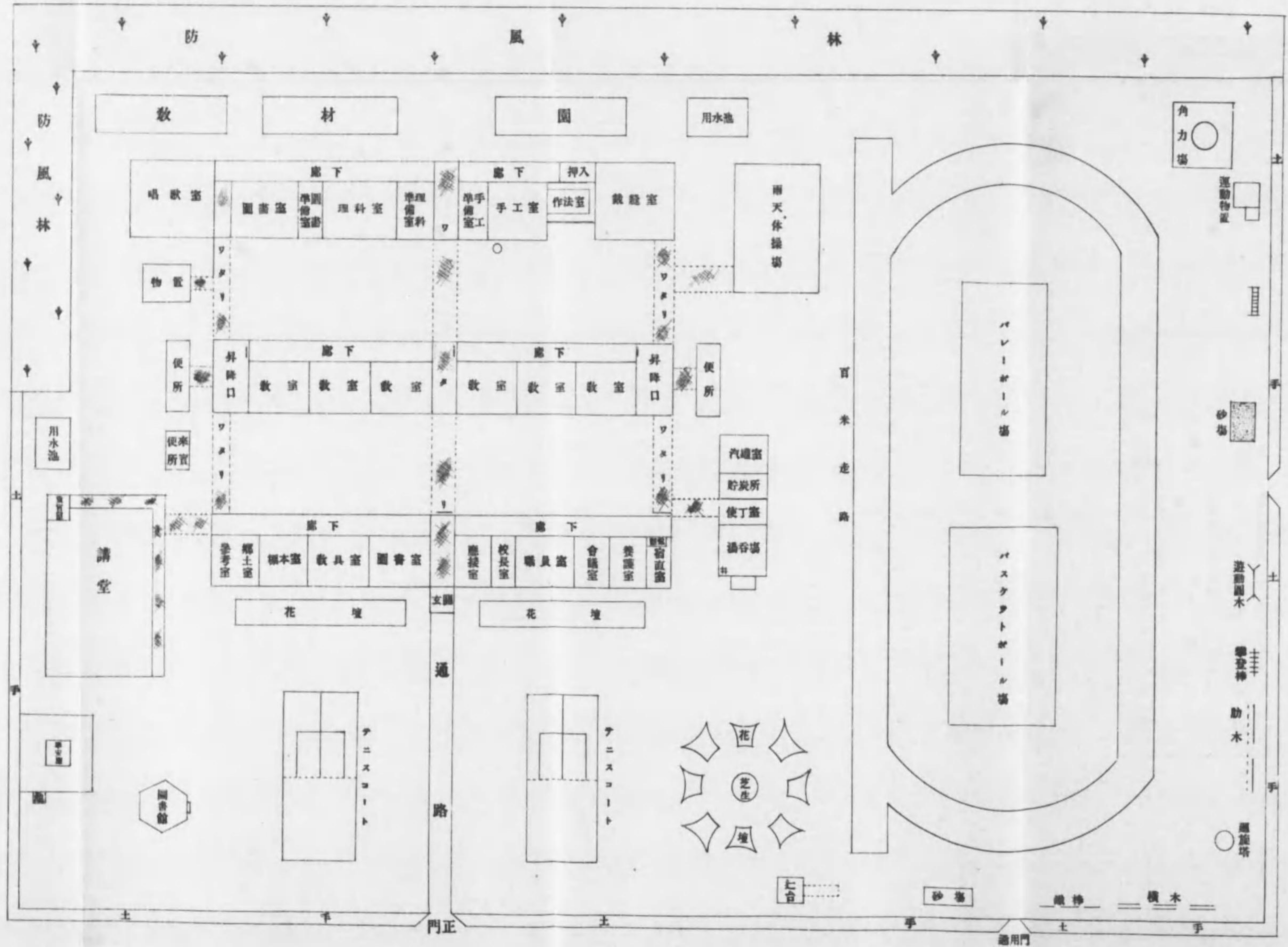


郡部小學校々地校舍配置圖

縮尺六百分ノ一

備考 豫定學級 六學級

設計 緒川尋常小學校



308  
834

昭和二年九月十日印刷  
昭和二年九月十五日發行

（非賣品）

編輯兼發行人 石川林之助

印刷人 日比 格

印刷所 愛知縣知多郡半田町字北條一番地  
合資會社 郁文舍

終

